

平成 23 年度

牛乳・乳製品の消費動向に関する調査

報告書

alic 独立行政法人農畜産業振興機構

目次

調査概要	1
調査結果	6
Ⅰ. 白もの牛乳類の飲用実態	7
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(1) 白もの牛乳類の飲用頻度	7
(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度	9
(3) 他のものと混ぜて飲む頻度	10
(4) 季節による変動	11
2. 白もの牛乳類の飲用量	13
3. 白もの牛乳類の飲用シーン	16
4. 白もの牛乳類の飲用理由	18
Ⅱ. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	20
1. 飲み方別飲用量の増減	20
(1) そのまま飲む量の増減	20
(2) 混ぜて飲む量の増減	21
(3) 全体での増減	22
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因	25
3. 白もの牛乳類の飲用意向	27
Ⅲ. 白もの牛乳類の購入実態	29
1. 白もの牛乳類の購入頻度	29
2. 白もの牛乳類の購入量	31
3. 白もの牛乳類を購入する人	32
4. 白もの牛乳類の買い方の変化	33
5. 主に購入している白もの牛乳類	34
6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由	35
Ⅳ. 普段よく飲む飲み物	36
1. 普段よく飲む飲み物	36
2. 普段もっともよく飲む飲み物	37
Ⅴ. 白もの牛乳類を使った料理の実態	39
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動	39
2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理	44
Ⅵ. 乳製品の飲食実態	45
1. ヨーグルトの飲食状況	45
(1) ヨーグルトの飲食頻度	45
(2) ヨーグルトの飲食量	46
(3) ヨーグルトのタイプ	47
2. チーズの食用状況	49
(1) チーズを食べる頻度	49
(2) チーズを食べる量	50
(3) チーズ料理	51
(4) チーズを購入する人	54
(5) 購入するチーズのタイプ	55
(6) 普段チーズを購入する時に意識すること	57
(7) チーズの購入場所	61
Ⅶ. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識	62
1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識	62
2. 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィット	63
3. 白もの牛乳類についてのニーズ	64
Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向	66
調査票	70

調査概要

調査概要

1. 調査目的

近年の飲用牛乳などの消費が減少していることを踏まえ、酪農・乳業の安定的発展を図る観点から、飲用牛乳を中心とした消費拡大を推進することが必要である。

このため、全国（沖縄県を除く。）の中学生から後期高齢者までの消費者を対象としてアンケート調査を実施し、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好などに関する基本的な調査項目について、地域・年代などに偏りが生じないよう調査設計した上で、消費構造の変化や消費動向を把握し、牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取組みなどに役立つ情報を得ることとする。

調査結果については、基本的な調査項目に関してクロス集計、時系列集計などを用いて考察する。また、直近10年間（平成14年度～）のデータ（過去データは、機構から提供）と併せ、これからの我が国の人口動向、諸外国の消費動向などを考慮した上で、今後10年程度の牛乳・乳製品の長期的な消費動向などについて簡易に見通すとともに、誰がいつどのような食べ方で牛乳・乳製品を消費し、牛乳を飲まない人を含め、どのようにすれば牛乳・乳製品の消費拡大につながるかなどについて明らかにすることとする。

2. 調査方法

■留置併用訪問面接法により、本人が調査票に回答

3. 調査内容

- (1) 白もの牛乳類の飲用実態
- (2) この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化
- (3) 白もの牛乳類の購入実態
- (4) 好きな飲み物（嗜好性）
- (5) 乳製品の飲食実態
- (6) 白もの牛乳類に対する栄養意識・認識

4. 調査対象者

■全国の中学生以上の男女個人 3200人（回収ベース）

5. 抽出方法(エリアサンプリング)

■平成17年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9分類）と都市規模（5分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当に従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出した。

6. サンプル設計について

■消費動向調査では、平成19年度（2007年度）まで、地域（9分類）・都市規模（5分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

平成20年度（2008年度）から、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施している。

7. ウェイト集計の実施

■本年度調査では、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成17年度国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

8. 調査地域

■回収サンプルの地域別内訳は下記の通り（沖縄除く）。構成比はウェイト集計後の値を示す。

【地域】			
	地域	回収数	構成比(%)
	北海道	138	4.3
	東北	250	7.8
	関東	1,181	37.0
	東海	383	11.9
	北陸	80	2.5
	近畿	529	16.6
	中国	191	6.0
	四国	106	3.3
	九州	342	10.6
	計	3,200	100.0

【都市規模】			
	都市規模	回収数	構成比(%)
	大都市	873	27.1
	15万人以上	949	29.6
	5～15万人未満	720	22.6
	5万人未満の市	224	7.0
	郡部	434	13.7
	計	3,200	100.0

9. 調査期間

■平成23年（2011年）10月1日～10月31日

10. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

■この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

■択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。

■「SA」の表記は単一回答、「MA」の表記は複数回答、「n」はサンプル数を示す。

■表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

■なお、図表および本文中の年度表記は西暦とした。

11. 回答者プロフィール

【性別（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	1,600	50.0
2	女性	1,600	50.0
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

(89) F2. 年齢... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	12～15歳	400	4.2
2	16～19歳	400	4.3
3	20～24歳	180	5.5
4	25～29歳	220	6.3
5	30～34歳	166	7.2
6	35～39歳	234	8.5
7	40～44歳	203	7.6
8	45～49歳	197	7.0
9	50～54歳	172	6.8
10	55～59歳	228	7.7
11	60～64歳	238	8.9
12	65～69歳	162	7.3
13	70歳以上	400	18.7
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【未既婚（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	未婚	1,232	22.9
2	既婚	1,923	75.3
3	その他	45	1.8
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【子供の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	子供はいる	1,815	70.9
2	子供はいない	1,377	28.8
	不明	8	0.3
	全体	3,200	100.0

【職業（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林漁業	27	1.1
2	商工サービス業	202	7.8
3	自由業	79	3.0
4	内職	6	0.2
5	管理職	112	4.1
6	専門・技術職	229	8.1
7	事務職	234	8.3
8	労務職	164	5.7
9	販売・サービス職	193	6.7
10	パート・アルバイト	305	11.0
11	専業主婦	481	19.2
12	中学生	400	4.2
13	高校生	288	3.1
14	中高生以外の学生	154	3.2
15	無職	323	14.2
	不明	3	0.1
	全体	3,200	100.0

【学校や職場の給食・食堂の有無（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	給食がある	370	8.8
2	給食はないが、食堂を利用	383	13.1
3	どちらも無い	1,634	78.1
	不明	0	0.0
	非該当	813	
	全体	2,387	100.0

【同居家族人数（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	1人（ひとり暮らし）	187	7.2
2	2人	612	24.3
3	3人	667	21.9
4	4人	929	25.1
5	5人	477	12.4
6	6人	212	5.9
7	7人以上	115	3.2
	不明	1	0.0
	全体	3,200	100.0

【回答者の調理等の役割（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	料理する	1,040	41.8
2	食料品の買物をする	1,024	41.4
3	どちらもしていない	1,819	52.4
	不明	0	0.0
	非該当	188	
	全体	3,012	100.0

【家族構成（SA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	夫婦2人	465	20.6
2	二世代世帯	1,957	60.3
3	三世代世帯	556	17.8
4	その他	24	0.9
	不明	10	0.4
	非該当	188	
	全体	3,012	100.0

【同居家族する子供（MA）】

No.	カテゴリー名	n	%
1	乳児・幼児	403	19.0
2	小学生	673	25.9
3	中学生	673	18.4
4	高校生	641	17.7
5	大学・短大・専門学校生	383	13.1
6	この中にはいない	725	35.4
	不明	15	0.8
	非該当	663	
	全体	2,537	100.0

12. 主な分析軸

【性別、性年代別、地域別】

	カテゴリー名	n	%
性別	男性	1,600	50.0
	女性	1,600	50.0
男性×年代	男性-中学生	200	2.1
	男性-10代（中学生除く）	200	2.1
	男性-20代	200	5.9
	男性-30代	200	7.8
	男性-40代	200	7.3
	男性-50代	200	7.1
	男性-60代	200	8.1
	男性-70代以上	200	9.4
女性×年代	女性-中学生	200	2.1
	女性-10代（中学生除く）	200	2.1
	女性-20代	200	5.9
	女性-30代	200	7.9
	女性-40代	200	7.3
	女性-50代	200	7.3
	女性-60代	200	8.0
	女性-70代以上	200	9.4
地域別	北海道	138	4.3
	東北	250	7.8
	関東	1,181	36.9
	東海	383	11.9
	北陸	80	2.5
	近畿	529	16.6
	中国	191	6.0
	四国	106	3.3
	九州	342	10.6
	不明	0	0.0
	全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用頻度】

No.	カテゴリー名	n	%
1	飲用者・計	2,733	83.8
2	毎日飲用	1,143	35.3
3	週1～6日飲用	1,171	34.9
4	月に2～3日以下飲用	419	13.6
5	非飲用者	457	15.9
	不明	10	0.3
	全体	3,200	100.0

【白もの牛乳の飲用量増減】

No.	カテゴリー名	n	%
1	この1年間に飲用量増加計	221	6.2
2	この1年間に飲用量変化なし	2,190	68.2
3	この1年間に飲用量減少計	391	11.8
4	牛乳は元々飲まない	393	13.6
	不明	5	0.2
	全体	3,200	100.0

調查結果

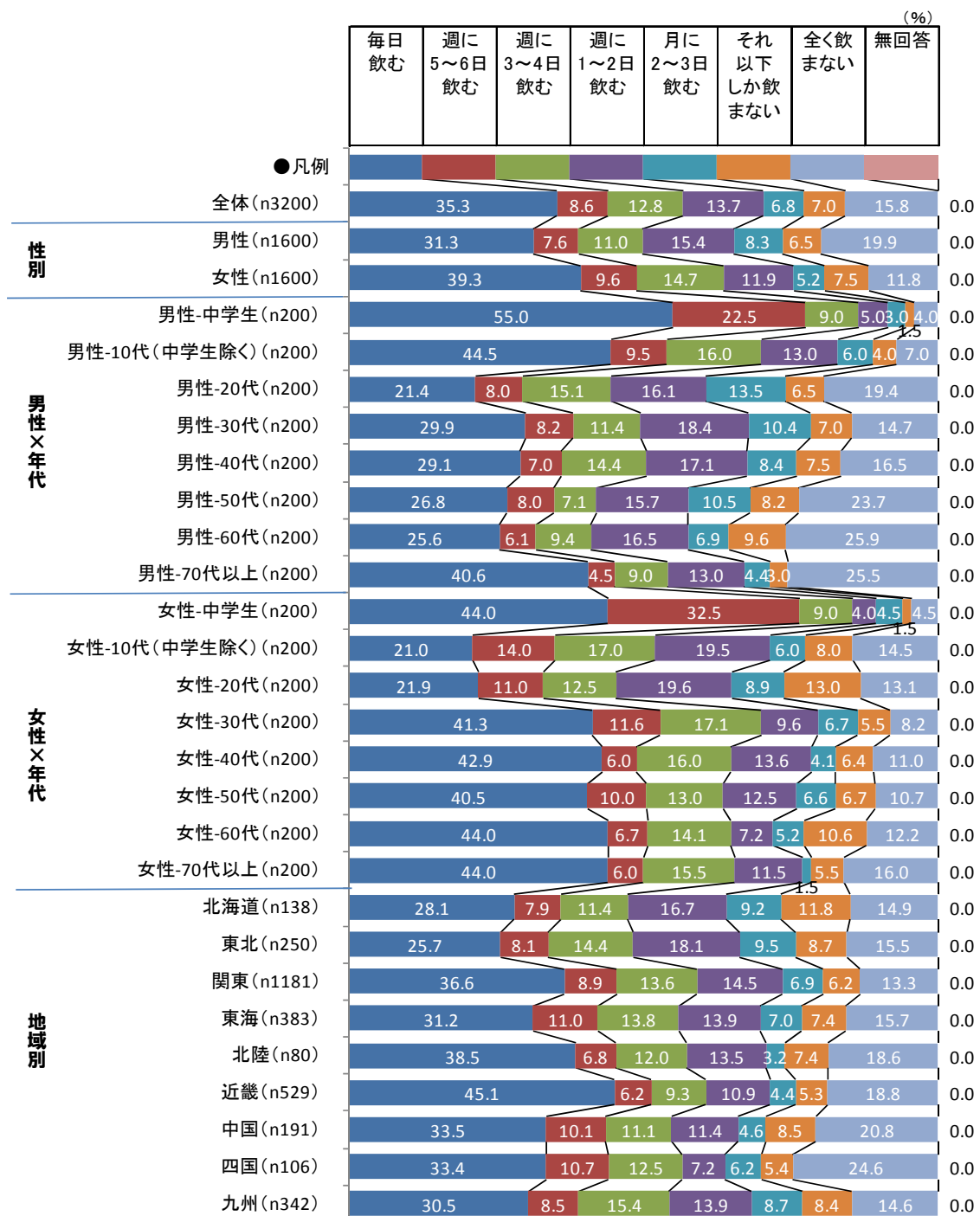
I. 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

(1) 白もの牛乳類の飲用頻度

- コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけてたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は全体で35%となり、一方で「まったく飲まない」は16%であった。性別では、女性が「毎日飲む」で39%となり、男性よりも8ポイント高い。性年代別では、男子中学生が55%と最も高い結果となった。その他、女性30代以上は「毎日飲む」が40%以上を維持しているが、男性は20～60代で2割と低くなっている。地域別では、「毎日飲む」で近畿の割合が45%と最も高い。

【図表 I-1-1】 性・年代別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度 (SA)



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

■白もの牛乳類の飲用頻度の時系列変化を見ると、明らかにダウントレンドにあり、飲用の機会は減少している。平均（日/週）で見ると、2011年度では3.6回まで減少した。

【図表 I-1-2】時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度（SA）

										(%)
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
2011年	3,200	35.3	8.6	12.8	13.7	6.8	7.0	15.8	0.0	3.6
2010年	3,200	35.8	9.4	11.7	12.7	9.2	8.0	13.3	0.0	3.7
2009年	3,200	37.9	7.5	13.7	12.3	8.6	7.4	12.6	0.0	3.8
2008年	3,200	36.9	9.3	13.6	12.9	8.2	7.1	12.0	0.0	3.8
2007年	3,486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2006年	3,478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3,896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4,177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4,177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4,778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4,632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4,476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4,472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4,547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4,706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4,668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4,617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4,553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4,651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4,714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4,691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4,579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4,604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4,664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

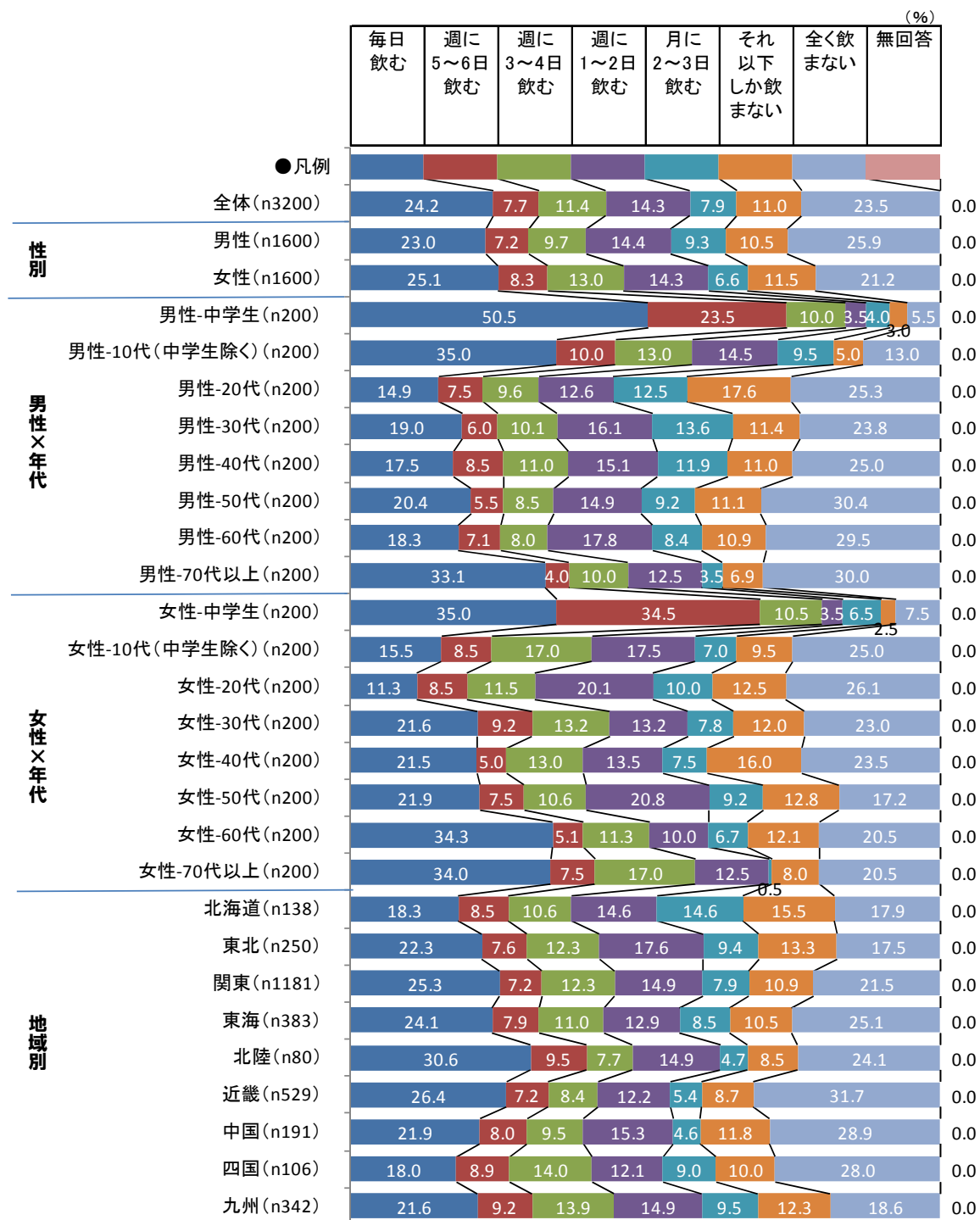
※斜線はデータなし

* 87～01年は「月に数回飲む」

(2) 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

- そのまま飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」人は全体の24%である。一方で、「全く飲まない」という人も同程度の24%を占めた。
- 性別では「毎日飲む」は、男女ともに大きな差異は見られない。
- 性年代別では、男女ともに中学生は「毎日飲む」割合が高い(男子中学生は51%、女子中学生は35%)。また、女性は30代から上の世代では、年齢の上昇と共に「毎日飲む」割合も高くなっている。
- 地域別では、「毎日飲む」で北陸が31%と高くなっている。

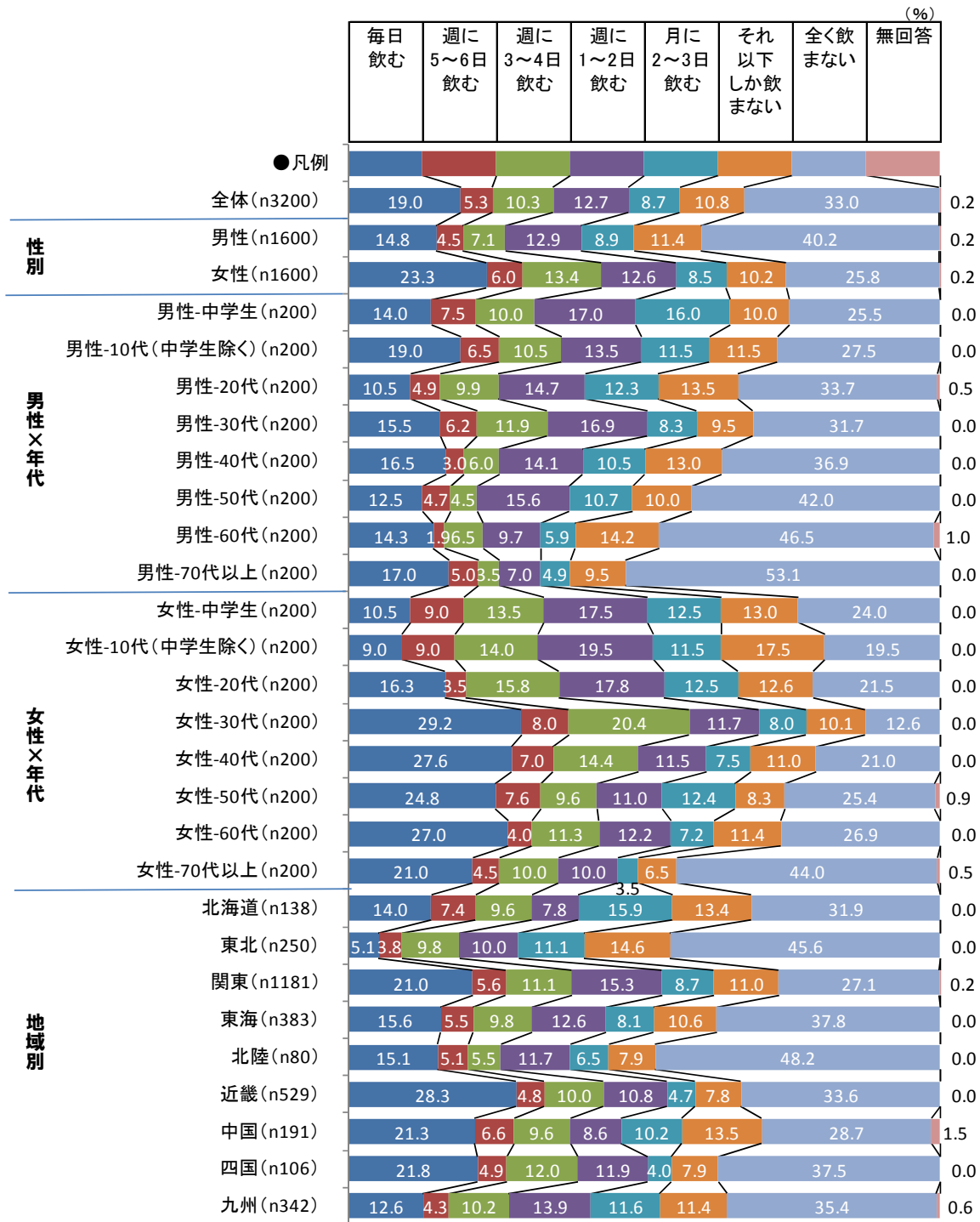
【図表 I-1-3】性・年代別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度 (年間平均・SA)



(3) 他のもものと混ぜて飲む頻度

- コーヒーや紅茶など他のもものと混ぜて飲む飲み方で、普段どの程度白もの牛乳類を飲むかを質問した。
- 「毎日飲む」は19%となった一方で、「全く飲まない」は33%を占めた。
- 性別では、女性が23%となり、男性よりも9%上回っている。
- 性年代別では、女性30代で「毎日飲む」割合が最も高く、29%となった。女性は30代よりも上の世代では年代の上昇に反比例して、「毎日飲む」割合は低下する。
- 地域別では、「毎日飲む」で近畿28%と最も高くなっている。

【図表 I-1-4】 性・年代別 問3 白もの牛乳類を他のもものと混ぜて飲む頻度 (年間平均・SA)

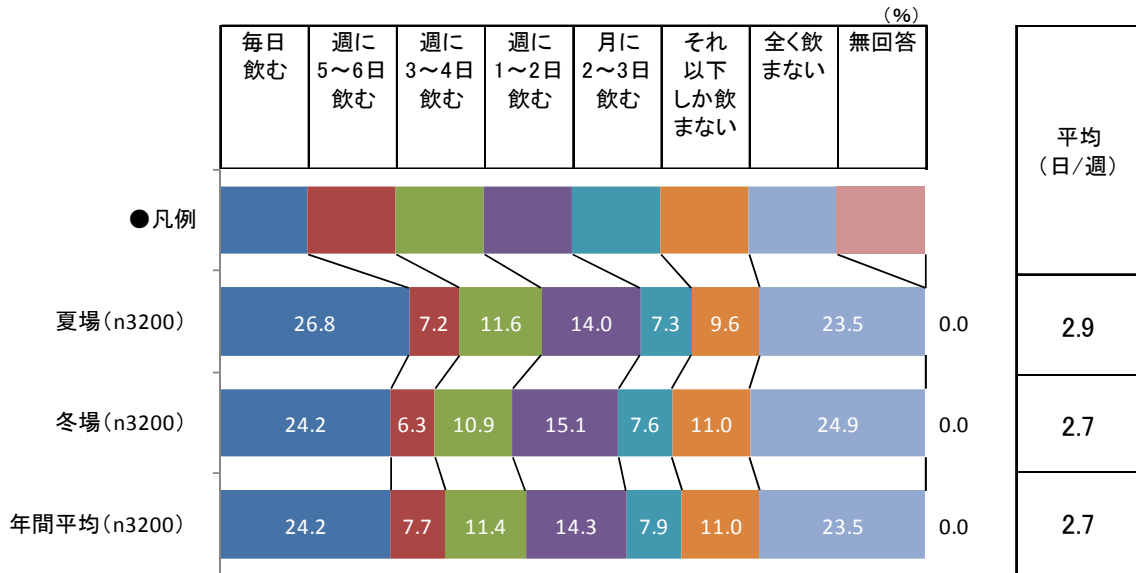


(4) 季節による変動

■白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動を見てみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が27%と冬場の24%より3ポイントほど高くなっているが、大きな差異はない。他のものと混ぜて飲む飲み方でも、「毎日飲む」人は夏場21%、冬場19%となり、大きな差異は認められない。「毎日飲む」ような習慣化された人には、季節変動が飲用頻度そのものに与える影響は少ないようである。

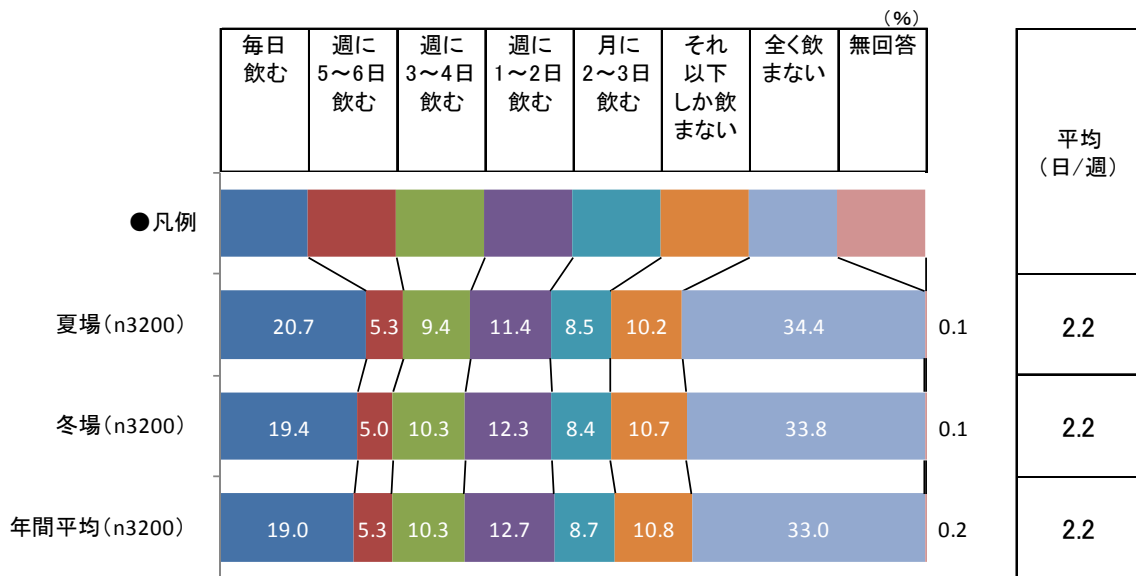
<そのまま飲む>

【図表 I-1-5】季節変動/飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



<他のものと混ぜて飲む>

【図表 I-1-6】季節変動/飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度 (SA)



■白もの牛乳類（そのまま飲む）の飲用頻度の時系列変化を見ると、平均（日/週）で、2011年度では2.7回（年間平均）となり、前年度と比較すると僅かに0.1回上昇。しかしながら、長期的な視点は低下傾向が続いていることが推測される。

■他のものと混ぜて飲む頻度は平均で2.2回（日/週・年間平均）となり、ダウントレンドにあることがうかがえる。

【図表 I-1-7】時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答		
夏 場	2011年	3,200	26.8	7.2	11.6	14.0	7.3	9.6	23.5	0.0	2.9
	2010年	3,200	25.5	6.9	10.4	13.5	11.0	11.0	21.7	-	2.8
	2009年	3,200	27.3	6.5	13.3	14.1	9.9	9.7	19.3	-	3.0
	2008年	3,200	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	3.1
	2007年	3,486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2006年	3,478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3,896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2004年	4,177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
2003年	4,177	32.7	9.0	13.9	13.2	7.3	7.3	16.4	0.3	3.5	
冬 場	2011年	3,200	24.2	6.3	10.9	15.1	7.6	11.0	24.9	0.0	2.7
	2010年	3,200	21.7	6.9	9.9	14.6	10.9	12.7	23.3	-	2.6
	2009年	3,200	24.5	6.3	11.8	15.4	10.5	11.1	20.4	-	2.8
	2008年	3,200	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	2.8
	2007年	3,486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2006年	3,478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3,896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2004年	4,177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
2003年	4,177	27.9	8.1	14.1	15.5	8.4	8.4	17.3	0.3	3.2	
年 間 平 均	2011年	3,200	24.2	7.7	11.4	14.3	7.9	11.0	23.5	0.0	2.7
	2010年	3,200	22.0	7.8	11.3	13.8	11.0	13.0	21.0	0.1	2.7
	2009年	3,200	24.7	7.0	13.6	14.0	11.0	10.7	18.8	0.2	2.9
	2008年	3,200	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	2.9
	2007年	3,486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2006年	3,478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3,896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2004年	4,177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2
2003年	4,177	28.1	10.0	15.1	13.6	8.3	8.2	16.3	0.4	3.3	

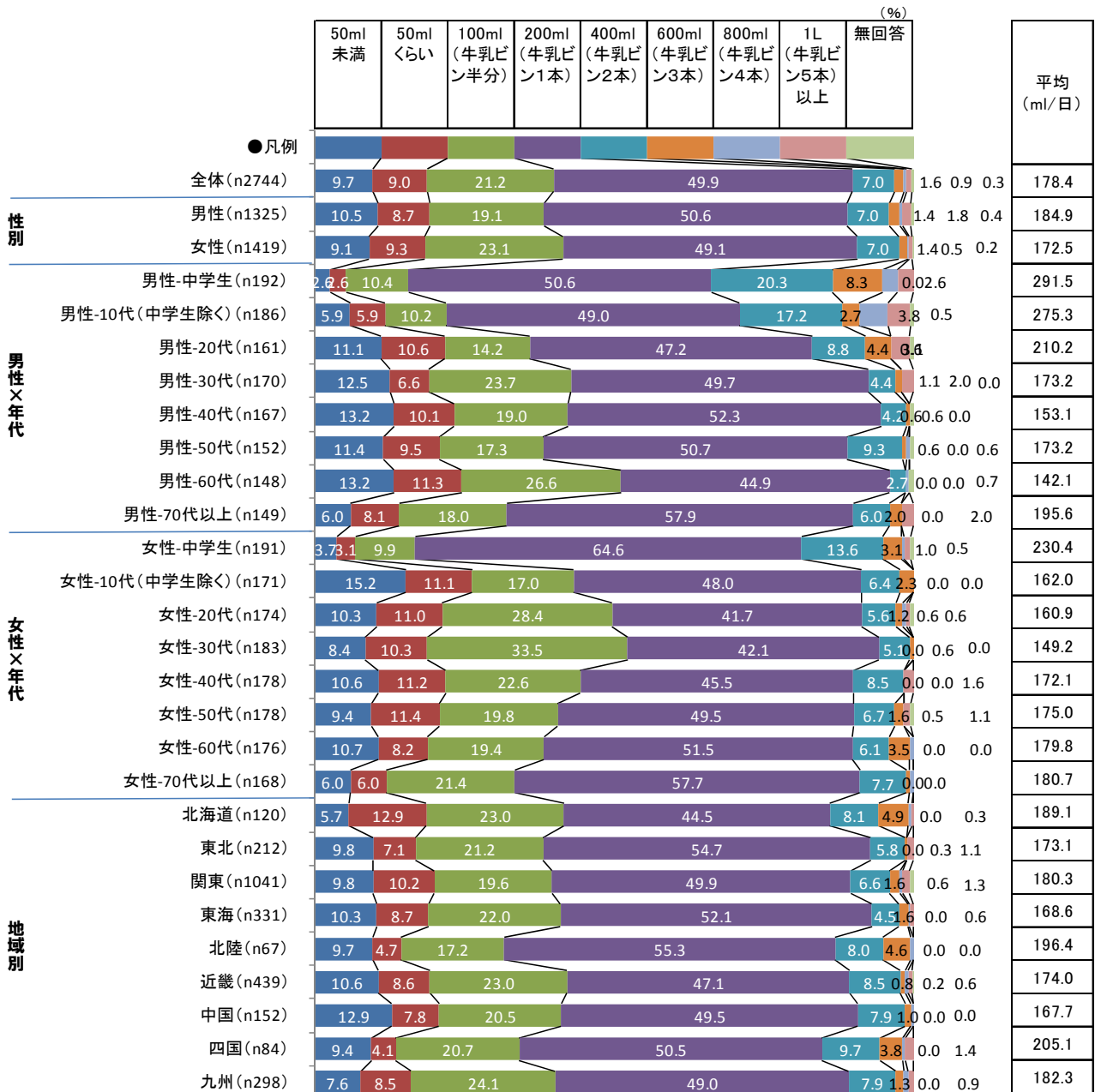
【図表 I-1-8】時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度（SA）

		(%)									平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
	n	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答		
夏 場	2011年	3,200	20.7	5.3	9.4	11.4	8.5	10.2	34.4	0.1	2.2
	2010年	3,200	21.5	5.9	9.3	11.2	8.8	11.4	31.8	0.0	2.4
	2009年	3,200	21.5	5.9	8.6	11.5	9.2	11.9	31.5	0.0	2.4
	2008年	3,200	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	2.3
	2007年	3,486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2006年	3,478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3,896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2004年	4,177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
2003年	4,177	21.6	5.9	8.5	10.5	9.9	12.1	31.3	0.2	2.4	
冬 場	2011年	3,200	19.4	5.0	10.3	12.3	8.4	10.7	33.8	0.1	2.2
	2010年	3,200	19.8	6.1	9.8	11.4	9.5	11.4	32.0	0.0	2.3
	2009年	3,200	20.2	5.5	9.0	12.4	9.1	12.4	31.4	0.0	2.3
	2008年	3,200	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	2.3
	2007年	3,486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2006年	3,478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3,896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2004年	4,177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
2003年	4,177	20.0	5.5	9.6	11.4	10.0	12.8	30.5	0.2	2.3	
年 間 平 均	2011年	3,200	19.0	5.3	10.3	12.7	8.7	10.8	33.0	0.2	2.2
	2010年	3,200	19.3	6.2	10.5	11.2	9.8	12.1	30.7	0.2	2.3
	2009年	3,200	19.6	6.0	9.6	11.9	9.6	12.5	30.5	0.3	2.3
	2008年	3,200	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	2.3
	2007年	3,486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2006年	3,478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3,896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2004年	4,177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3
2003年	4,177	19.7	6.2	9.8	10.7	10.7	12.8	30.0	0.2	2.3	

2. 白もの牛乳類の飲用量

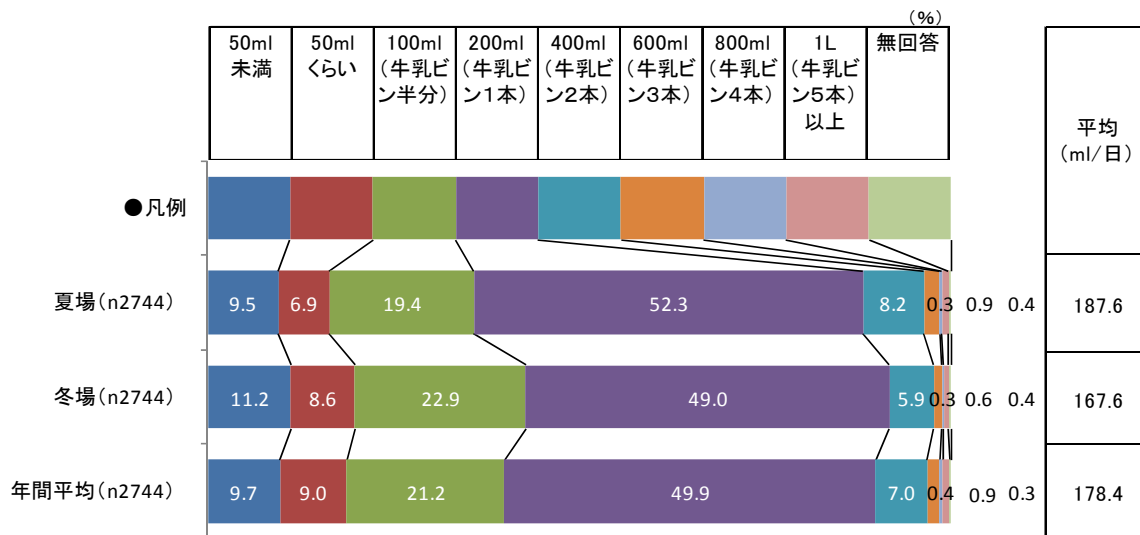
- そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを質問した。
- 全体では「200ml」が最も多く、50%を占めた。性別や性年代別、地域別で見ても、「200ml」が多くなっている。
- 平均飲用量（ml/日）を算出したところ、全体では「178.4ml」となった。性年代別で最も平均飲用量が多いのは、男子中学生であり、「291.5ml」。一方、平均飲用量が少ないのは、男性40・60代、女性30代である。また、地域別では、四国・北陸といった地域で平均飲用量が多くなっている。

【図表 I-2-1】性・年代別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（年間平均・SA）＜飲用者ベース＞



- 白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動を見てみると、平均量で夏場187.6ml、冬場167.6mlとなっており、夏場が冬場より20mlほど多くなっている（冬場よりも夏場が飲まれている）。
- 性・年齢別にみると、各層全てにおいて夏場の方が冬場より平均飲用量は多くなっている。

【図表 I-2-2】 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（SA）＜飲用者ベース＞



【図表 I-2-3】 性・年齢別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量（SA）＜飲用者ベース＞

カテゴリー名		n	夏場	冬場	年間平均
全体		2,744	187.6	167.6	178.4
性別	男性	1,325	194.4	172.7	184.9
	女性	1,419	181.5	163.0	172.5
男性×年代	男性-中学生	192	313.7	277.2	291.5
	男性-10代（中学生除く）	186	286.1	243.7	275.3
	男性-20代	161	210.9	193.1	210.2
	男性-30代	170	185.0	168.8	173.2
	男性-40代	167	166.8	145.4	153.2
	男性-50代	152	187.3	158.6	173.2
	男性-60代	148	159.4	134.9	142.1
	男性-70代以上	149	191.3	179.2	195.6
女性×年代	女性-中学生	191	248.9	220.5	230.4
	女性-10代（中学生除く）	171	162.2	152.8	162.0
	女性-20代	174	165.2	157.2	160.9
	女性-30代	183	159.3	144.6	149.2
	女性-40代	178	172.4	154.7	172.1
	女性-50代	178	192.3	157.7	175.0
	女性-60代	176	191.6	171.7	179.8
	女性-70代以上	168	189.3	175.0	180.7
地域別	北海道	120	199.9	181.3	189.1
	東北	212	186.4	164.7	173.1
	関東	1,041	186.1	167.7	180.3
	東海	331	179.0	164.6	168.6
	北陸	67	198.9	189.5	196.4
	近畿	439	185.8	164.5	174.0
	中国	152	179.1	156.4	167.7
	四国	84	219.5	188.3	205.2
	九州	298	194.2	167.1	182.3

- 白もの牛乳類の1日の平均飲用量の時系列変化を見ると、飲用頻度と同様にダウントレンドとなっており、夏場・冬場・年間平均を問わず、年々飲用量は減少している。
- 2003年度⇒2011年度の変化を見ると、夏場が▲18.0%、冬場が▲11.1%、年間平均が▲14.7%、それぞれ減少している。

【図表 I-2-4】 季節変動/時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 (SA) <飲用者ベース>

		n	50ml未満	50mlくらい	100ml(牛乳ビン半分)	200ml(牛乳ビン1本)	400ml(牛乳ビン2本)	600ml(牛乳ビン3本)	800ml(牛乳ビン4本)	1L(牛乳ビン5本)以上	無回答	平均(ml/日)
夏場	2011年	2,744	9.5	6.9	19.4	52.3	8.2	2.1	0.3	0.9	0.4	187.6
	2010年	2,827	10.6	6.5	18.1	48.9	11.9	2.3	0.5	1.2	-	198.5
	2009年	2,831	7.7	6.5	18.3	52.7	11.1	2.3	0.7	0.7	0.0	199.3
	2008年	2,851	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5	200.2
	2007年	3,044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2006年	3,001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3,497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
	2004年	3,726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9
2003年	3,747	6.2	4.4	13.5	53.1	15.7	3.7	0.8	1.0	1.7	228.9	
冬場	2011年	2,744	11.2	8.6	22.9	49.0	5.9	1.1	0.3	0.6	0.4	167.6
	2010年	2,827	12.9	8.6	23.2	45.5	7.4	1.3	0.5	0.5	0.1	168.0
	2009年	2,831	9.9	8.2	22.0	50.1	7.4	1.1	0.7	0.5	0.0	175.8
	2008年	2,851	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7	173.0
	2007年	3,044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2006年	3,001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3,497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
	2004年	3,726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6
2003年	3,747	8.0	6.5	18.9	53.0	9.1	1.5	0.4	0.6	1.9	188.6	
年間平均	2011年	2,744	9.7	9.0	21.2	49.9	7.0	1.6	0.4	0.9	0.3	178.4
	2010年	2,827	10.9	8.1	21.6	46.8	8.8	1.8	0.6	1.4	-	187.0
	2009年	2,831	8.2	7.4	21.2	51.1	9.2	1.4	0.6	0.8	0.0	187.7
	2008年	2,851	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3	183.6
	2007年	3,044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2006年	3,001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3,497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2004年	3,726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2
2003年	3,747	6.5	6.0	16.5	53.3	12.0	2.2	0.7	1.1	1.8	209.2	

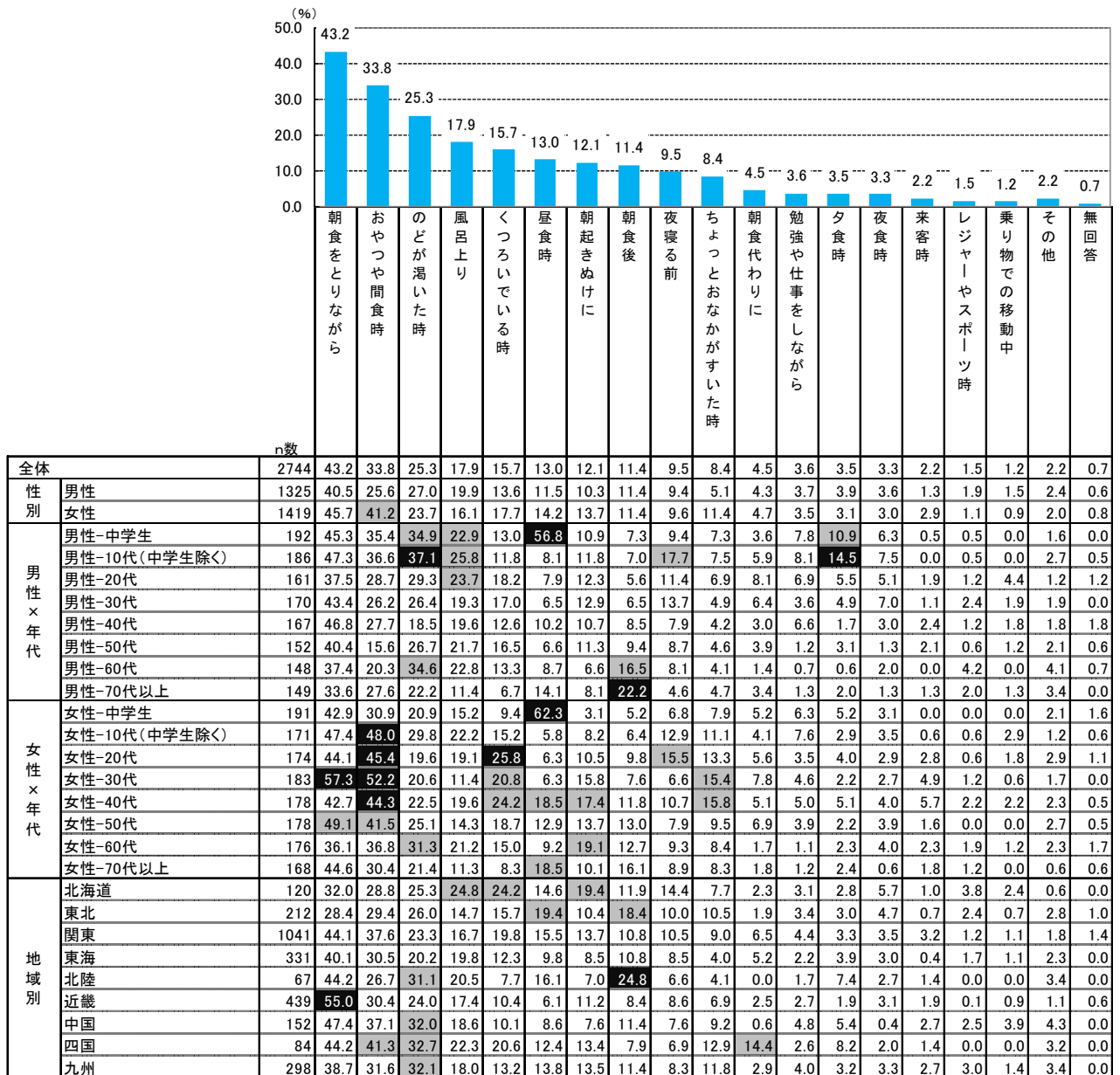
【図表 I-2-5】 性・年齢別/時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
		n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)	n	平均(ml/日)
全体		4177	141.5	4177	127.3	3896	126.9	3478	122.5	3486	121.6	3200	112.9	3200	113.5	3200	111.0	3200	109.3
男性	中学生	48	318.6	49	309.5	54	324.8	52	339.4	75	235.1	200	287.3	200	268.9	200	271.0	200	267.6
	10代(中学生除)	124	254.8	132	254.3	89	226.7	95	217.8	97	205.6	200	190.0	200	175.5	200	197.2	200	235.9
	20代	224	164.4	243	129.3	184	117.3	187	144.6	253	137.3	200	126.3	200	114.4	200	108.9	200	118.4
	30代	288	133.3	301	115.5	236	113.3	266	118.4	291	94.7	200	85.1	200	92.4	200	100.6	200	110.9
	40代	287	110.6	292	107.0	277	100.1	227	115.3	241	79.7	200	85.1	200	92.7	200	101.3	200	84.6
	50代	356	123.3	383	109.0	355	105.1	315	98.8	290	106.8	200	93.9	200	78.1	200	82.2	200	70.7
	60代	336	116.2	311	117.1	323	118.2	271	112.7	243	109.5	200	97.7	200	91.6	200	95.2	200	37.9
	70代以上	244	137.4	235	111.9	252	126.8	250	109.4	233	114.6	200	107.6	200	124.7	200	97.7	200	81.9
女性	中学生	54	264.2	39	217.8	46	210.7	50	246.7	67	179.3	200	199.1	200	215.2	200	177.5	200	204.9
	10代(中学生除)	120	147.7	126	126.6	110	157.3	91	116.1	89	110.9	200	98.7	200	115.2	200	87.7	200	100.9
	20代	294	125.6	252	118.0	234	106.8	189	114.6	242	123.3	200	110.0	200	110.1	200	115.8	200	105.0
	30代	353	137.5	354	128.9	355	126.6	280	105.9	265	134.9	200	107.4	200	127.6	200	82.6	200	116.5
	40代	330	141.3	369	116.4	292	137.2	284	119.1	234	109.2	200	117.2	200	100.7	200	134.5	200	125.8
	50代	443	152.9	422	121.0	430	129.2	342	110.7	281	131.6	200	103.9	200	113.6	200	106.4	200	127.5
	60代	376	134.7	368	134.7	373	121.5	263	124.7	243	117.0	200	125.5	200	132.8	200	119.1	200	125.8
	70代以上	300	127.1	301	124.5	286	123.7	316	111.9	342	123.3	200	118.9	200	111.3	200	120.8	200	111.8
男性計		1907	141.8	1946	128.8	1770	125.0	1663	127.5	1723	118.1	1600	109.8	1600	107.7	1600	108.3	1600	96.8
女性計		2270	141.2	2231	125.9	2126	128.5	1815	118.0	1763	125.1	1600	115.7	1600	119.1	1600	113.6	1600	121.8

3. 白もの牛乳類の飲用シーン

- 白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを質問した。
- 全体では、「朝食をとりながら (43%)」、「おやつや間食時 (34%)」、「のどがかわいたとき (25%)」が上位。
- 性別では、女性の「おやつや間食時 (41%)」が41%と全体より7ポイント上回っている。
- 性年代別では、男性は男子中学生の「昼食時 (57%)」、男性10代の「のどが渴いた時 (37%)」「夕食時 (15%)」が全体より10%以上上回っている。女性では、女子中学生の「昼食時(62%)」、女性10代の「おやつや間食時(48%)」、女性20代の「おやつや間食時 (45%)」「くつろいでいる時 (26%)」、女性30代の「朝食をとりながら (57%)」「おやつや間食時 (52%)」、女性40代の「おやつや間食時 (44%)」が全体より10%以上上回っている。男女中学生の場合、当然のことながら、給食時の飲用が背景にあると思われる。概ね女性は、「おやつや間食時」に飲用するシーンが多いことがわかる。
- 地域別では、近畿の「朝食をとりながら (55%)」が特に多い。

【図表 I-3-1】性・年齢別 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■2010年度との比較では、「のどが渴いた時」が▲10%、「くつろいでいる時」が▲5%の減少となっているものの、その他の項目については大きな変動は見られない。

【図表 I-3-2】時系列 問5 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

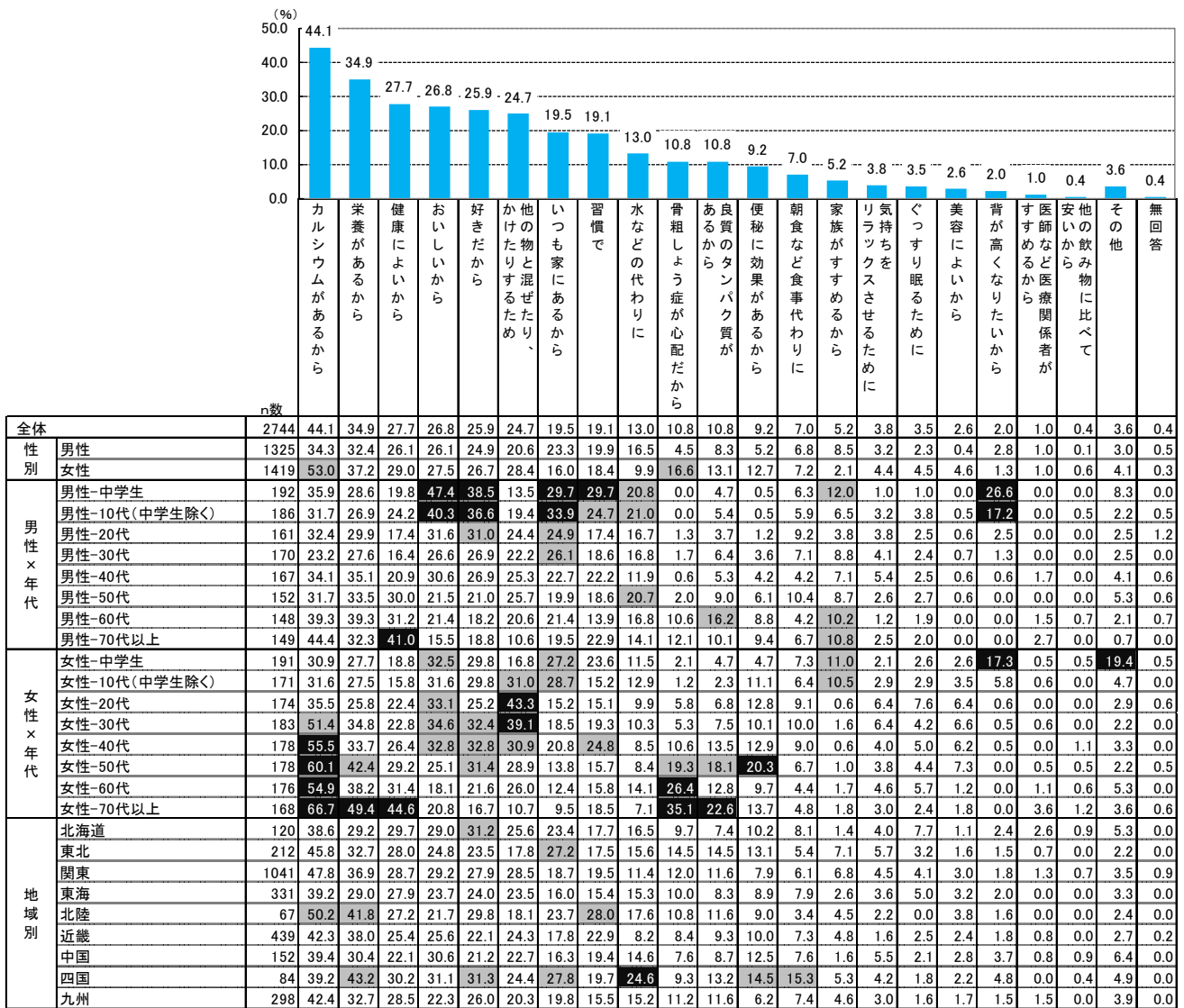
(%)

	n	朝食をとりながら	おやつや、間食時	のどが渴いた時	風呂上り	くつろいでいる時	昼食時	朝起きぬけに	朝食後	夜寝る前	ちよつとおなががすいた時	朝食代わりに	勉強や仕事をしながら	夕食時	夜食時	来客時	レジャーやスポーツ時	乗り物での移動中	その他
2011年	2,744	43.2	33.8	25.3	17.9	15.7	13.0	12.1	11.4	9.5	8.4	4.5	3.6	3.5	3.3	2.2	1.5	1.2	2.2
2010年	2,827	44.7	35.7	36.3	19.9	20.7	12.3	11.0	12.4	11.4	11.4	4.6	4.4	6.0	3.2	3.2	1.2	2.1	3.6
2009年	2,831	42.5	36.5	36.7	22.2	22.7	13.5	10.8	12.3	10.5	11.4	5.2	5.3	6.0	3.5	4.1	1.6	2.0	2.7
2008年	2,851	43.5	34.9	38.7	24.6	22.5	15.0	11.6	12.5	12.0	13.2	6.0	4.8	5.9	3.8	3.3	1.7	2.0	2.3
2007年	3,044	42.9	34.1	39.4	24.8	20.3	14.7	12.4	11.5	11.2	12.2	6.0	4.5	5.7	3.5	3.3	1.8	2.1	2.6
2006年	3,001	40.4	35.7	41.2	26.7	21.4	15.0	12.1	13.8	14.1	13.8	6.7	4.6	6.7	3.7	2.9	2.3	2.0	2.7
2005年	3,497	41.6	37.0	43.0	26.9	21.1	15.3	11.6	13.5	14.5	14.1	6.4	4.3	6.6	4.5	2.9	1.9	2.1	2.3
2004年																			
2003年																			
2002年	3,810	46.8	43.3	53.3	38.5	25.1	18.8	17.2	18.0	18.7	20.8	11.3	6.4	8.1	6.0	3.6	4.2	2.8	2.3

4. 白もの牛乳類の飲用理由

- 白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を質問した。
- 全体では、「カルシウムがあるから (44%)」、「栄養があるから (35%)」、「健康によいから (28%)」、「おいしいから (27%)」、「好きだから (26%)」、「他の物と混ぜたり、かけたりするため (25%)」が上位。
- 性別では、女性は「カルシウムがあるから (53%)」「骨粗しょう症が心配だから (17%)」が全体よりも5%以上上回っている。
- 性年代別では、女性30代以上の世代で「カルシウムがあるから」を飲用理由とする割合が目立ち、それぞれ5割を超えている。また、女性60代以上は「骨粗しょう症が心配だから」が25%以上となっている。

【図表 I-4-1】性・年齢別 問6 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■白もの牛乳類を飲む理由の時系列変化を見ると、大きく変化したものは下記の通りとなっている（飲用者ベース）。

- 「骨粗しょう症が心配だから」・・・2000年度⇒2011年度：▲18%
- 「健康によいから」・・・・・・2002年度⇒2011年度：▲18%
- 「カルシウムがあるから」・・・・2000年度⇒2011年度：▲17%
- 「栄養があるから」・・・・・・2000年度⇒2011年度：▲14%
- 「いつも家にあるから」・・・・2000年度⇒2011年度：▲14%
- 「良質のタンパク質がある」・・・・2000年度⇒2011年度：▲10%

■これらを見ると、一般的に知られている白もの牛乳類の長所である“健康面でのメリット（骨粗しょう症の防止、健康によい、カルシウムがある、良質のタンパク質がある）”での訴求力が弱まっていることがうかがえる。また、「いつも家にあるから」もポイントの低下が目立っており、多種多様な飲料に囲まれた現代の食のライフスタイルを象徴する結果となった。

【図表 I-4-2】時系列 問6 白もの牛乳類を飲む理由（MA）

																						(%)					
		カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	おいしいから	好きだから	他のものと混ぜたりする	いつも家にあるから	習慣で	水などの代わりに	骨粗しょう症が心配だから	良質のタンパク質がある	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	気持ちをリラックスさせる	ぐっすり眠るために	美容に良いから	背が高くなりたいから	医療関係者がすすめる	他の飲み物に比べ安い	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	
n																											
△ 飲用者ベースV	2011年	2,744	44.1	34.9	27.7	26.8	25.9	24.7	19.5	19.1	13.0	10.8	10.8	9.2	7.0	5.2	3.8	3.5	2.6	2.0	1.0	0.4				3.6	
	2010年	2,827	45.2	34.3	30.0	28.8	27.4	33.5	21.5	19.8	15.9	15.0	13.9	11.4	6.6	5.3	4.7	4.1	2.3	2.3	0.8	0.8				3.2	
	2009年	2,831	48.7	38.7	33.4	28.3	28.0	31.1	23.1	21.9	16.3	13.7	13.7	10.8	7.6	5.0	5.0	4.1	3.0	2.8	1.0	1.5				3.6	
	2008年	2,851	48.3	37.6	33.6	29.4	29.9	24.3	23.0	22.2	15.4	19.0	14.2	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.3	2.6	1.2	1.4				3.3	
	2007年	3,044	48.0	38.6	34.2	27.4	27.8	23.0	21.6	21.3	16.3	18.8	13.8	10.1	8.0	5.9	4.7	4.2	2.7	2.9	1.0	1.2				3.0	
	2006年	3,001	56.8	45.1	40.5	27.7	28.1	27.4	23.2	19.7	14.6	22.5	16.1	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.7	3.4	2.0	1.6				3.5	
	2005年	3,497	55.4	42.6	41.6	27.6	28.5	24.9	21.3	19.4	16.6	23.3	16.8	13.1	7.9	4.8	5.3	4.9	3.8	3.1	1.9	1.6				2.1	
	2002年	3,810	60.6	49.2	45.9	29.9	29.7	25.7	26.9	20.0	19.4	27.3	20.8	14.9	7.9	5.3	3.9	5.0	4.1	3.7	1.8	2.0				2.1	
	2000年	4,171	61.2	49.2		34.9	30.9		33.3	19.0	21.5	28.5	20.7	18.1	10.5	9.2	4.9	5.1	5.2		2.5		4.8			2.7	
△ 全体ベースV	1999年	4,476	54.8	45.1		32.9	29.2		31.4	18.0	20.6	25.1	19.1	17.9	9.7	7.7	5.2	5.3	4.7		2.2				2.4	10.6	
	1997年	4,547	55.4	41.0		24.4	23.5		27.8	13.1	17.3	24.1	15.2	16.0	8.1	7.6			3.1					3.6		3.3	11.1
	1996年	4,706	50.3	40.7		22.2	23.3		19.9	15.5	17.3	19.3			7.9	5.7										3.2	10.4
	1995年	4,668	51.5	45.3		20.6	22.0		20.6	16.1	16.9	16.1			8.3	4.6			4.6	4.6	1.6	2.2		2.8		2.6	11.7
	1994年	4,617	58.7	53.9		26.5	26.5		31.0	14.3	13.4				8.6	6.5			5.7	5.7	2.5	2.8		4.5		2.9	13.4
	1993年	4,553	59.2	58.2		28.0	27.9		34.3	16.2	12.7				9.4	6.2			9.2	7.1	2.9	4.0		5.2		2.2	12.8
	1992年	4,651	51.3	52.8		25.2	28.2		30.3	14.7	14.5				8.5	6.3			4.9	5.5	2.7	2.3		3.7	2.1	2.1	13.7
	1991年	4,714	50.1	54.3		25.5	28.2		31.1	14.0	15.4				8.3	6.0			5.6	6.3	2.9	2.0		5.1	2.8	2.0	12.5
	1990年	4,691	54.3	58.3		23.0	26.6		30.7	13.5	14.2				8.4	5.7			7.7	5.9	2.7	2.1		4.1	2.5	2.0	12.8
	1989年	4,579	46.9	54.9		22.1	26.0		29.6	12.1	14.0				8.8	5.5			6.9	4.7	3.0	2.2		3.9	2.2	1.7	15.4
	1988年	4,604	44.4	55.7		23.0	25.9		29.7	11.5	14.0				9.2	6.2			9.0	6.6	2.4	2.8		5.3	2.4	1.6	15.4
1987年	4,664	38.4	53.4		23.7	27.5		27.4	14.7	18.2				9.1	5.1			8.6	5.5	2.0	2.5		4.8	3.2	1.6	16.1	

※斜線はデータなし

※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし

※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

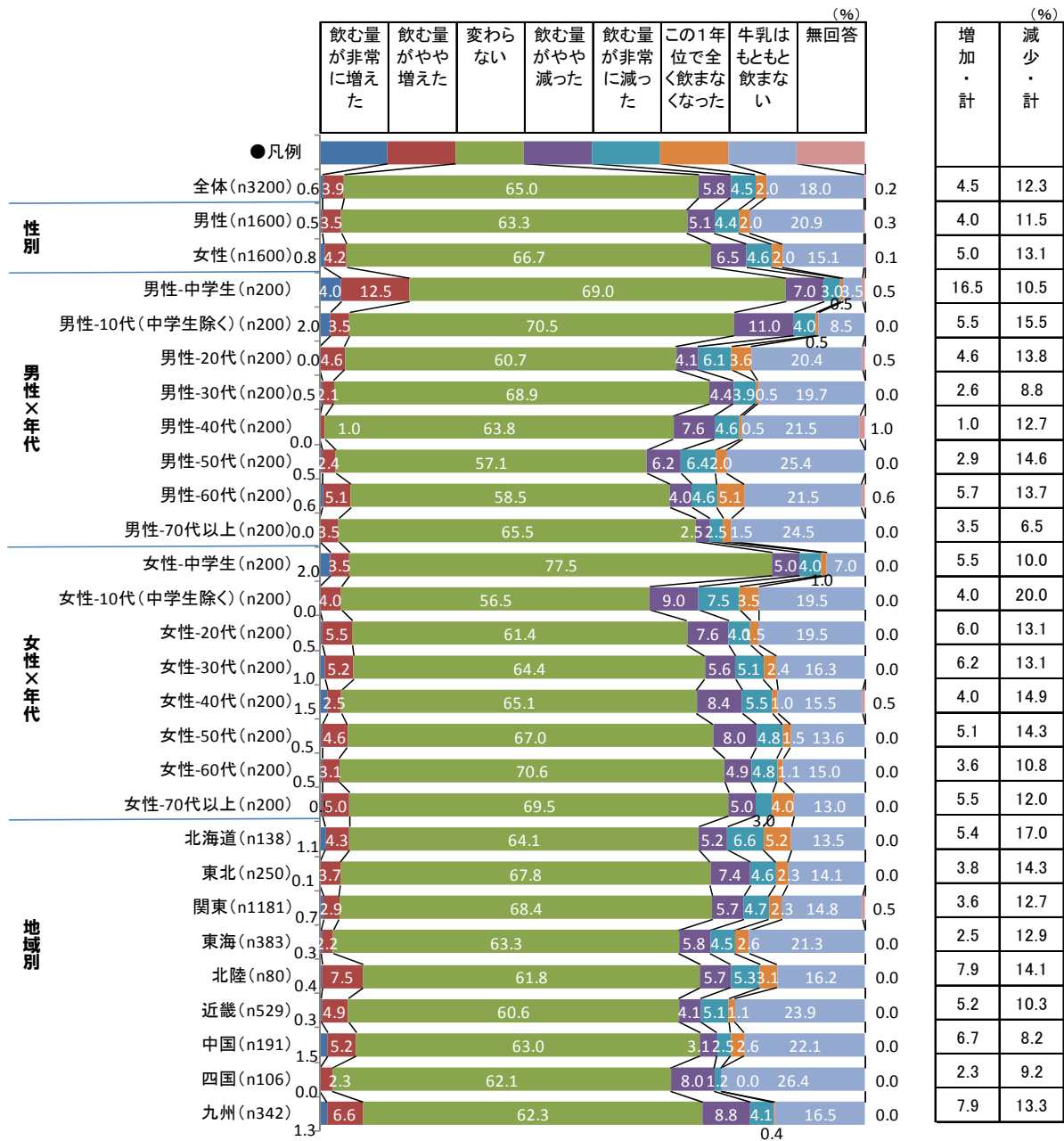
II. この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

1. 飲み方別飲用量の増減

(1) そのまま飲む量の増減

- この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて質問した。
- そのまま飲む場合、「減少計（非常に減った+やや減った+1年位で全く飲まなくなった）」と答えた人は12%となり、「増加計」（非常に増えた+やや増えた）と答えた人（5%）を約7ポイント上回っている。
- 性別では、男女で大きな違いは見られない。
- 性年代別では、男子中学生のみ、「増加計」が「減少計」を6ポイント上回っている。
- 地域別では、「減少計」が大きいのは、北海道（17%）、東北（14%）、北陸（14%）などである。

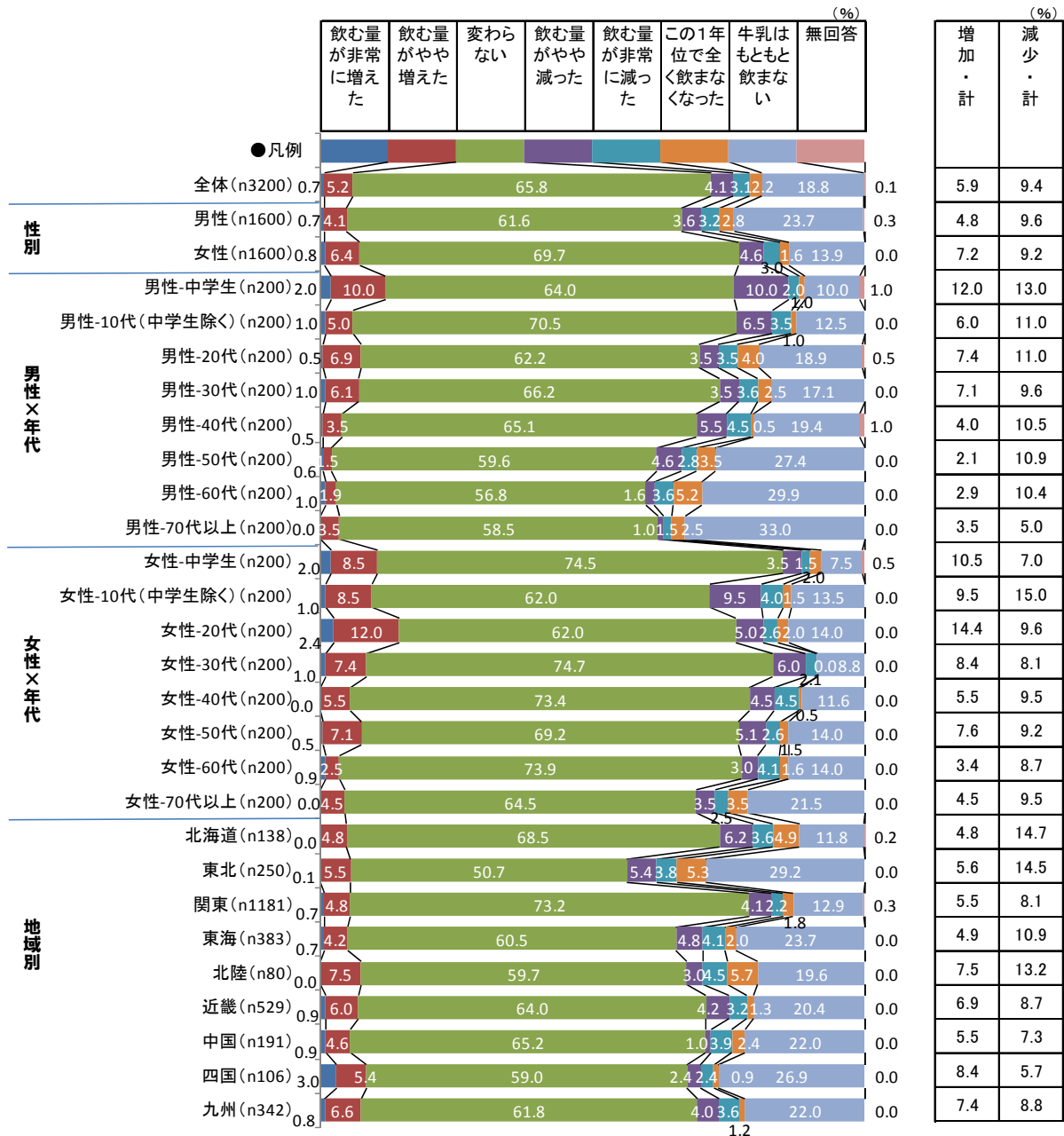
【図表II-1-1】性・年代別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合 (SA)



(2) 混ぜて飲む量の増減

- 他のものと混ぜて飲む場合では、「増加計」が6%、「減少計」が9%となり、「減少計」が3ポイント上回っている。
- 性別では、男性は「増加計」が5%、「減少計」が10%、女性は「増加計」が7%、「減少計」が9%となった。男性の方が女性よりも、「増加計」と「減少計」の差異が大きい(▲5%)。
- 性年代別では、女子中学生と女性20代で「減少計」よりも「増加計」が上回っている。
- 地域別では、四国で「減少計」よりも「増加計」が上回っている。

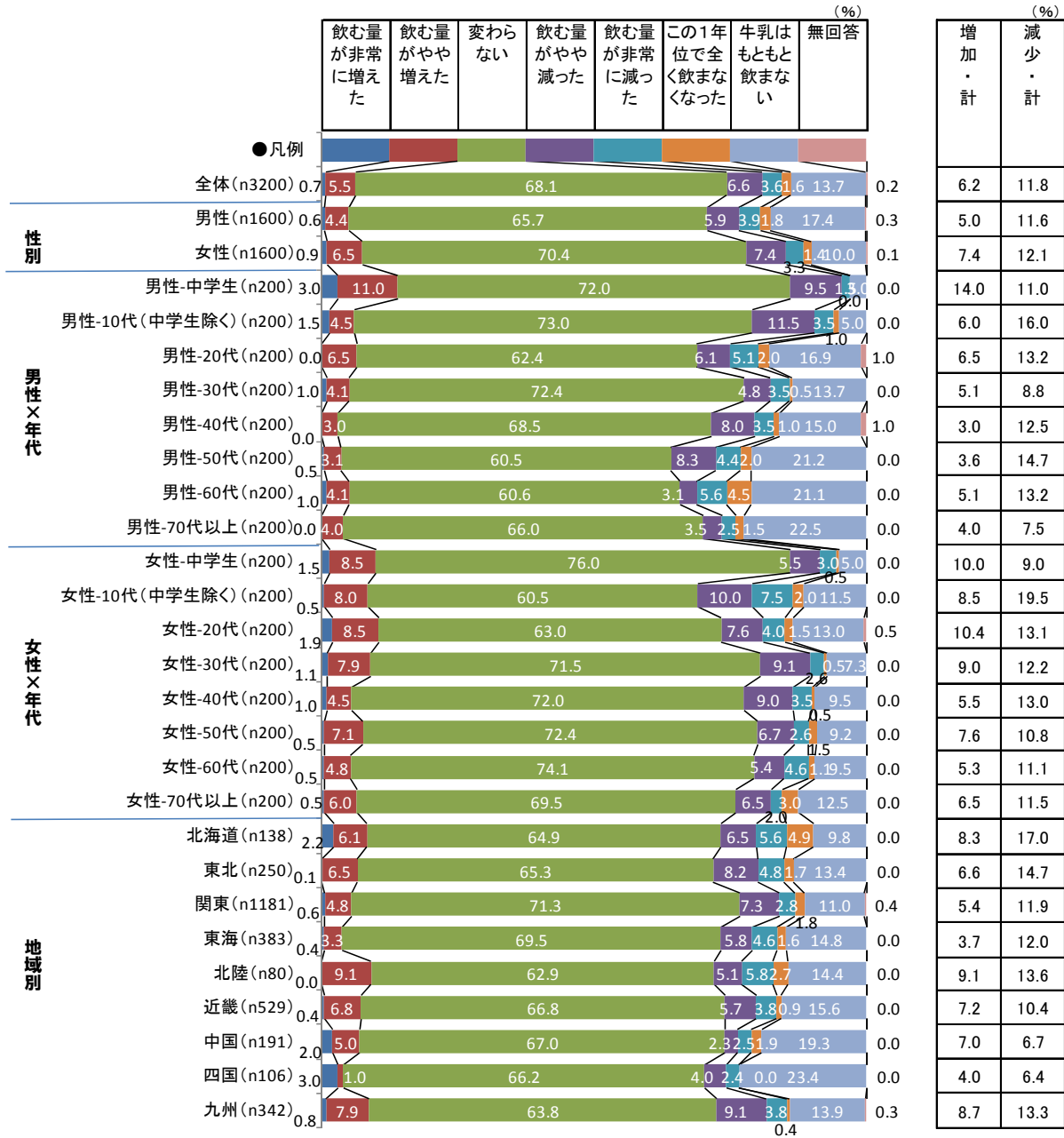
【図表II-1-2】性・年代別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減(2) 混ぜて飲む場合(SA)



(3) 全体での増減

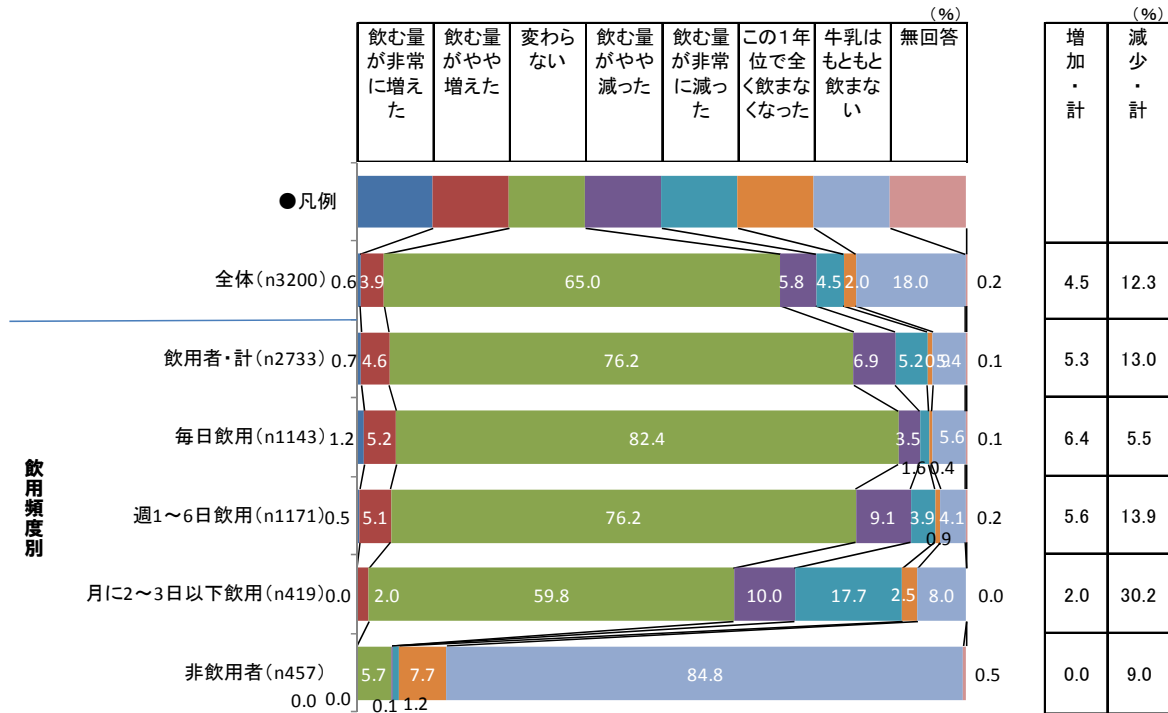
- 白もの牛乳類の飲用全体では、「増加計」が6%、「減少計」が12%となり、「減少計」が6ポイント上回っている。
- 性別では、男性は「増加計」が5%、「減少計」が12%、女性は「増加計」が7%、「減少計」が12%となった。男性の方が女性よりも、「増加計」と「減少計」の差異が大きい(▲7%)。
- 性年代別では、男子中学生と女性中学生が「増加計」が「減少計」を上回っている。
- 地域別では、中国を除いた地域で「減少計」が「増加計」を上回っている。

【図表II-1-3】性・年代別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体 (SA)

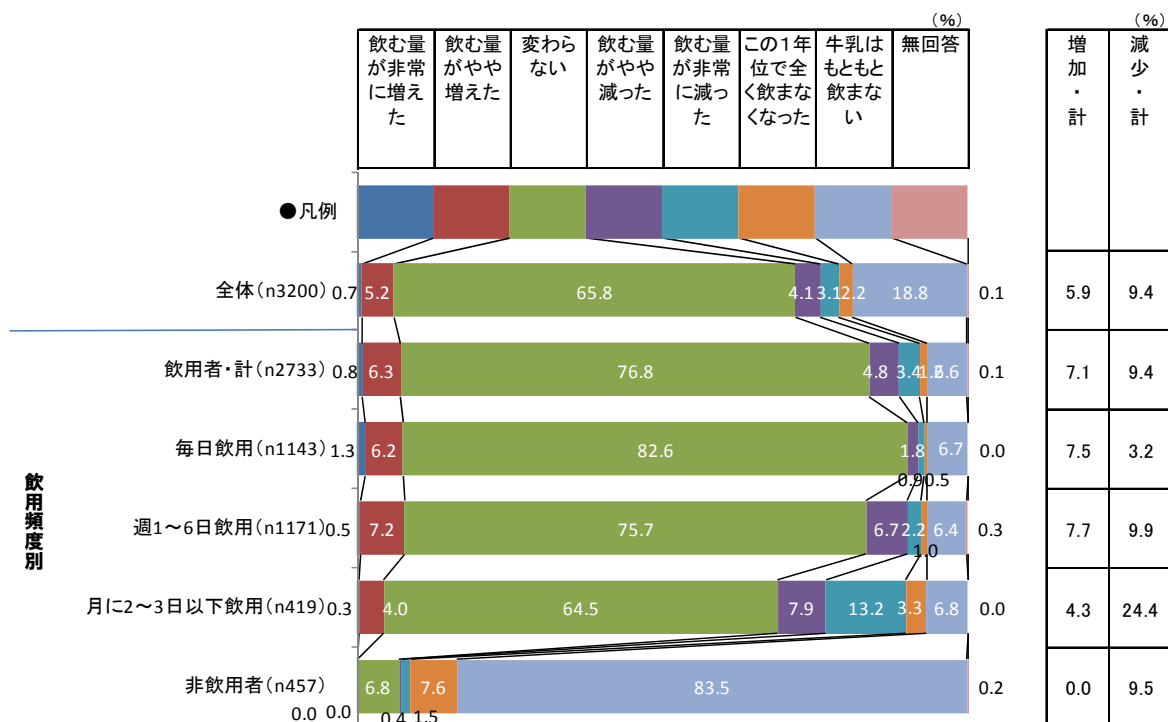


- 白もの牛乳類の飲用行動別に、飲用量増減の感じ方を見ている。
- 毎日飲用者は、そのまま飲む場合と混ぜて飲む場合において、「増加計」が「減少計」を上回っている。
- 週1～6日という中程度の層では、そのまま飲む場合は「減少計」が「増加計」を8ポイント上回る。しかしながら、混ぜて飲む場合、「減少計」が「増加計」を上回っているが、その差異は▲2%程度にとどまっている。
- 低頻度層では（月に2～3日以下）「減少計」が2～3割にのぼる。

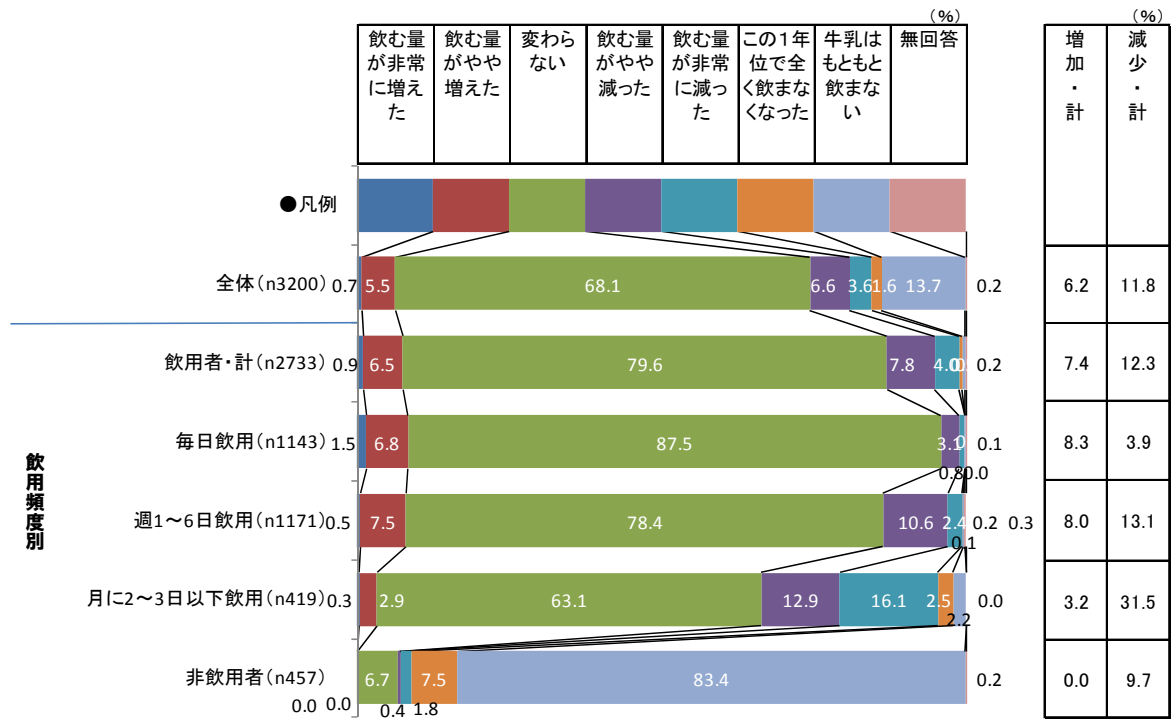
【図表Ⅱ-1-4】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（1）そのまま飲む場合（SA）



【図表Ⅱ-1-5】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（2）混ぜて飲む場合（SA）



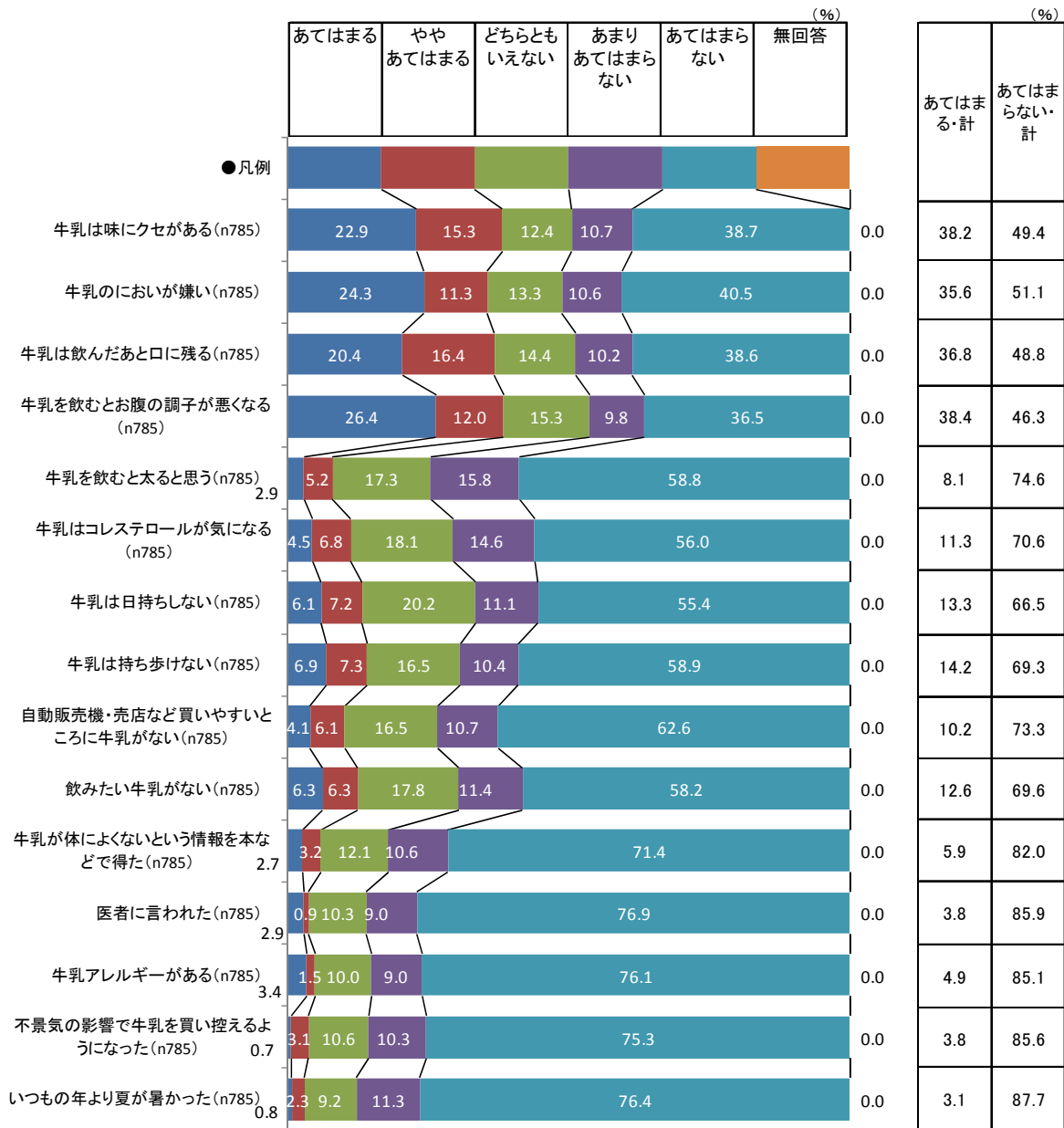
【図表Ⅱ-1-6】飲用行動別 問7 白もの牛乳類の飲用量の増減（3）全体（SA）



2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

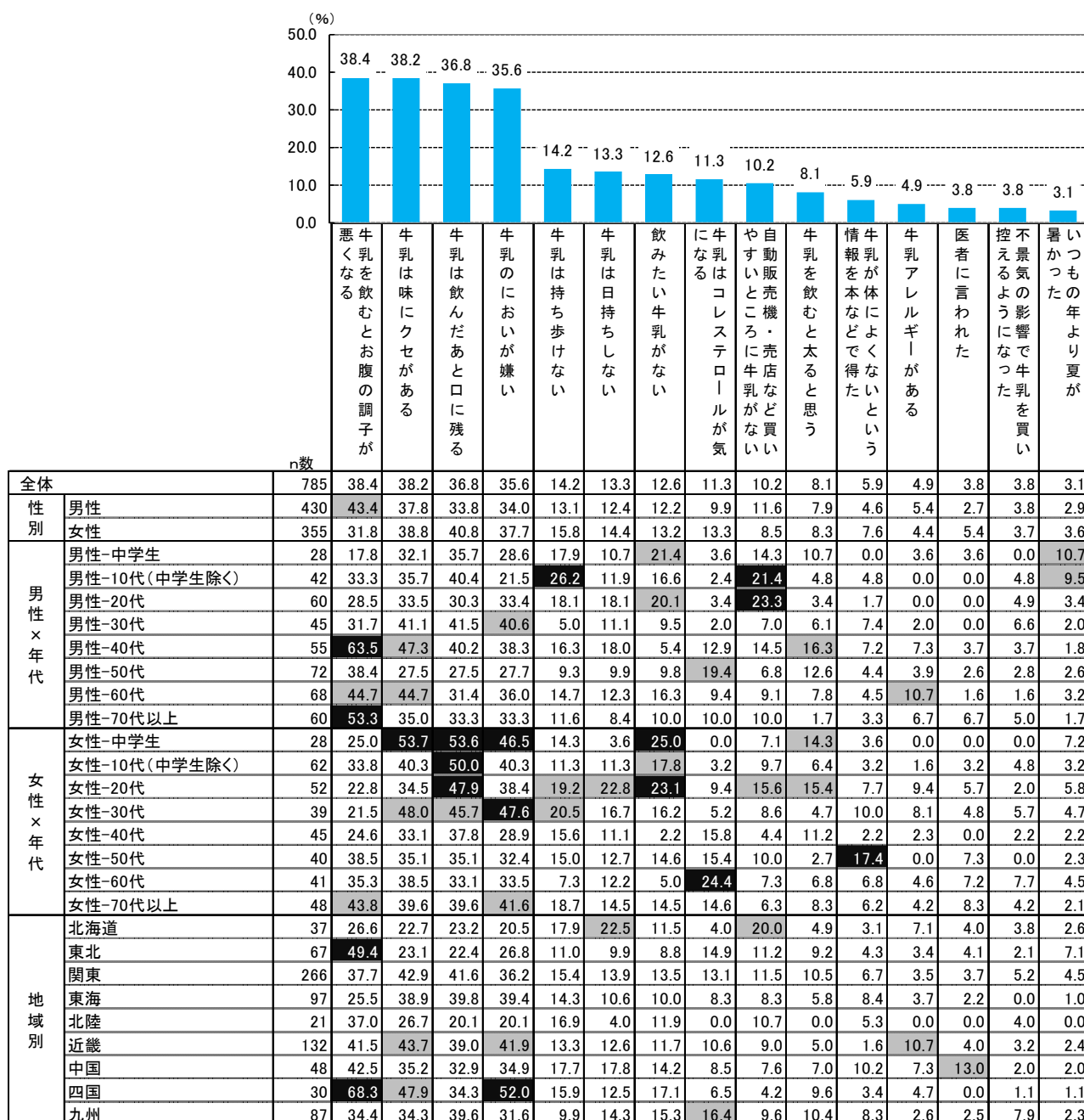
- この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った・牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（15項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で質問した。
- 「あてはまる計」で見ると、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる（38%）」「牛乳は味にクセがある（38%）」「牛乳は飲んだあと口に残る（37%）」「牛乳のおいげが嫌い（36%）」が上位となる。

【図表Ⅱ-2-1】問8 飲用量減少・非飲用理由（SA）＜飲用量が減少した人/非飲用者ベース＞



- 「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、性別に見ると、男性では「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」という体質要因が最も高く、次いで「牛乳は味にクセがある」「牛乳のにおいが嫌い」「牛乳を飲んだあと口に残る」と続く。女性は、「牛乳を飲んだあと口に残る」「牛乳は味にクセがある」「牛乳のにおいが嫌い」「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が続く。
- 性年代別では、男性40代の「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が64%と最も高い。また、女性20代以下では、「牛乳を飲んだあと口に残る」を嫌う割合が高くなっている。

【図表II-2-2】性・年代別 問8 飲用量減少・非飲用理由 「あてはまる計」(SA) <飲用量が減少した人/非飲用者ベース>



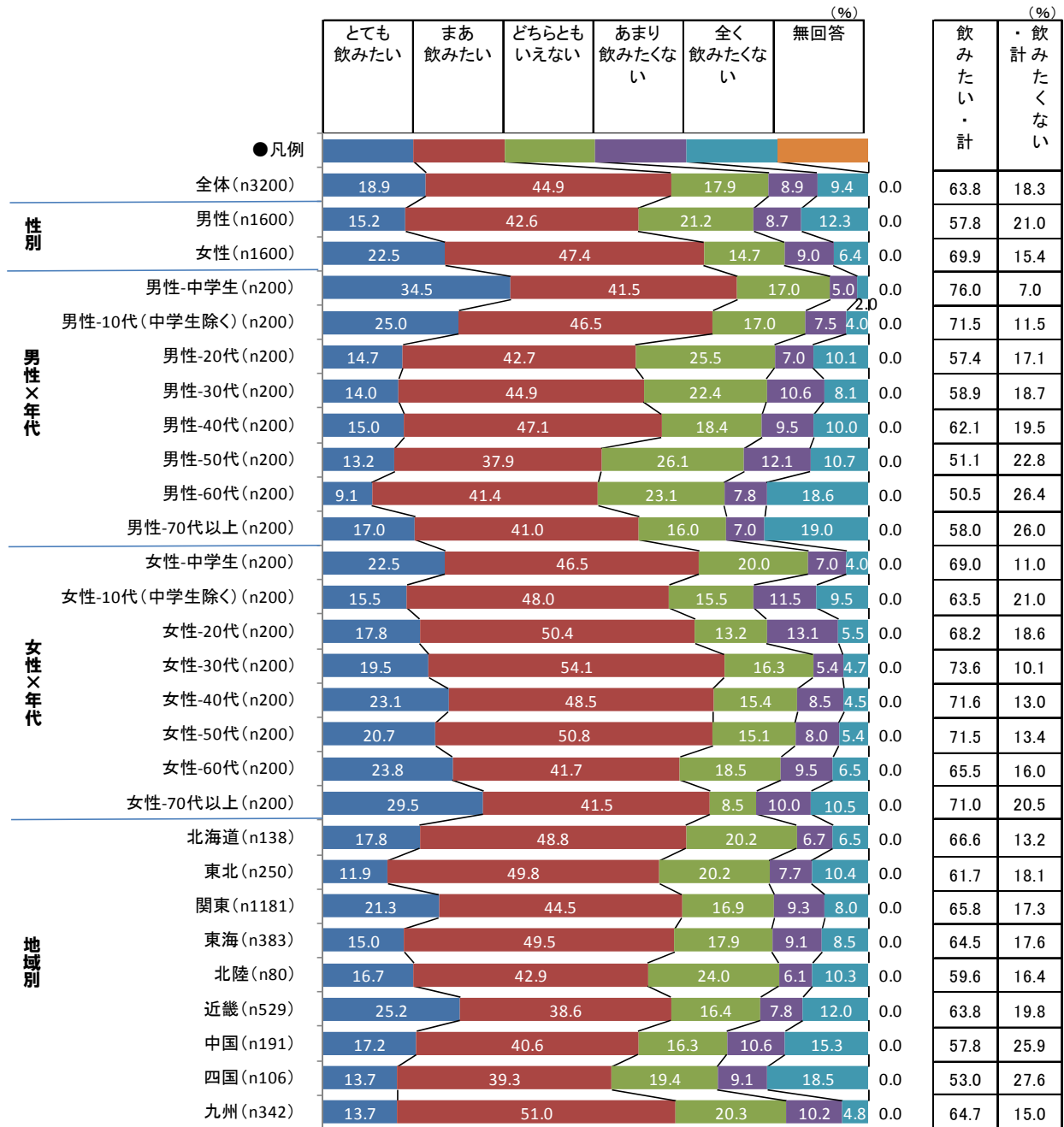
※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

※2009年より「価格が上がった」項目が削除され、「不景気の影響で牛乳を買い控える」「いつもより夏が暑かった」が追加された

3. 白もの牛乳類の飲用意向

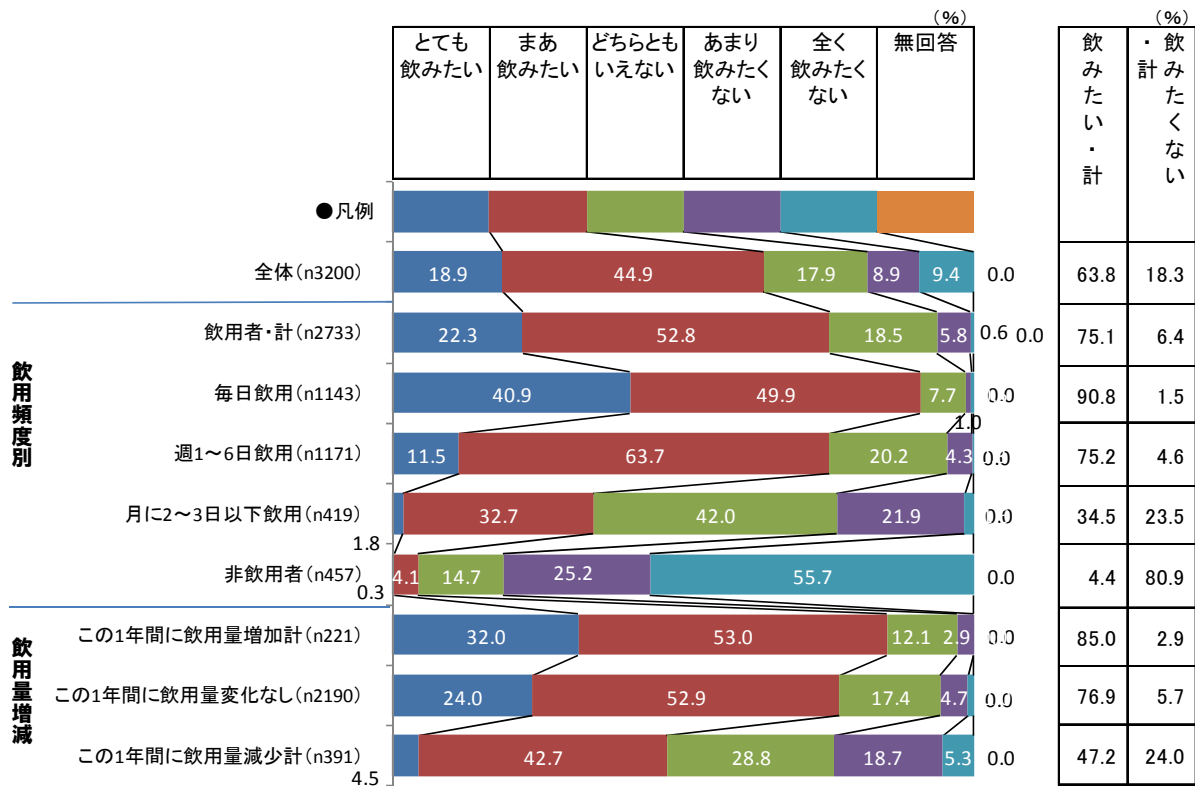
- 現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で質問した。
- 白もの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」19%、「まあ飲みたい」45%となっており、飲みたい計64%が飲用意向を示している。一方、「全く飲みたいくない」は9%、「あまり飲みたいくない」は9%で、飲みたいくない計は18%となる。
- 性別では、飲みたい計で男性が58%、女性が70%となり、女性の方が飲用意向は強い。
- 性年代別では、男子中学生の飲みたい計が76%と最も高い。また、男性は年代の上昇に反して飲用意向（とても飲みたい）が減少していく。一方、女性は年代の上昇とともに飲用意向（とても飲みたい）も上昇する。
- 地域別では、関東・近畿の飲用意向（とても飲みたい）が強い。

【図表Ⅱ-3-1】性・年代別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



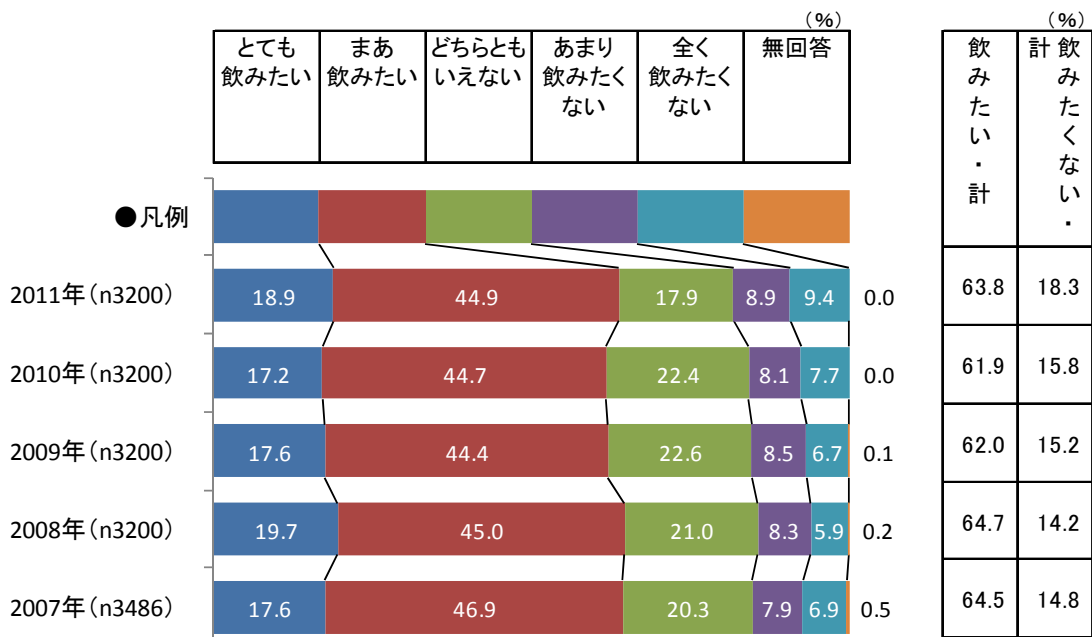
- 現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は、飲用者全体では22%、毎日飲用する人では41%となった。飲みたい計（とても飲みたい+まあ飲みたい）で見ると、毎日飲用する人は91%の飲用意向を示した。
- この1年間の飲用量増減別にみると、増加した人の飲みたい計は85%、「変化なし」の人でも77%と高い。この1年間に飲用量が減少した人では、47%が飲用意向を示している。

【図表Ⅱ-3-2】 飲用行動別 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）



- 時系列で白もの牛乳類の飲用意向を見ると、飲みたい計はあまり変化がなく、一方の飲みたいくない計は増加傾向を示している。

【図表Ⅱ-3-3】 時系列 問9 白もの牛乳類の飲用意向（SA）

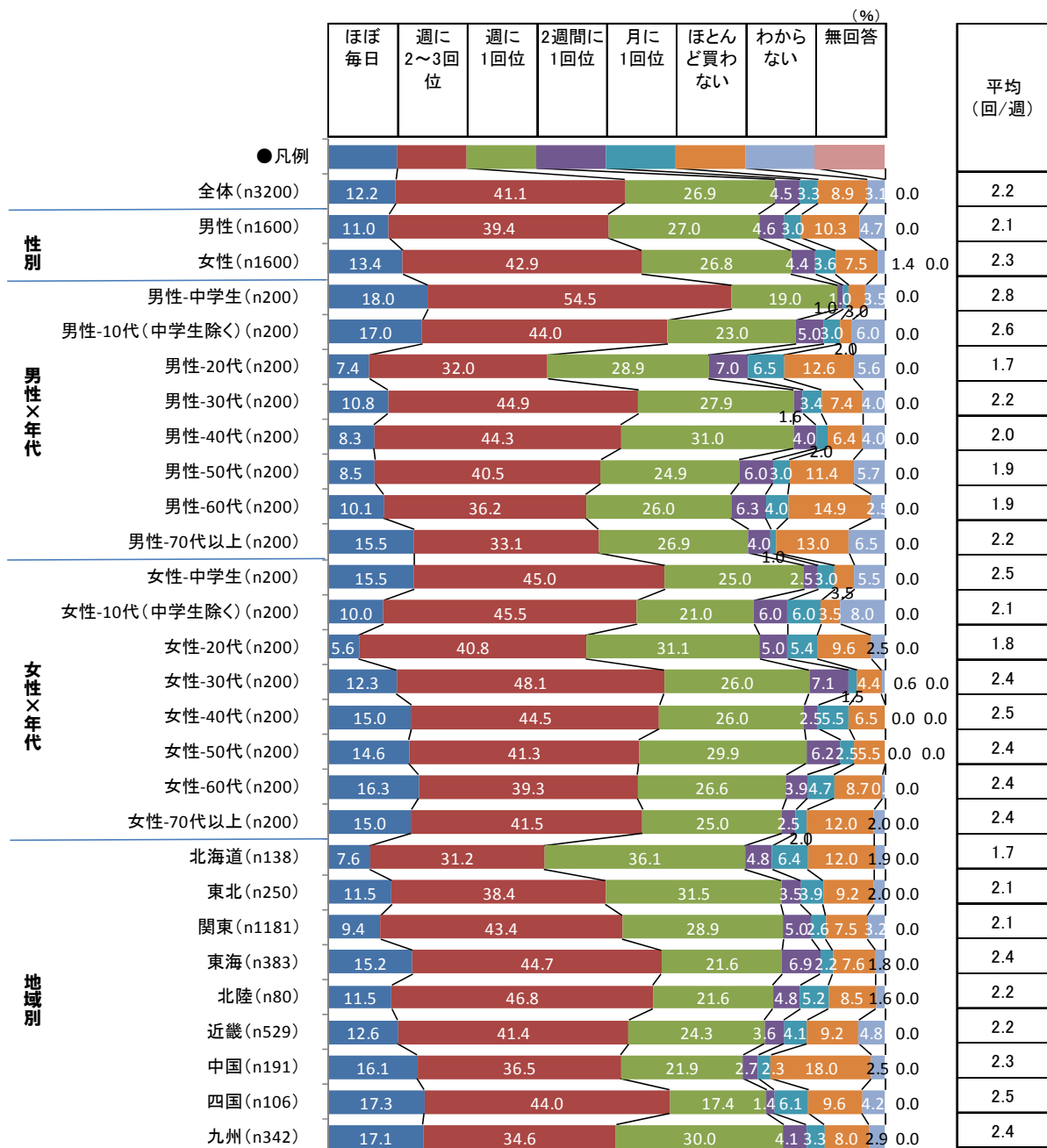


Ⅲ. 白もの牛乳類の購入実態

1. 白もの牛乳類の購入頻度

- 世帯として白もの牛乳類をどの位の頻度で購入するかを質問した。
- 「週に2~3回位」が41%で最も多く、次に「週に1回位」が27%となっている。「ほぼ毎日」は12%。週あたりの平均購入頻度は2.2回である。
- 性別では、男性が「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計で50%（平均購入頻度2.1回）、女性が同56%（平均購入頻度2.3回）となっている。
- 性年代別では、「ほぼ毎日」+「週に2~3回位」の計で男子中学生が73%と最も高い（平均購入頻度2.8回）。
- 地域別では、東日本よりも西日本の方が平均購入頻度の回数は多い。

【図表Ⅲ-1-1】 性・年代別 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）



■白もの牛乳類を購入する頻度を時系列で見ると、「ほぼ毎日」＋「週に2～3回位」は年々減少している傾向がうかがえる。一方、「ほとんど買わない」が増加傾向を示している。

【図表Ⅲ-1-2】時系列 問10 白もの牛乳類を購入する頻度（SA）

		(%)							(%)
	n	ほぼ毎日	週に2～3回位	週に1回位	2週間に1回位	月に1回位	ほとんど買わない	わからない 無回答	ほぼ毎日 ＋ 週に2～3 回位
2011年	3,200	12.2	41.1	26.9	4.5	3.3	8.9	3.1	53.3
2010年	3,200	13.9	39.9	25.2	6.0	4.0	8.0	1.3	53.8
2009年	3,200	16.4	42.1	23.1	6.2	3.5	7.4	1.3	58.5
2008年	3,200	17.3	41.3	23.9	5.0	3.4	7.3	1.9	58.6
2006年	3,478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5	53.5
2005年	3,896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1	59.2
2004年	4,177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4	61.0
2001年	4,778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7	67.4
2000年	4,632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5	69.7
1999年	4,476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1	72.5
1998年	4,472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3	71.7
1997年	4,547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3	75.0
1996年	4,706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4	72.9
1995年	4,668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7	73.3
1994年	4,617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3	76.0
1993年	4,553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7	75.5
1992年	4,651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0	74.6
1991年	4,714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6	76.5
1990年	4,691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7	78.0
1989年	4,579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0	75.8
1988年	4,604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5	75.4

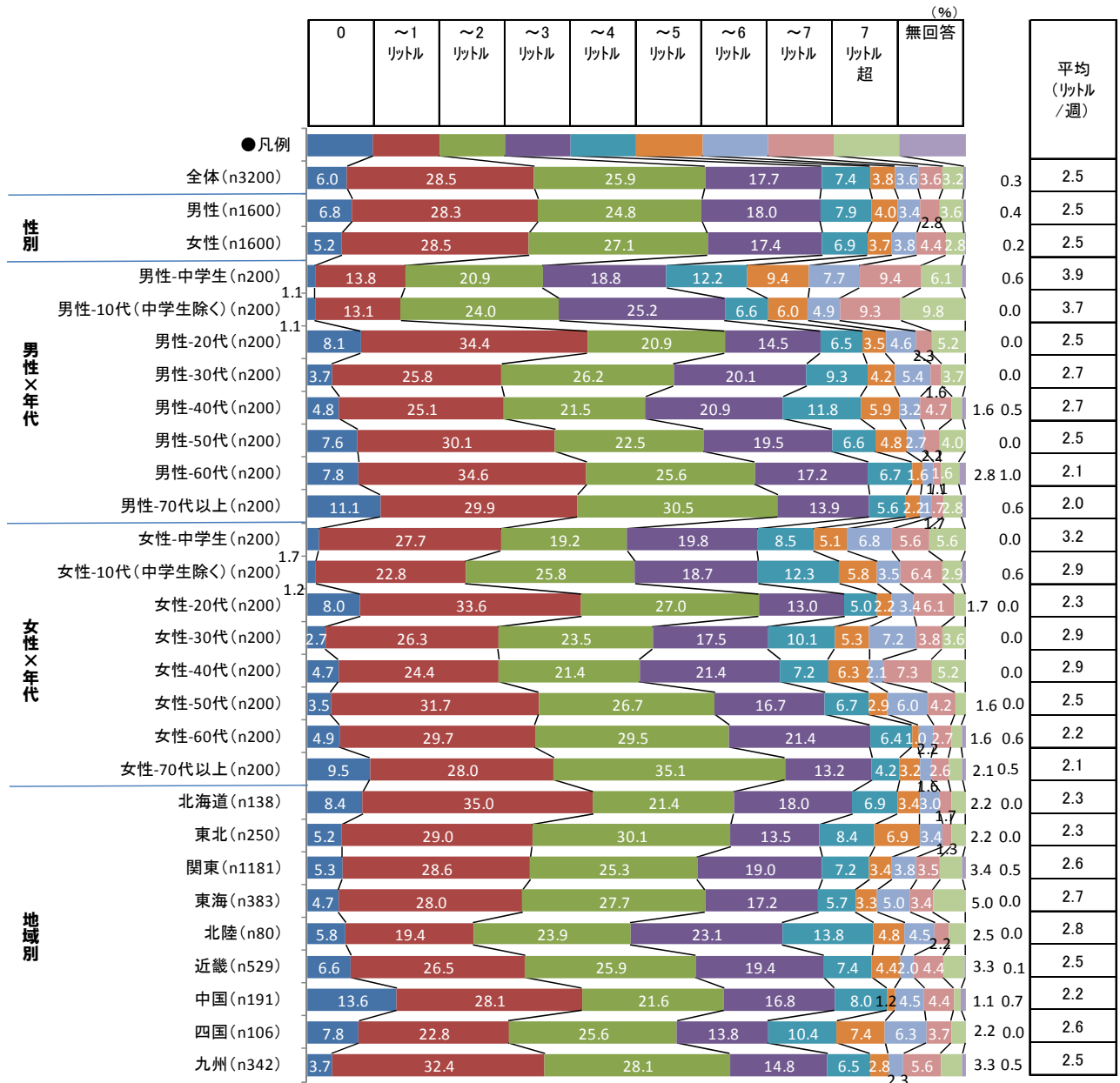
※2001年までは主婦役割主担当者が回答

※2004年、2005年、2006年、2008年、2011年の無回答は、「わからない」＋「無回答」

2. 白もの牛乳類の購入量

- 世帯として平均して1週間に白もの牛乳類をどの位購入しているかを質問した。
- 全体では、「1リットル以下」が29%、「1リットル超2リットル以下」がそれぞれ26%で高く、平均で2.5リットルとなっている。
- 性別では、男女ともに平均で2.5リットルとなっている。
- 性・年齢別に見ると、男性10代以下、女子中学生で、平均3リットル以上と多い。
- 地域別では、東海・北陸の平均購入量がやや多い。

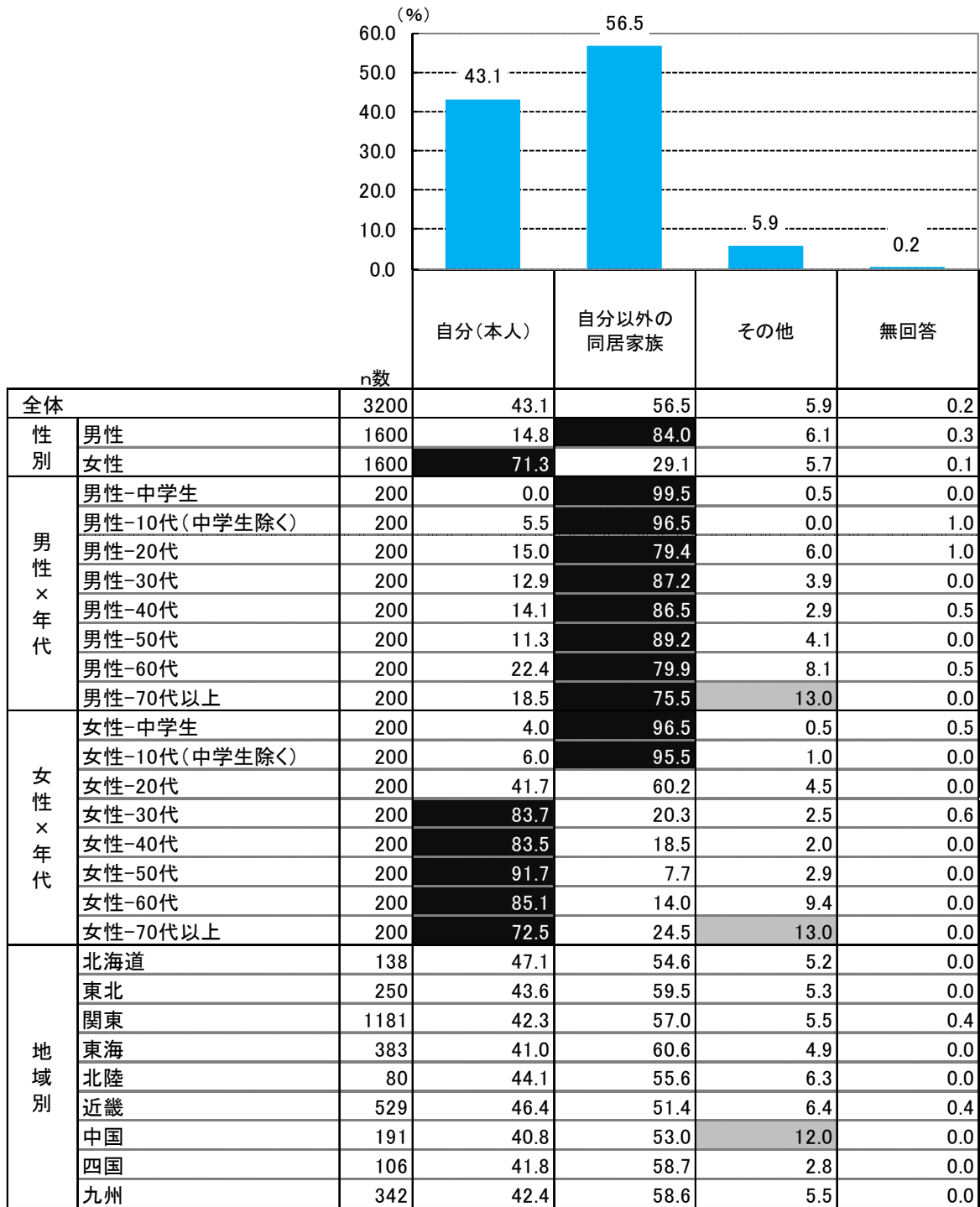
【図表Ⅲ-2-1】性・年齢別 問11 一週間の白もの牛乳類の購入量（SA）



3. 白もの牛乳類を購入する人

- 世帯の中で白もの牛乳類の購入者を複数回答で質問した。
- 全体では、「自分（本人）」が43%、「自分以外の同居している家族」が57%となっている。
- 性別では、男性は「自分以外の同居している家族」が84%、女性は「自分（本人）」が71%となる。

【図表Ⅲ-3-1】性・年代別 問12 白もの牛乳類を購入する人 (MA)

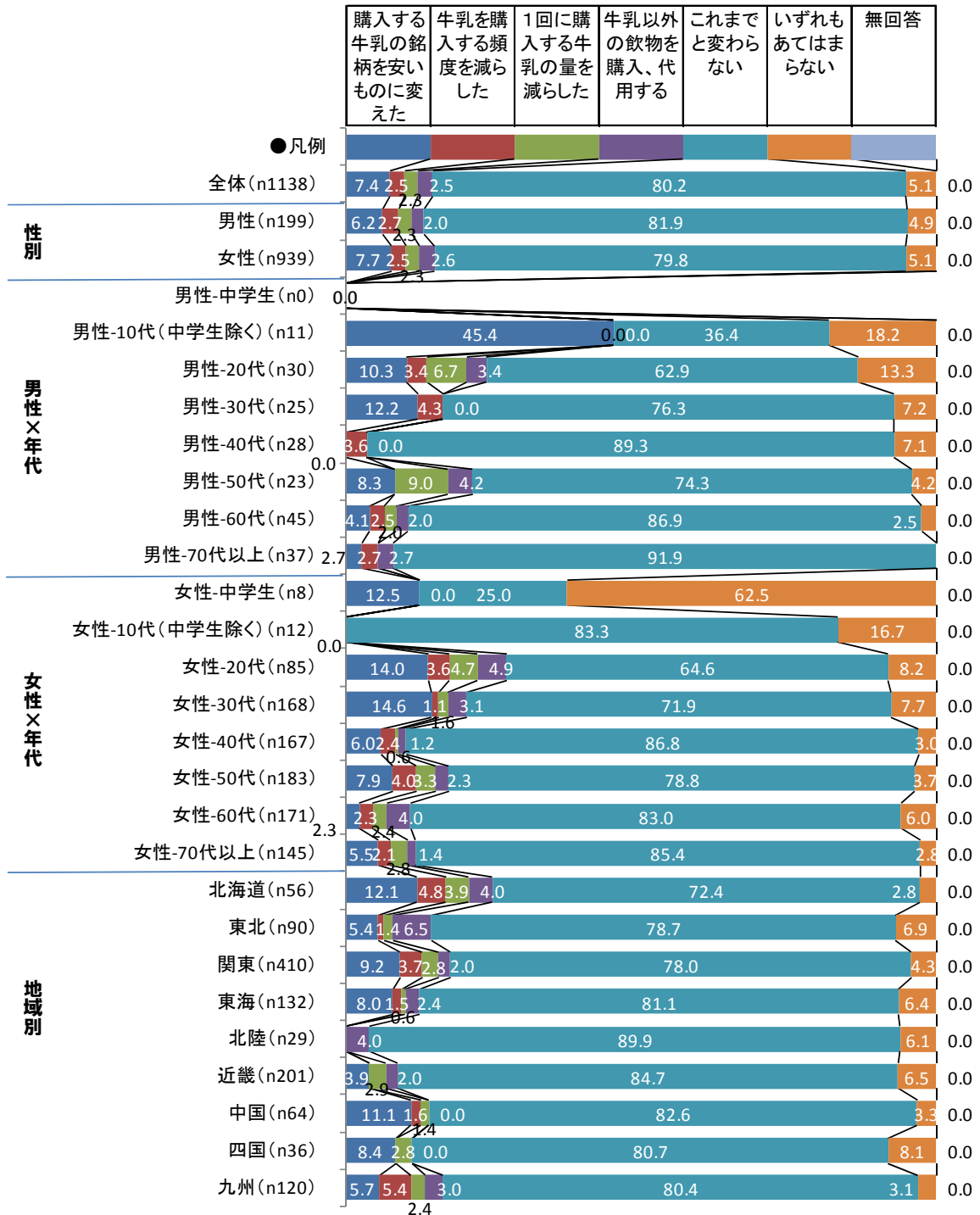


※ = 全体より、10%以上高い
 = 全体より、5%以上高い

4. 白もの牛乳類の買い方の変化

- 白もの牛乳類を自分で購入する人に、この1年間に買い方が変わったかを質問した。
- 男女ともに「これまでと変わらない」が8割前後を占めている。

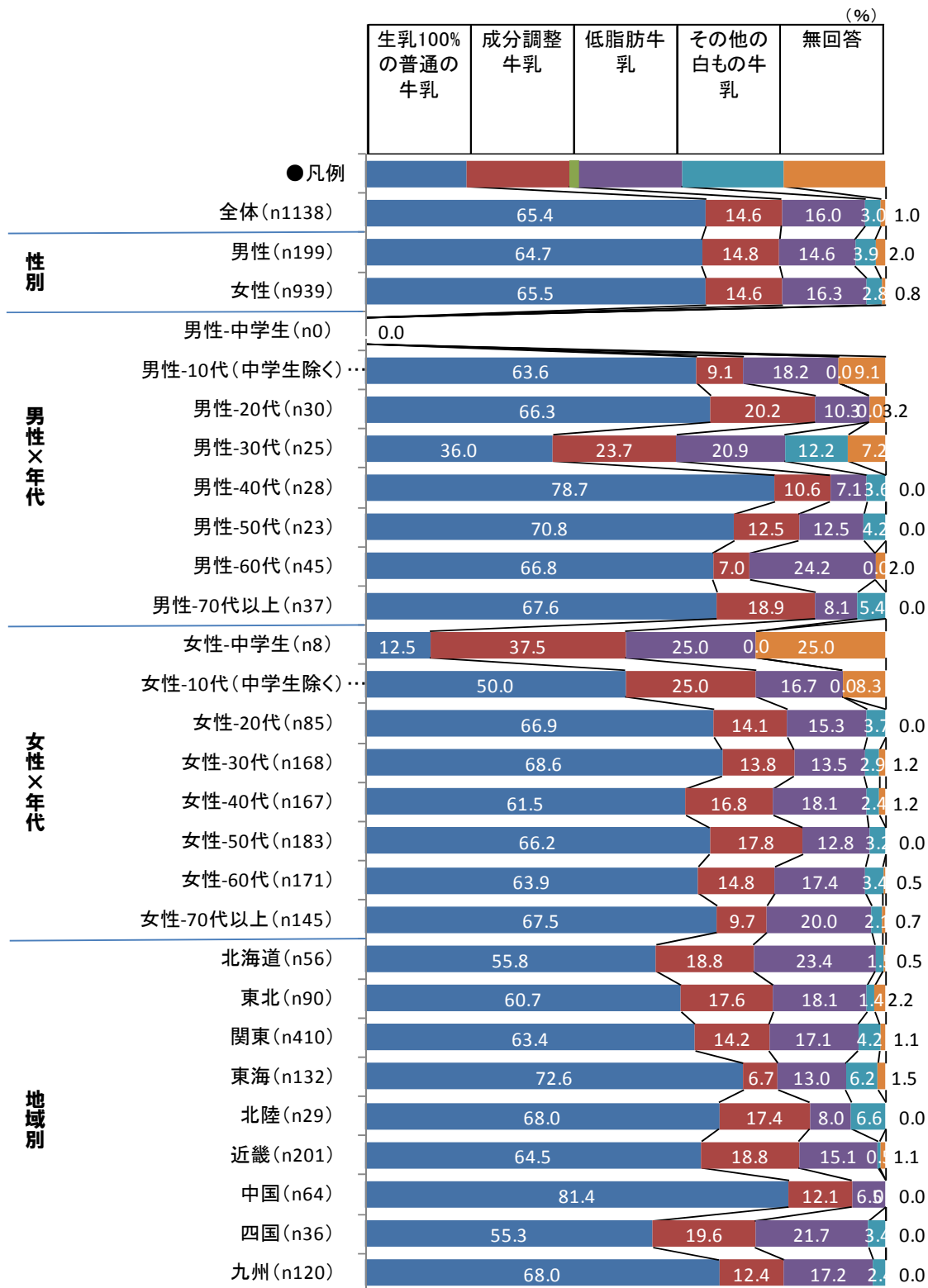
【図表Ⅲ-4-1】性・年代別 問13 白もの牛乳の「買い方」は変わったか（SA）



5. 主に購入している白もの牛乳類

■ 普段主に購入している白もの牛乳類は、全体では「生乳100%の普通牛乳」が65%で最も多く、次いで「低脂肪牛乳」が16%、「成分調整牛乳」は15%である。

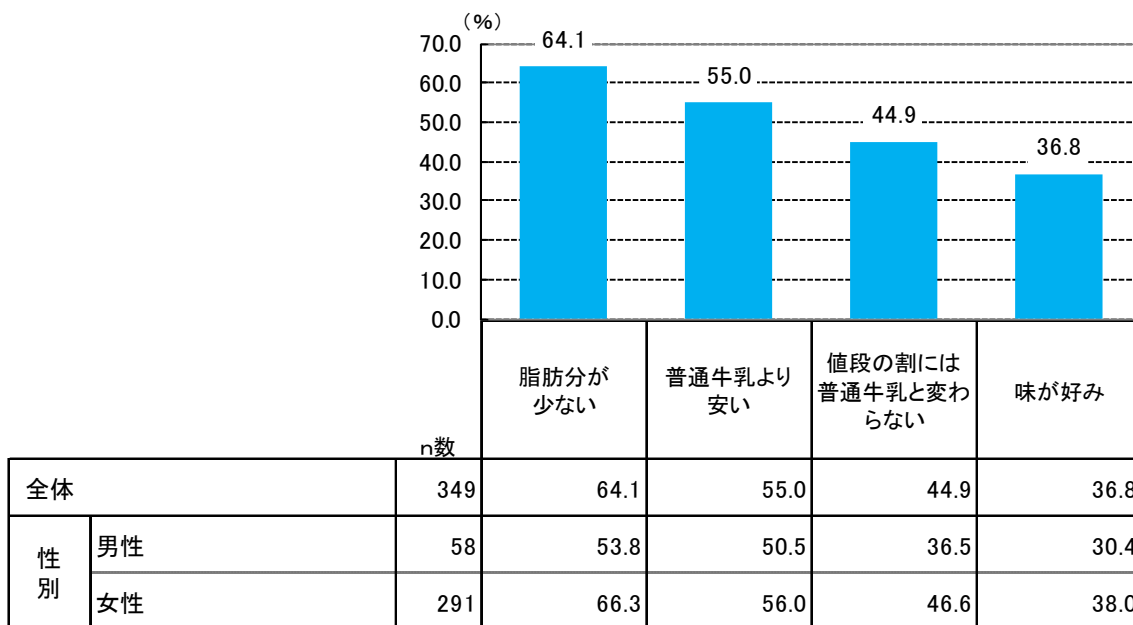
【図表Ⅲ-5-1】 性・年代別 問14 普段購入している白もの牛乳（SA）



6. 成分調整牛乳・低脂肪牛乳を購入する理由

■「成分調整牛乳」「低脂肪乳」を購入する理由は、「脂肪分が少ない」が64%と最も多く、次いで「普通牛乳より安い」が55%、「値段の割には普通牛乳と変わらない」が45%となっている。

【図表Ⅲ-6-1】性・年代別 問15 成分調整牛乳・低脂肪乳購入理由 (MA) <成分調整牛乳・低脂肪乳購入者ベース>



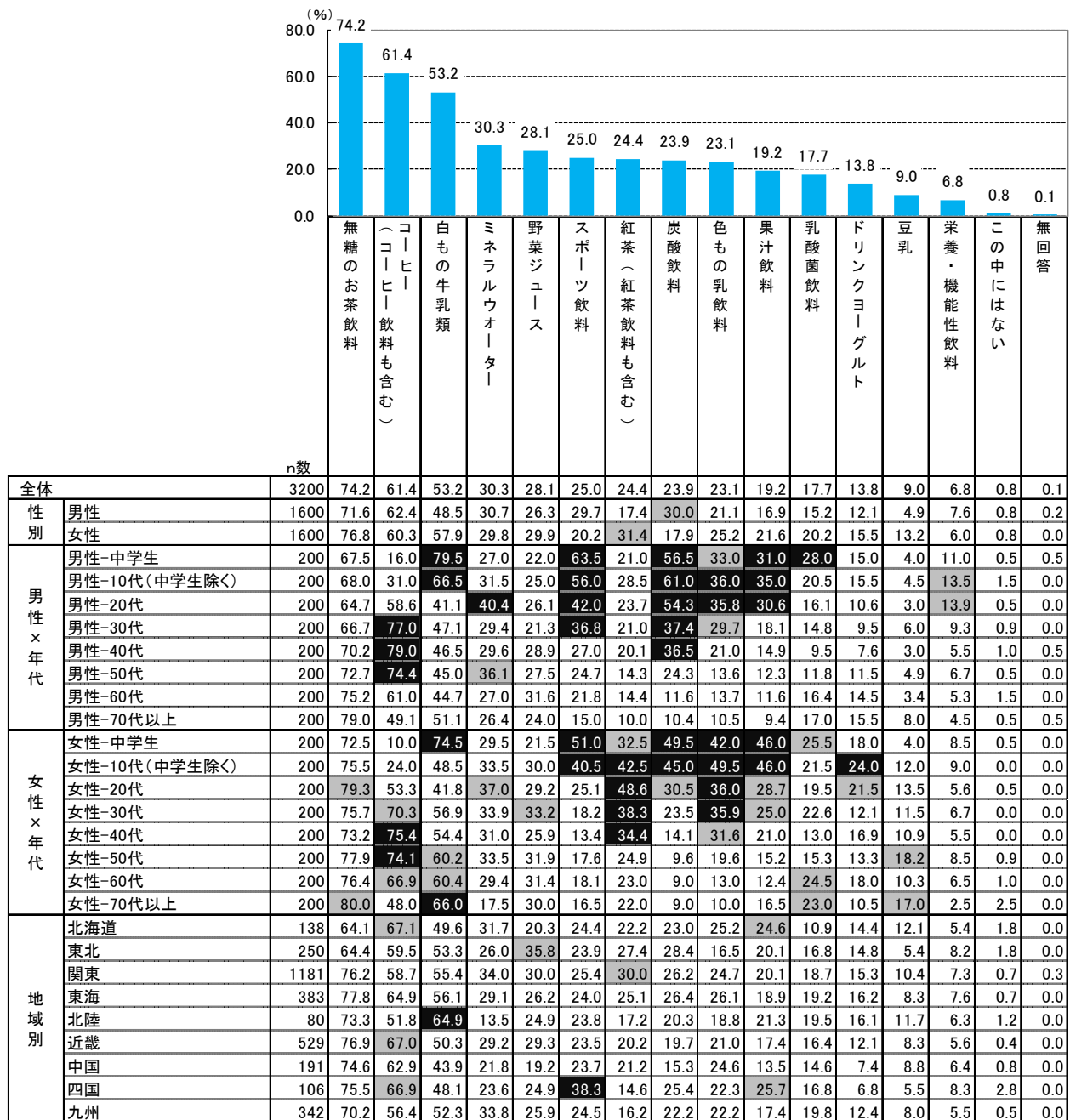
※あてはまる計

IV. 普段よく飲む飲み物

1. 普段よく飲む飲み物

- 普段よく飲用する飲み物の種類を質問した。
- 全体では「無糖のお茶飲料」が74%と、他の飲み物に比べ最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」が61%、「白もの牛乳類」が53%で上位。以下、「ミネラルウォーター（30%）」「野菜ジュース（28%）」「スポーツ飲料（25%）」が続いている。
- 性別では、「白もの牛乳類」は男性が49%、女性が58%となっている。
- 性年代別では、男子中学生・男性10代・女子中学生・女性70代以上が、全体より10%以上ポイントが高くなっている。
- 地域別では、北陸の「白もの牛乳類」が65%となっている。

【図表IV-1-1】 性・年代別 問16 普段よく飲む飲み物 (MA)

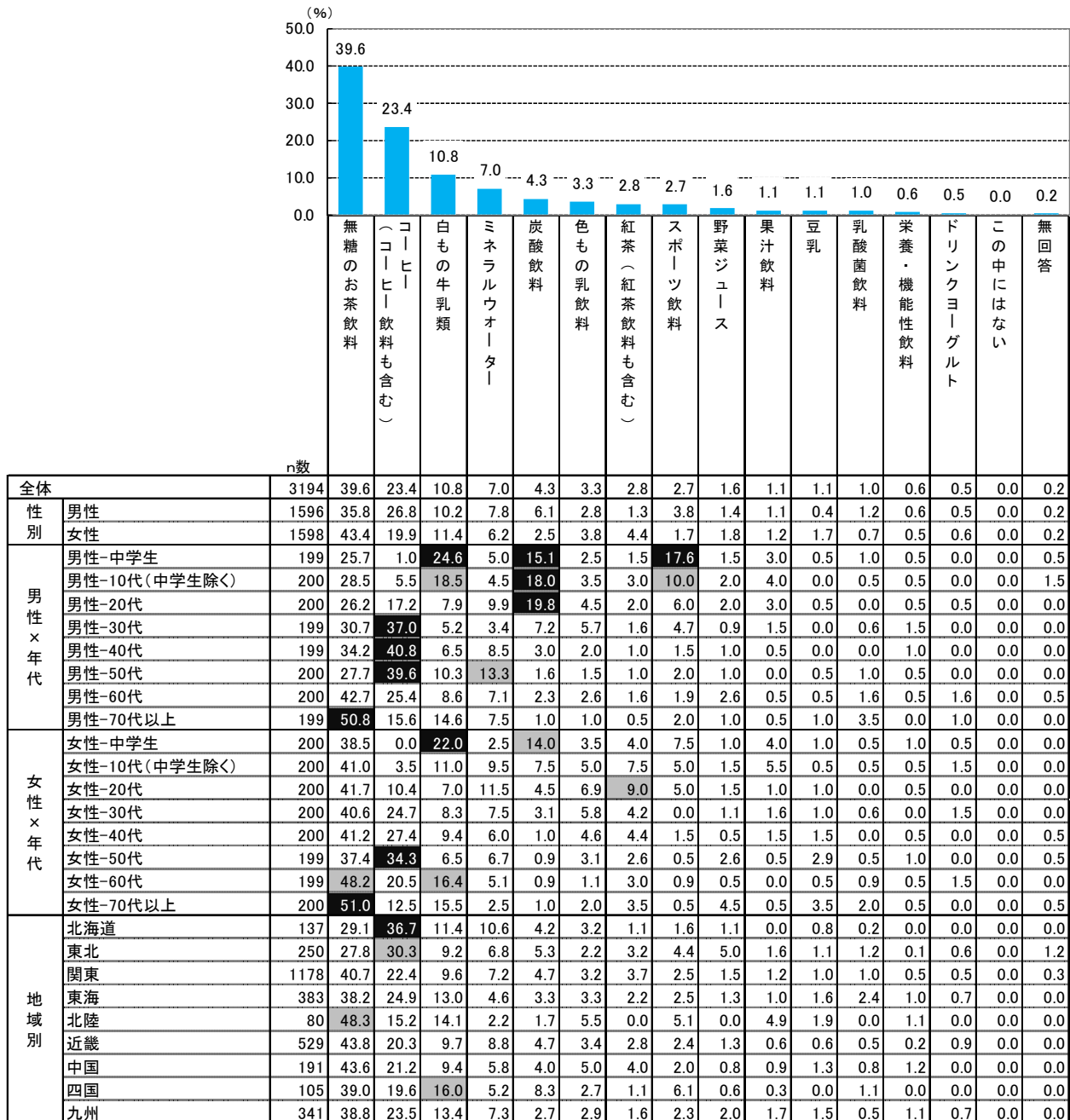


※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

2. 普段もっともよく飲む飲み物

- 普段よく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを質問した。
- 全体では「無糖のお茶飲料」が40%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）」（23%）、「白もの牛乳類」（11%）の順となっている。
- 性別では、「白もの牛乳類」は男性が10%、女性が11%となっている。
- 性年代別では、男子中学生・男性10代・女子中学生が、全体より10%以上ポイントが高くなっている。

【図表IV-2-1】性・年代別 問17 普段もっともよく飲む飲み物（SA）



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■参考に、普段よく飲む飲み物を2010年度と比べると、「白もの牛乳類」は4ポイント上昇している。また、「野菜ジュース」は5ポイント、「無糖のお茶飲料」は4ポイント、「ミネラルウォーター」は3ポイント、それぞれ上昇している。

【図表IV-2-2】時系列 問16 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2011年	3,200	53.2	23.1	13.8	17.7	19.2	28.1	9.0	23.9	61.4	24.4	74.2	25.0	6.8	30.3	0.8	0.1
2010年	3,200	48.8	24.7	12.7	18.3	19.3	23.6	8.9	22.7	63.0	22.6	70.1	26.3	6.2	27.7	0.2	0.0
2009年	3,200	54.8	25.9	14.6	19.8	19.2	24.0	8.4	21.0	60.8	22.6	71.7	24.3	8.5	26.8	0.3	0.0
2008年	3,200	56.7	19.6	11.8	16.4	17.1	24.1	7.8	19.2	55.1	22.0	65.2	25.1	8.9	22.2	0.7	0.1
2007年	3,486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2006年	3,478	49.5	/	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3,896	64.0	/	22.7	/	27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1	/	29.4	0.4	0.1
2002年	4,277	67.9	/	19.5	/	28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9	/	30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし

※02年、05年は、06年・07年・08年とは質問形式が異なる

■最もよく飲む飲み物を2010年度と比べると、「白もの牛乳類」はほぼ横ばい、「コーヒー(飲料)」が3ポイントの減少、「無糖のお茶飲料」が3ポイントの上昇となった。

【図表IV-2-3】時系列 問16 普段もっともよく飲む飲み物 (SA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー(飲料)	紅茶(飲料)	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2011年	3,194	10.8	3.3	0.5	1.0	1.1	1.6	1.1	4.3	23.4	2.8	39.6	2.7	0.6	7.0	0.2
2010年	3,192	10.9	3.2	0.8	1.2	1.3	1.7	0.7	3.3	26.6	2.5	37.0	2.4	0.3	6.4	1.4
2009年	3,193	11.7	2.9	0.8	1.3	1.3	2.0	0.6	3.0	24.5	2.5	39.9	2.5	0.6	5.9	0.7
2008年	3,178	16.0	3.0	0.9	1.5	1.8	2.4	0.9	2.6	24.2	2.1	35.7	2.8	0.6	5.2	0.3
2007年	3,475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2006年	3,478	11.8	/	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3,877	15.4	/	0.6	/	0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3	/	4.8	0.1
2002年	4,259	15.2	/	0.5	/	1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8	/	2.5	0.5

※斜線はデータなし

※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース

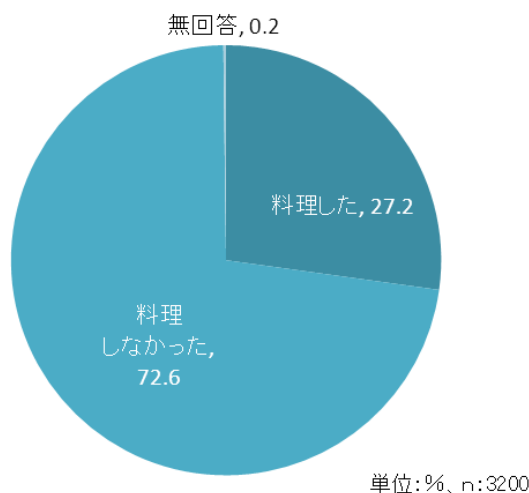
※02年、05年は、06年以降とは質問形式が異なる

V. 白もの牛乳類を使った料理の実態

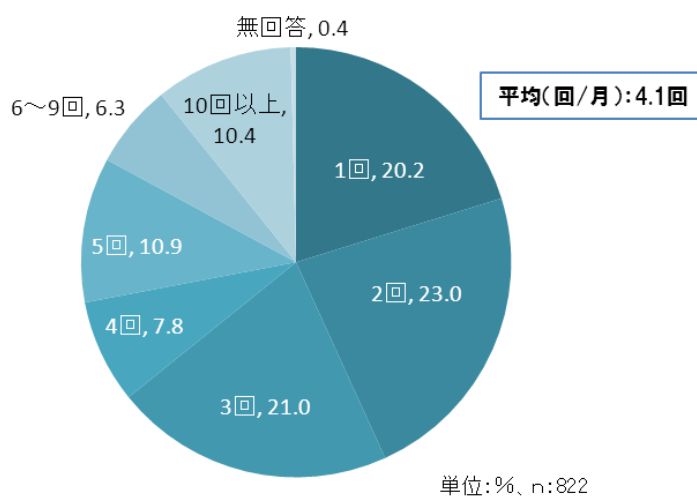
1. この1ヶ月の白もの牛乳類を使った料理行動

- 白もの牛乳類を使って、この1ヵ月間にデザートやお菓子を含めて料理を作ったかを質問した。次に、料理を作ったと回答した人には、その料理回数と料理に使用した白もの牛乳類の量を質問した。
- 全体では、白もの牛乳類を使って料理をしたのは27%である。
- 料理回数は「2回(23%)」とする人が最も多く、「3回(21%)」、「1回(20%)」と続く。平均料理回数は4.1回である。
- 白もの牛乳類の料理使用量は、1ヶ月間で「1カップ(200cc)」とする人が27%で最も多く、次いで「1リットル以上」が20%である。平均使用量は424.2mlである。

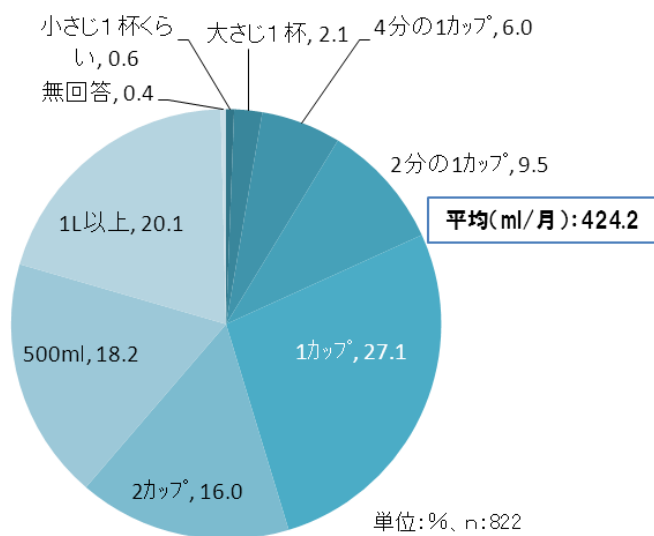
【図表V-1-1】 問18 白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



【図表V-1-2 問】 18-1 白もの牛乳類の料理回数 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

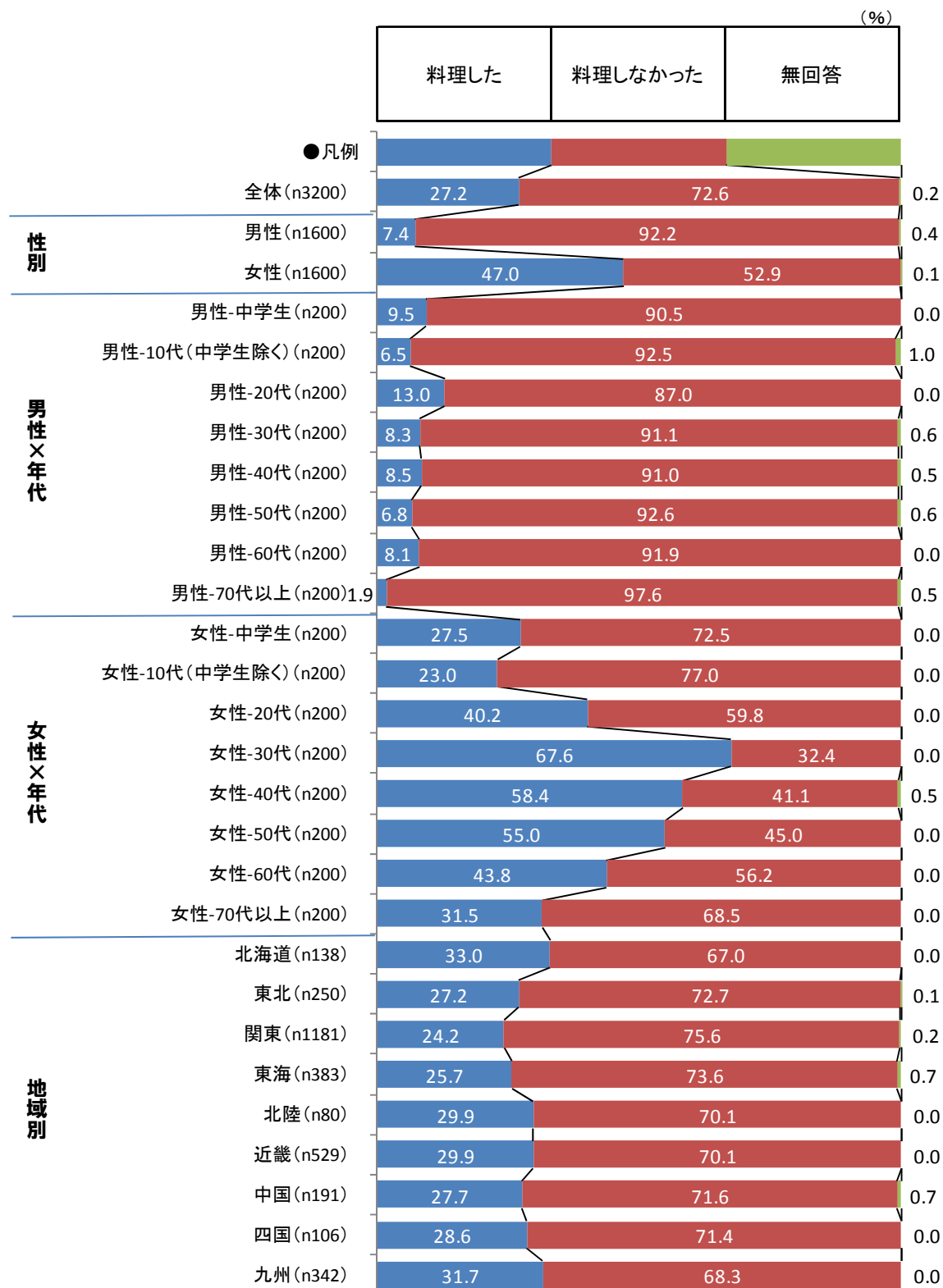


【図表V-1-3】 問 18-3 白もの牛乳類の料理使用量 (SA) <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



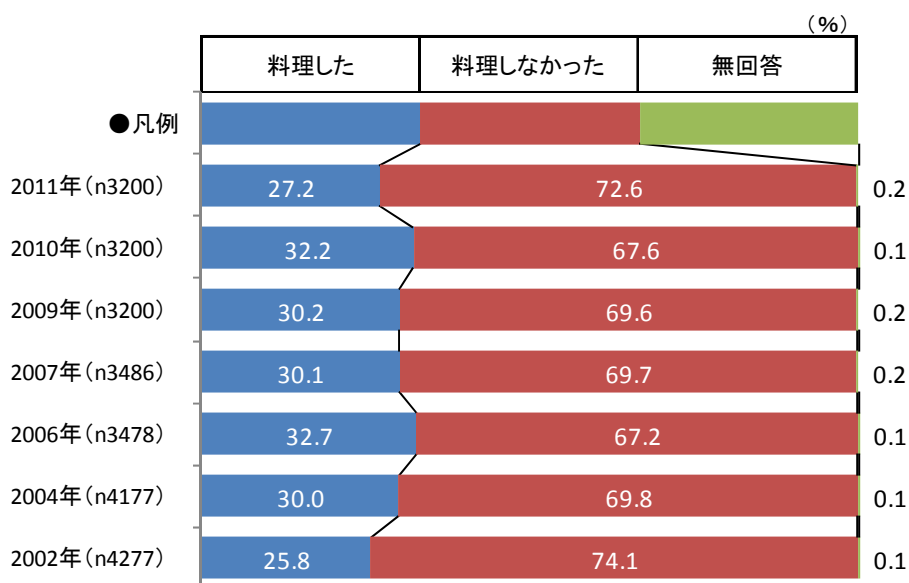
- 調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使った料理をした割合を性別にみると、男性が7%、女性が47%となった。
- 性年代別では、男性の中では20代が13%と最も高い。女性では30~50代で5割以上となり、30代が68%と最も高い。
- 地域別では、北海道が33%、九州が32%と目立っている。

【図表V-1-4】性・年代別 問18 白もの牛乳類を使った料理行動 (SA)



■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使った料理をした割合を時系列で見ると、2011年度は2010年度より5ポイント減少している。

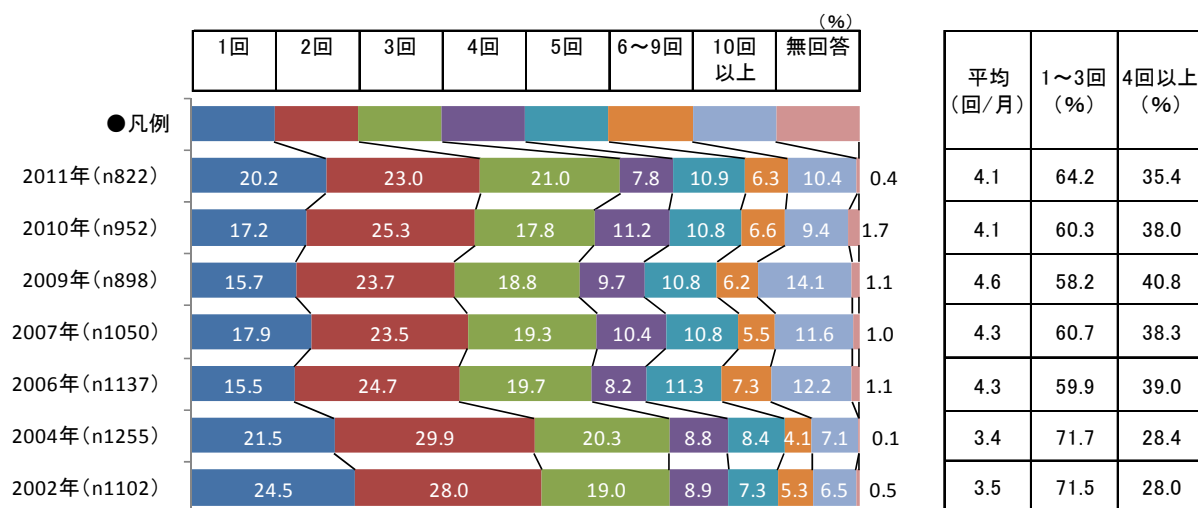
【図表V-1-5】時系列 問18 この1ヶ月間の白もの牛乳類を使った料理行動（SA）



■調査時点を含む1ヶ月間に牛乳を使った料理をした回数を時系列で見ると、2011年度は月平均4.1回となり、2010年度と同程度だが、2006年度からの5年間で見ると、▲0.2回減少している。

■また、回数の内訳を2006年度からの5年間で見ると、「1~3回」が増加し、2011年度は64%となった。料理の回数は減少傾向を示している。

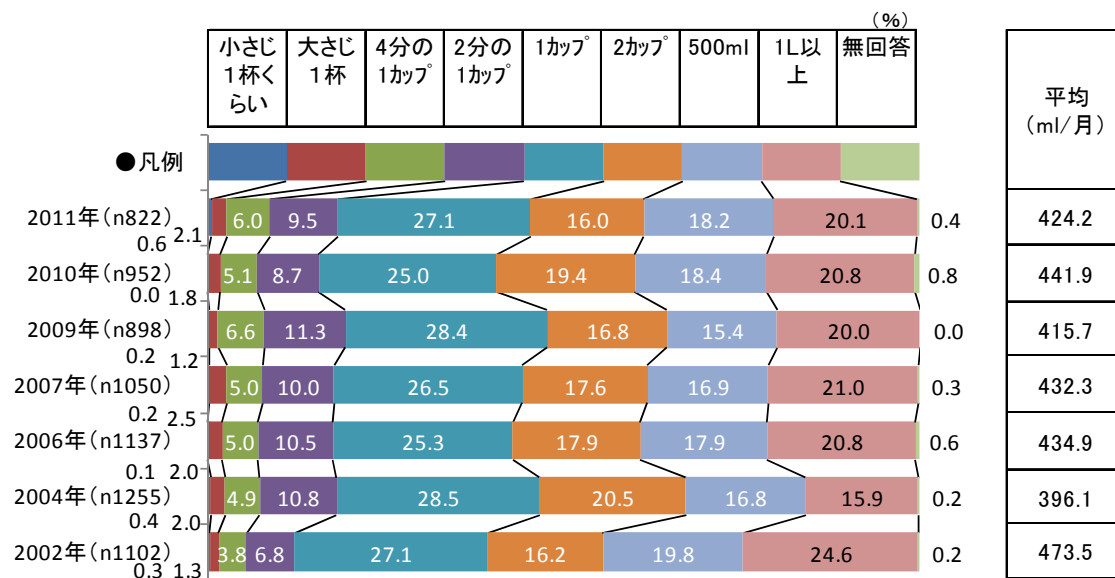
【図表V-1-6】時系列 問18-1 白もの牛乳類の料理回数（SA） <この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



■白もの牛乳類の料理使用量を時系列で見ると、調査年次によって増減があるものの、2002年度と比較すると、平均使用量（ml/月）は減少している。

【図表V-1-7】時系列 問18-3 白もの牛乳類の料理使用量（SA）

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>

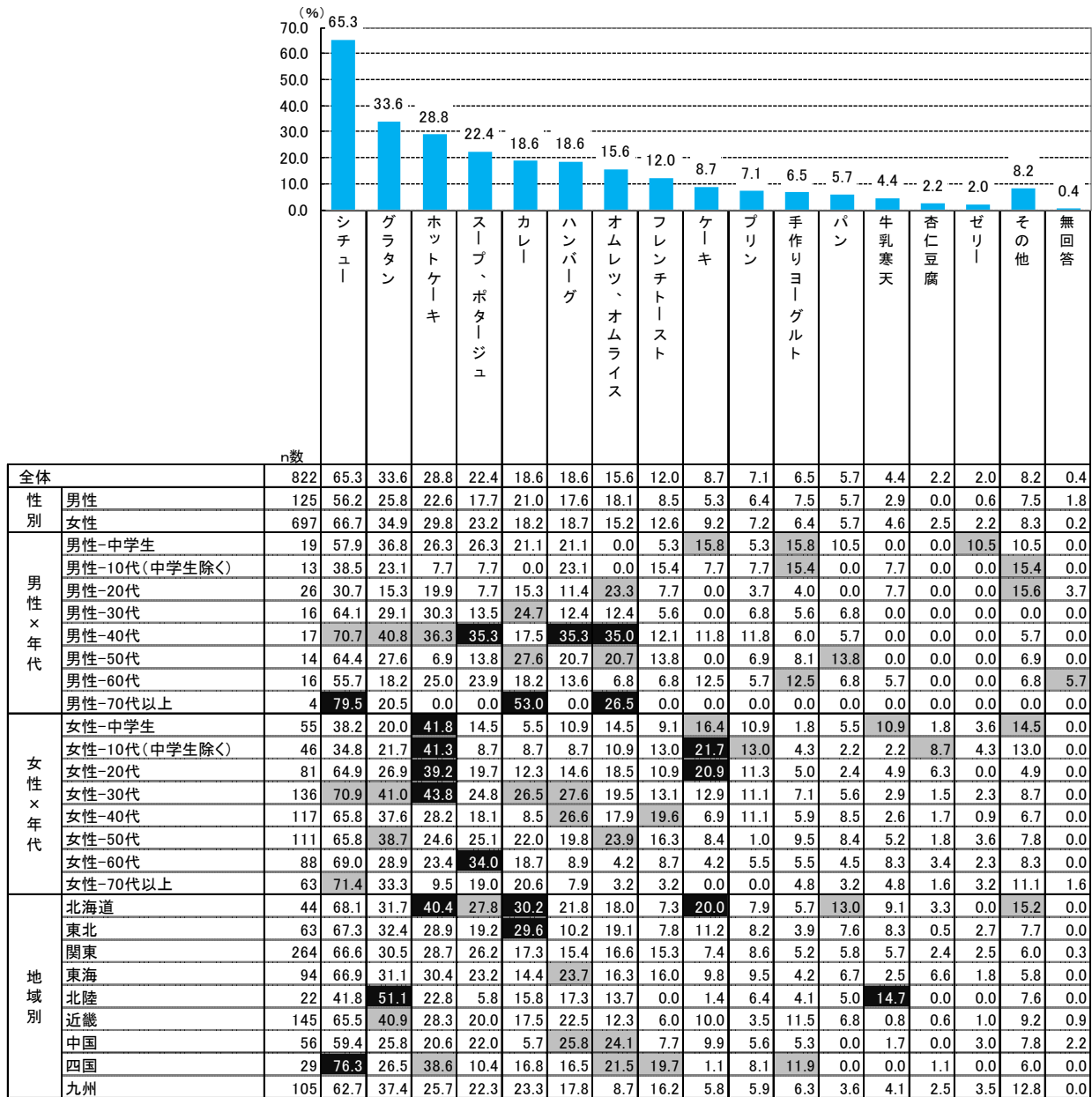


2. この1ヶ月の白もの牛乳類を使って作った料理

- 調査時点の1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人に、その種類を質問した。
- 全体では「シチュー」が65%、「グラタン」が34%、「ホットケーキ」が29%となっている。

【図表V-2-1】 性・年齢別 問18-2 この1ヶ月の牛乳を使った料理 (MA)

<この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした人ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

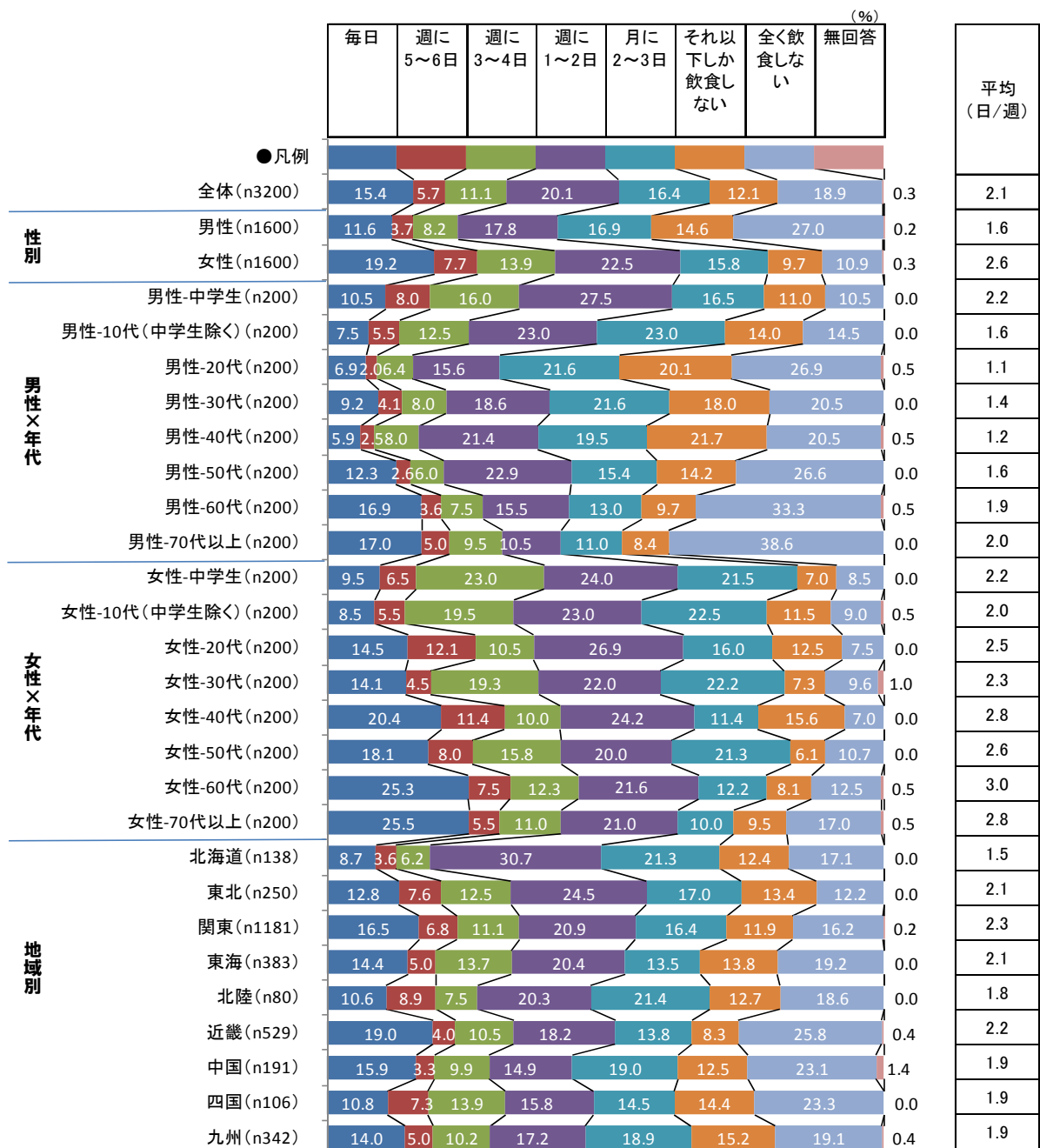
VI. 乳製品の飲食実態

1. ヨーグルトの飲食状況

(1) ヨーグルトの飲食頻度

- 日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを質問した。
- 全体では、「毎日」食べる人は15%であり、週に1日以上食べる人は合計で52%となっている。平均の飲食頻度は2.1日(日/週)。一方「全く食べない」という人は19%である。
- 性別では、週に1日以上食べる人の計で男性は41%、女性は63%となり、女性の方が飲食頻度は高い。
- 性年代別に見ると、男女ともに年代の上昇とともに飲食頻度も高くなるのがわかる。
- 地域別では、関東の飲食頻度が比較的高く、飲食頻度は平均2.3日(日/週)となっている。また、近畿も「毎日食べる」人は19%おり、飲食頻度は高い。

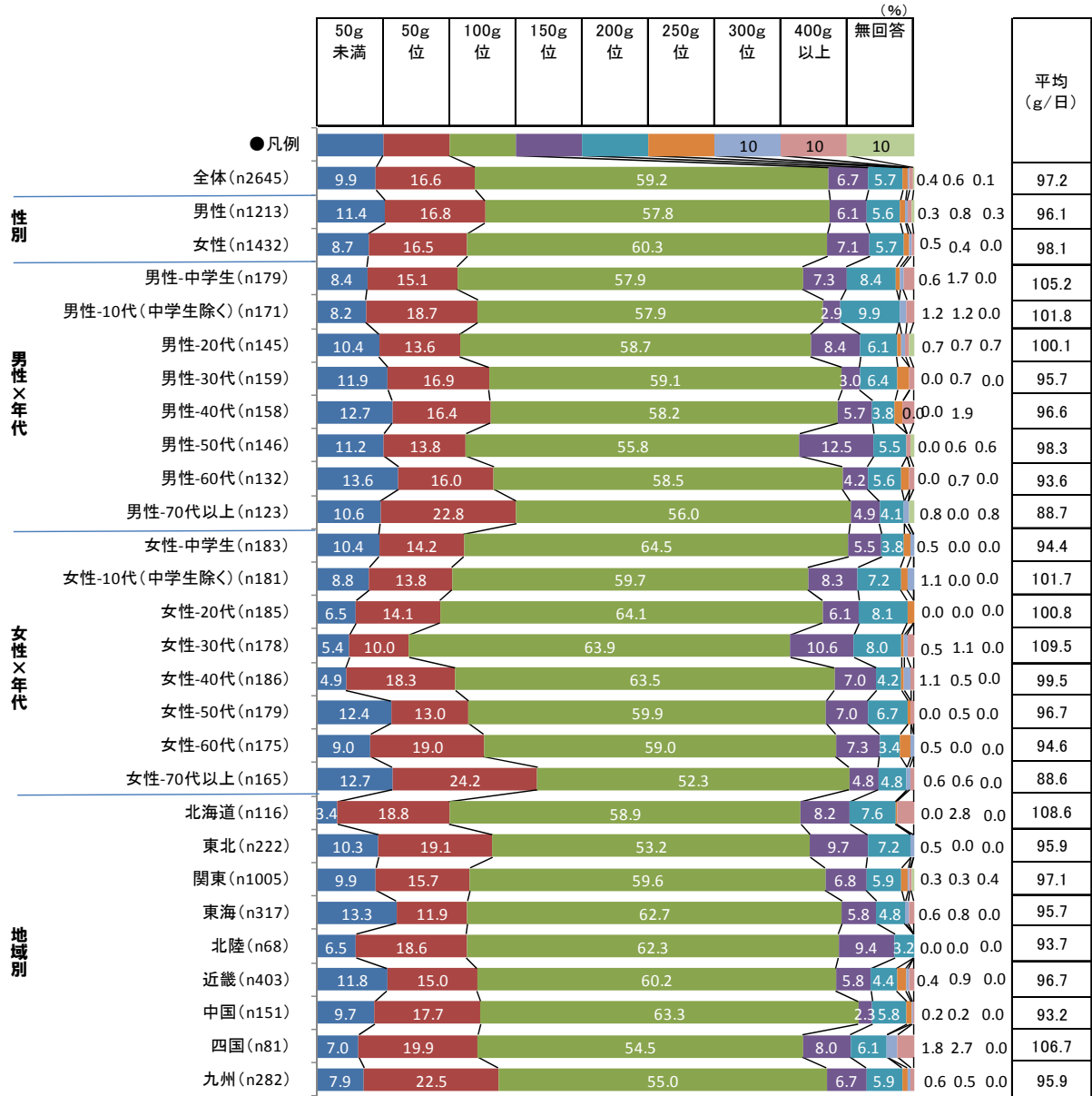
【図表VI-1-1】性・年代別 問19 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度 (SA)



(2) ヨーグルトの飲食用量

- ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食用量を質問した。
- 全体では「100g位」と答えた人が59%を占め、平均では一日に97gとなっている。
- 性別では、一日の平均は男性が96g、女性が98gであり、女性の方が飲食用量はやや多い。
- 性年代別には、男女ともに若年層の方が飲食用量は多い。

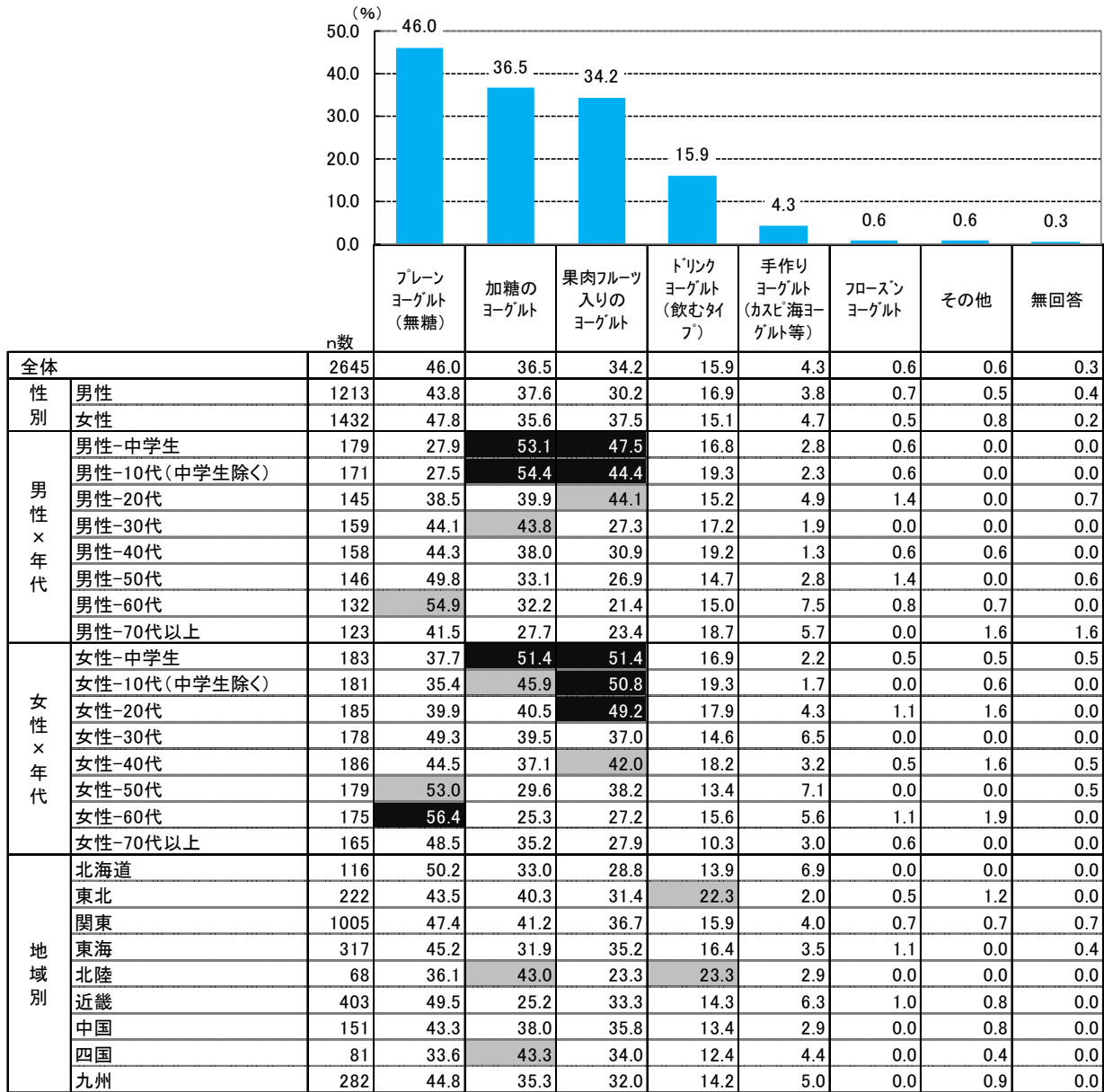
【図表VI-1-2】性・年代別 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA） <飲食用者ベース>



(3) ヨーグルトのタイプ

- ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを質問した。
- 上位は、「プレーンヨーグルト」が46%、「加糖のヨーグルト」が37%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が34%となっている。
- 性別で見ると、女性の「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が38%であり、男性よりも7ポイント上回っている。
- 性年代別では、若年層は「加糖のヨーグルト」や「果肉フルーツ入りのヨーグルト」を食べる傾向が強い。

【図表VI-1-3】性・年代別 問21 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



※ = 全体より、10%以上高い
 = 全体より、5%以上高い

■日頃ヨーグルトを飲食する頻度を時系列で見ると、「週に1日以上たべる」割合が減少傾向にある（ヨーグルトを食べる機会が減ってきているようである）。

【図表VI-1-4】時系列 問19 日頃ヨーグルトを飲食する頻度（SA）

(%)

	n	毎日食べる/飲む	週に5~6日食べる/飲む	週に3~4日食べる/飲む	週に1~2日食べる/飲む	月に2~3日食べる/飲む	それ以下しか食べない/飲まない	全く食べない/飲まない	無回答	週に1日以上食べる・計
2011年	3,200	15.4	5.7	11.1	20.1	16.4	12.1	18.9	0.3	52.3
2010年	3,200	15.2	5.2	13.2	17.6	18.2	12.7	17.9	0.0	51.2
2009年	3,200	15.0	6.3	12.2	18.9	17.8	12.1	17.7	0.1	52.4
2008年	3,200	14.6	5.0	13.9	20.3	17.6	11.8	16.8	0.1	53.8
2007年	3,486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1	54.7
2006年	3,478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1	54.1
2005年	3,896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1	58.6

■1日のヨーグルトの飲食量を時系列で見ると、「50g以下」が増加し、「200g以上」が減少している。

【図表VI-1-5】時系列 問20 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量（SA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞

(%)

	n	50g未満	50g位	100g位	150g位	200g位	250g位	300g位	400g以上	無回答	50g以下・計	100g位	200g以上・計
2011年	2,586	9.9	16.6	59.2	6.7	5.7	0.8	0.4	0.6	0.1	26.5	75.8	7.5
2010年	2,663	11.6	12.9	55.8	8.0	8.8	1.0	0.5	1.0	0.4	24.5	68.7	11.3
2009年	2,677	8.7	12.5	59.6	9.0	7.7	0.9	0.7	0.8	0.0	21.2	72.1	10.1
2008年	2,695	10.8	12.7	59.1	7.4	7.7	1.0	0.8	0.5	0.0	23.5	71.8	10.0
2007年	2,910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2	19.5	71.1	12.0
2006年	2,858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2	17.0	69.8	13.1
2005年	3,324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2	17.7	71.3	12.3

■飲食するヨーグルトのタイプを時系列で見ると、「プレーンヨーグルト」は増加傾向、「加糖のヨーグルト」「果肉フルーツ入りのヨーグルト」は減少傾向にある。

【図表VI-1-6】時系列 問21 飲食するヨーグルトのタイプ（MA）＜ヨーグルト飲食者ベース＞

(%)

	n	プレーンヨーグルト(無糖)	加糖のヨーグルト	果肉フルーツ入りのヨーグルト	ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等)	フローズンヨーグルト	その他	無回答
2011年	2,586	46.0	36.5	34.2	15.9	4.3	0.6	0.6	0.3
2010年	2,663	44.8	39.3	38.1	19.3	4.5	0.4	1.1	0.3
2009年	2,677	43.8	40.3	41.0	22.0	4.6	1.0	1.2	0.1
2008年	2,695	42.6	40.1	39.3	20.8	6.5	1.4	1.6	0.0
2007年	2,910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2006年	2,858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3,324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2
2003年	3,492	44.7	45.4	45.2	26.8	17.5		1.1	0.2
1997年	3,686	46.4	44.7	39.4	41.0			1.4	0.6

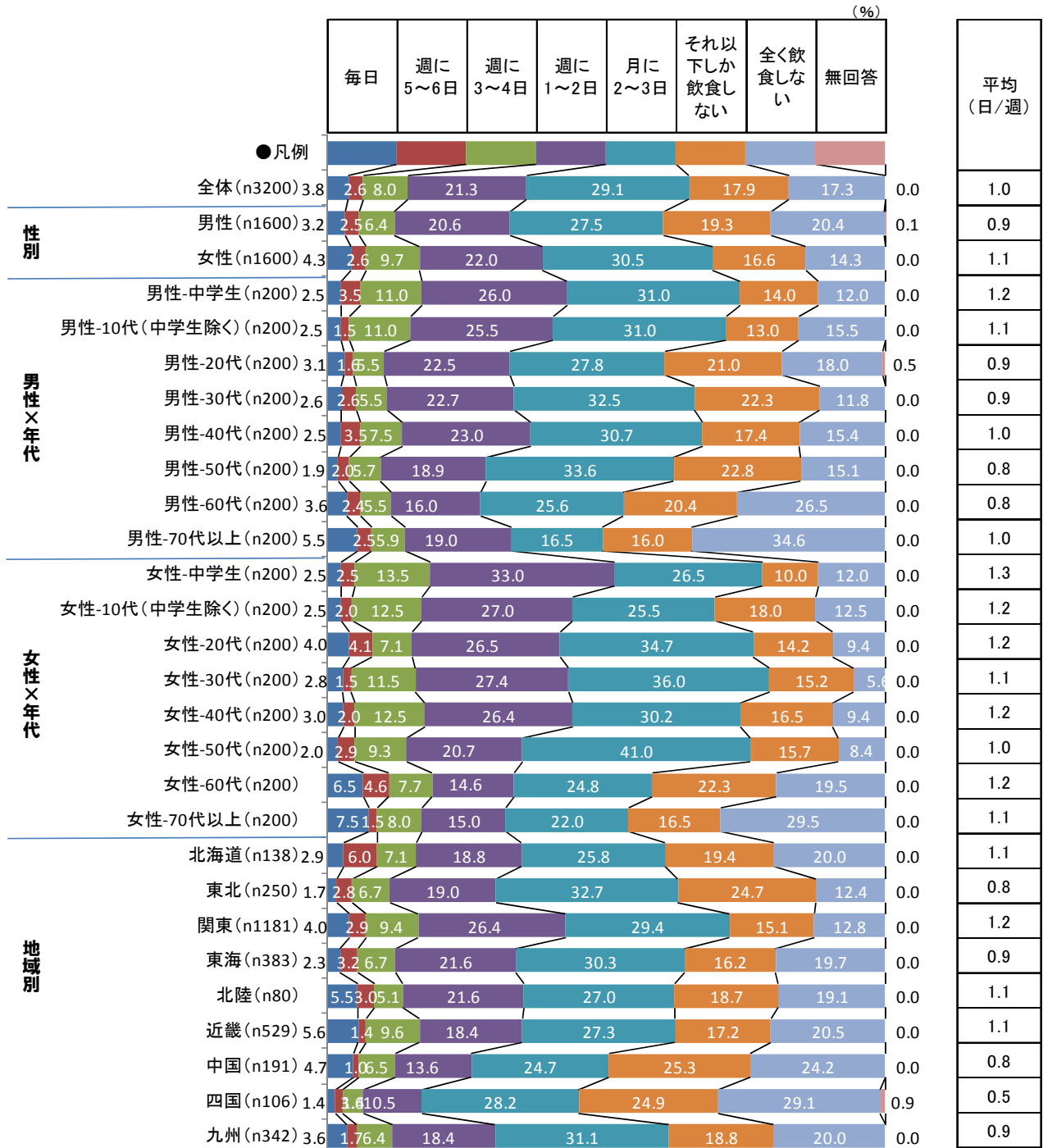
※斜線はデータなし

2. チーズの食用状況

(1) チーズを食べる頻度

- 日頃どの位の頻度でチーズを食べているかを質問した。
- 「毎日」食べる人は4%であり、週に1日以上食べる人は合わせて36%である。一方、「全く食べない」という人は17%となった。
- 性別では、週に1日以上食べる人は男性が33%、女性が39%となり、女性の方が高頻度でチーズを食べている。
- 性年代別では、男女ともに若年層の方が高頻度でチーズを食べている。
- 地域別では、北海道～近畿までの地域でチーズの飲食頻度は高くなっている。

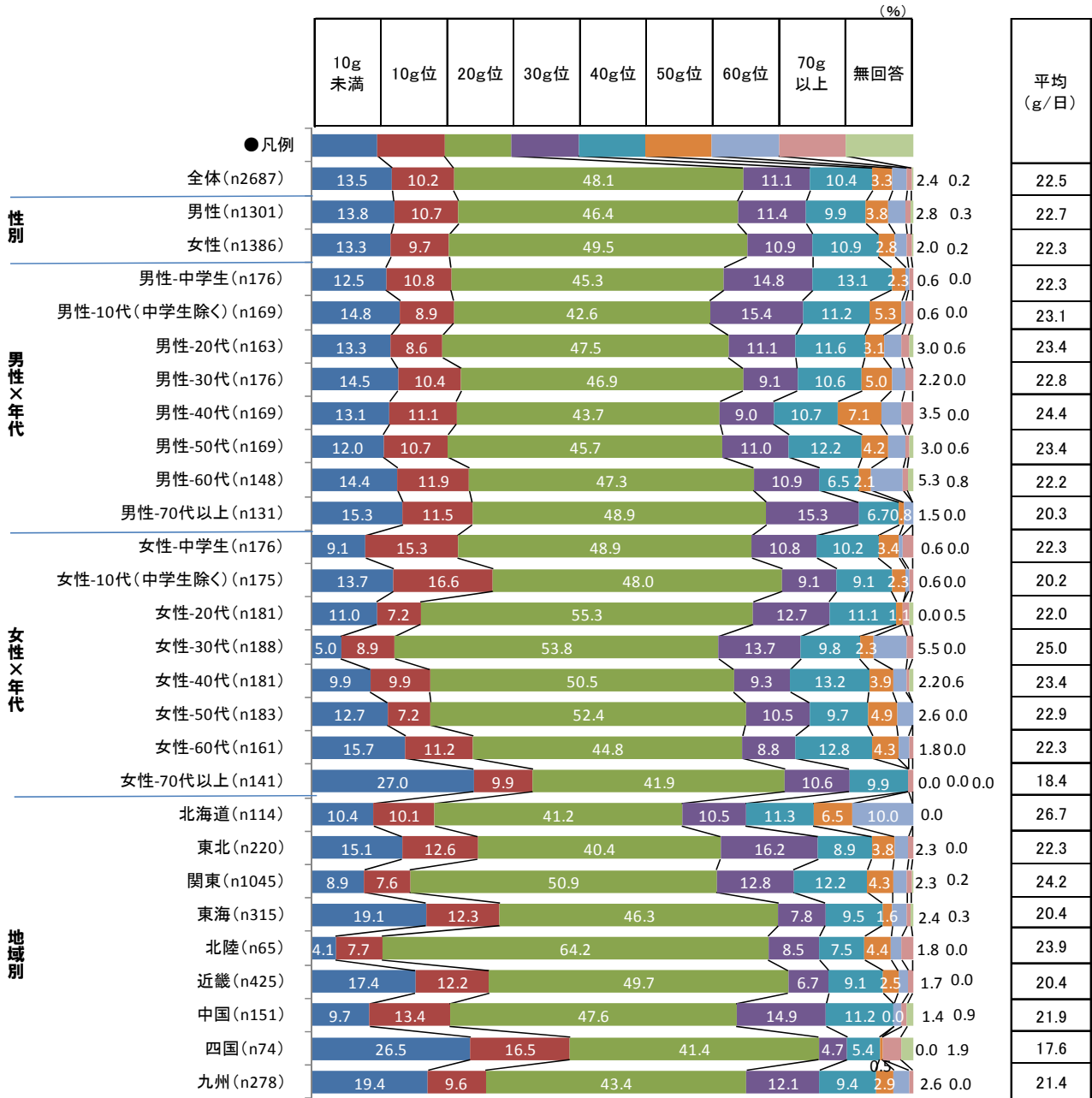
【図表VI-2-1】性・年代別 問22 日頃、チーズを食べる頻度（SA）



(2) チーズを食べる量

- チーズを食べるときの一日の量を質問した。
- 全体では「20g位」と答えた人が48%を占め、平均では一日に合計22.5gとなっている。
- 性別では、男女で大きな差異は見られず、平均では男性が22.7g、女性が22.3gとなった。
- 性年代別では、男性40代の平均が24.4gと最も多い。
- 地域別では、北海道の平均が26.7gと最も多い。

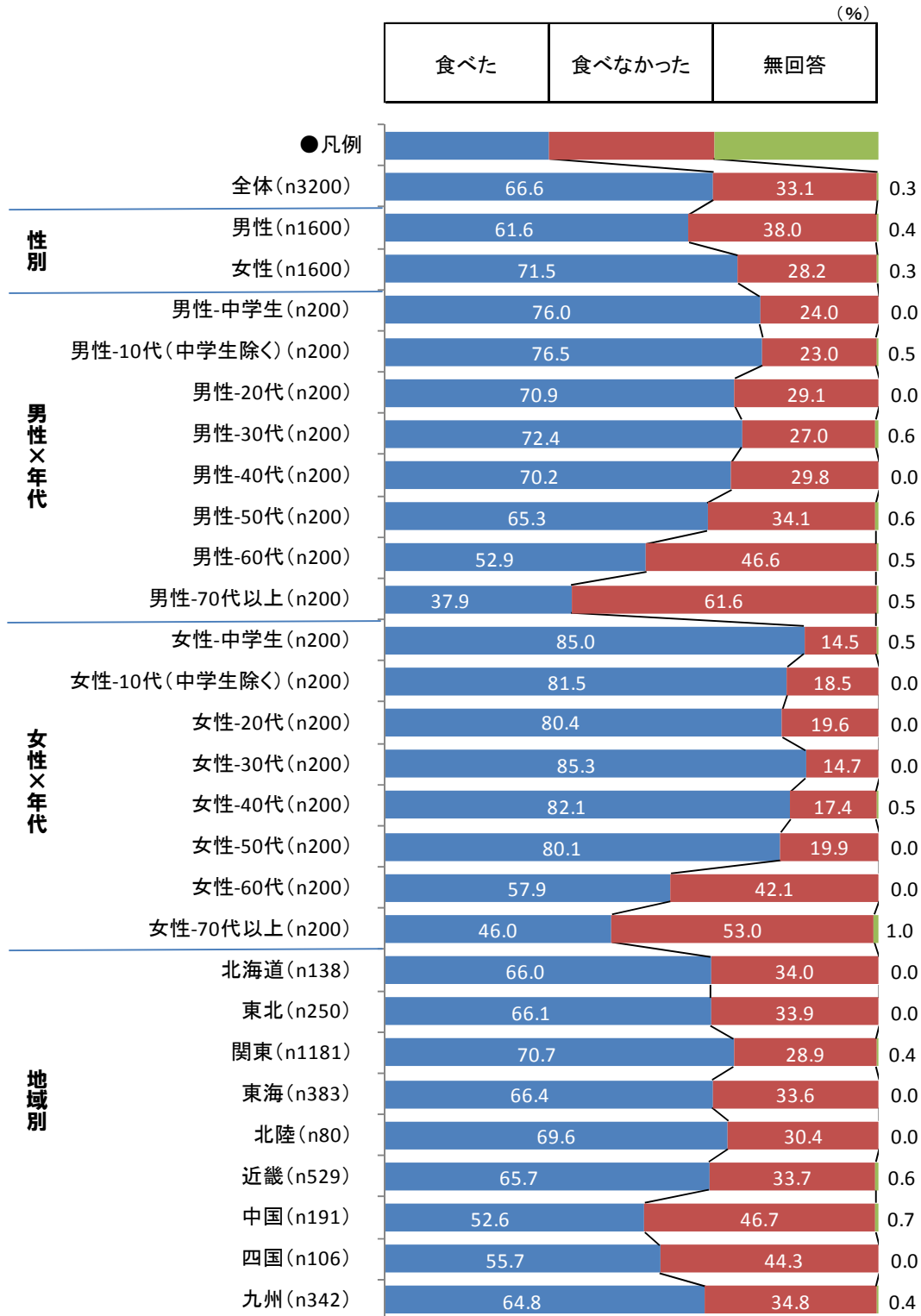
【図表VI-2-2】性・年代別 問23 1日に食べるチーズの合計量 (SA)



(3) チーズ料理

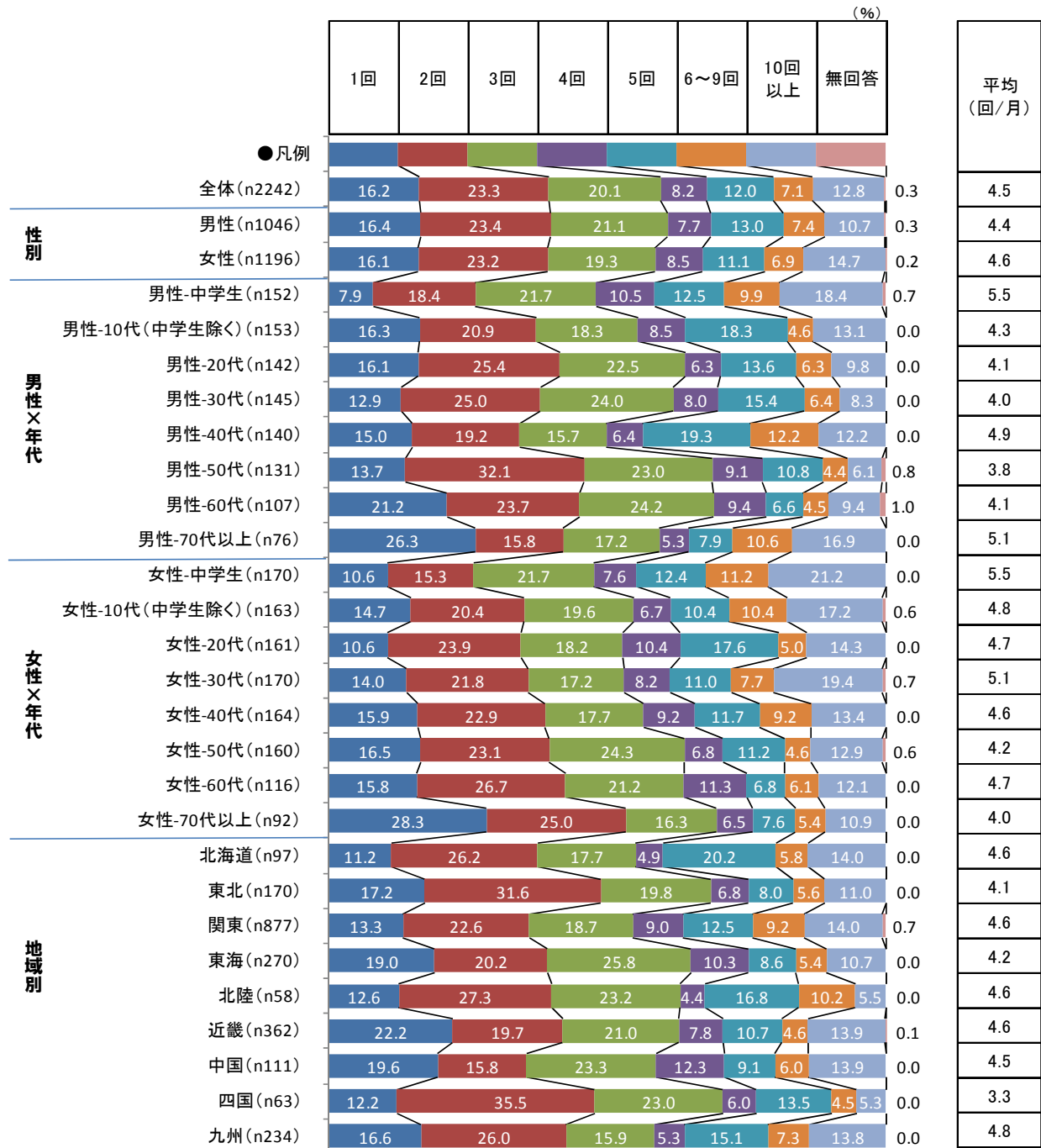
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズを使った料理を食べた人は67%である。
- 性別で見ると、チーズ料理を食べた人は男性が62%、女性が72%となり、女性の方が割合は高い。
- 性年代別では、男女ともに年齢が若い人程、チーズ料理を食べる割合は高い
- 地域別では、関東のチーズ料理を食べる割合が高く、71%となっている。

【図表VI-2-3】性・年代別 問24 この1ヶ月間にチーズ料理を食べたか（SA）



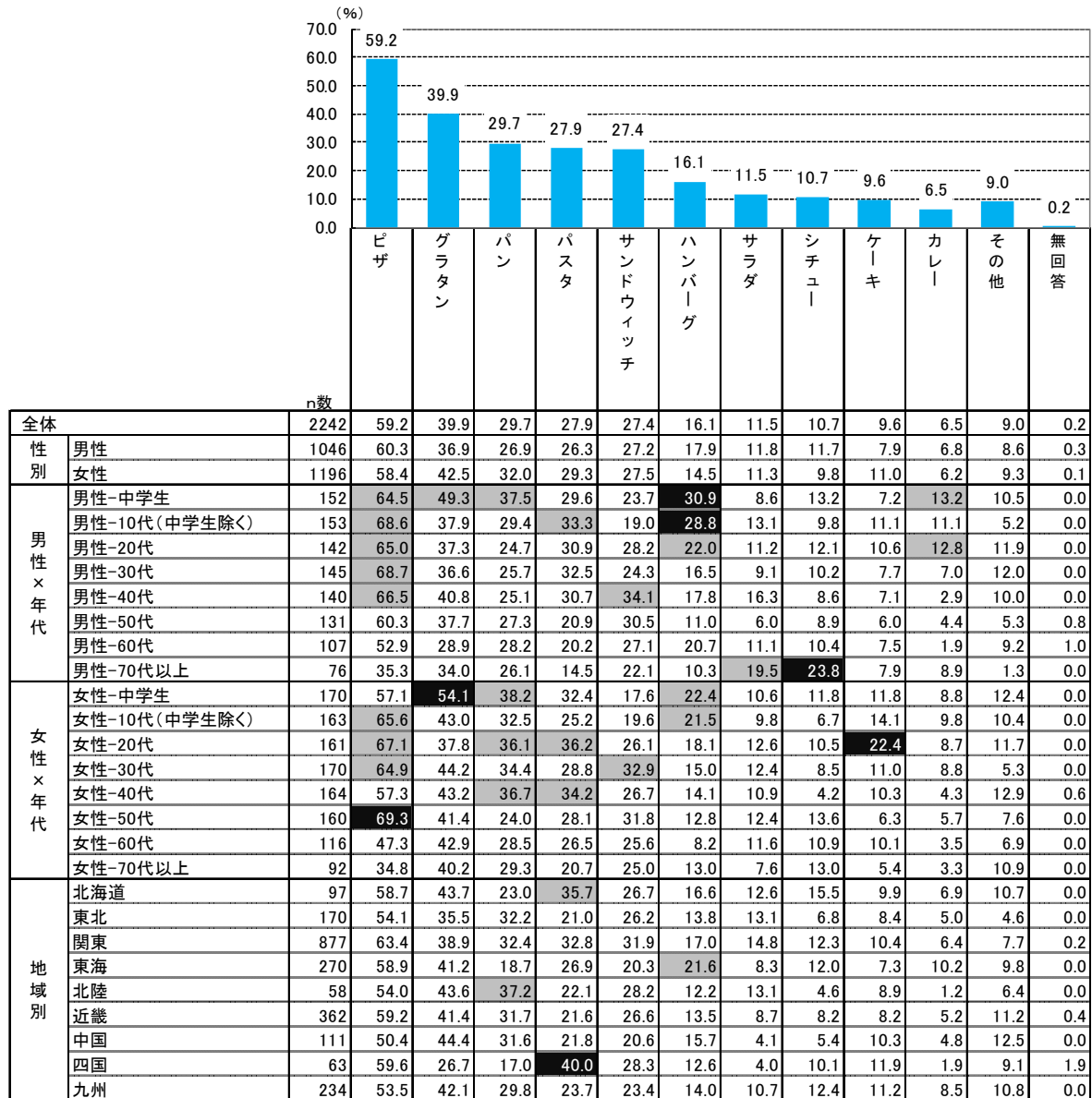
- 調査時点を含む1ヶ月間にチーズ料理を食べた人の回数は、「2回」が23%で最も高く、次いで「3回」が20%、「1回」が16%と続いている。平均では4.5回である。
- 性別で見ると、平均で男性が4.4回、女性が4.6回となり、女性の方が食べる回数はやや多い。
- 性年代別では、若い人の方がチーズ料理を食べる回数が多いようである。

【図表VI-2-4】性・年代別 問24-1 この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数（SA）



- 1ヶ月間にどんなチーズ料理を食べたかを見ると、「ピザ」が59%で最も多く、次いで「グラタン(40%)」、「パン(30%)」と続いている。
- 性別では、女性の「グラタン」が43%、「パン」が32%で、それぞれ5ポイント以上男性を上回っている。
- 性年代別では、男性が50代以下、女性は10~30代で「ピザ」を食べる割合が60%以上を占めている。

【図表VI-2-5】性・年代別 問24-2 飲食するチーズ料理 (MA)



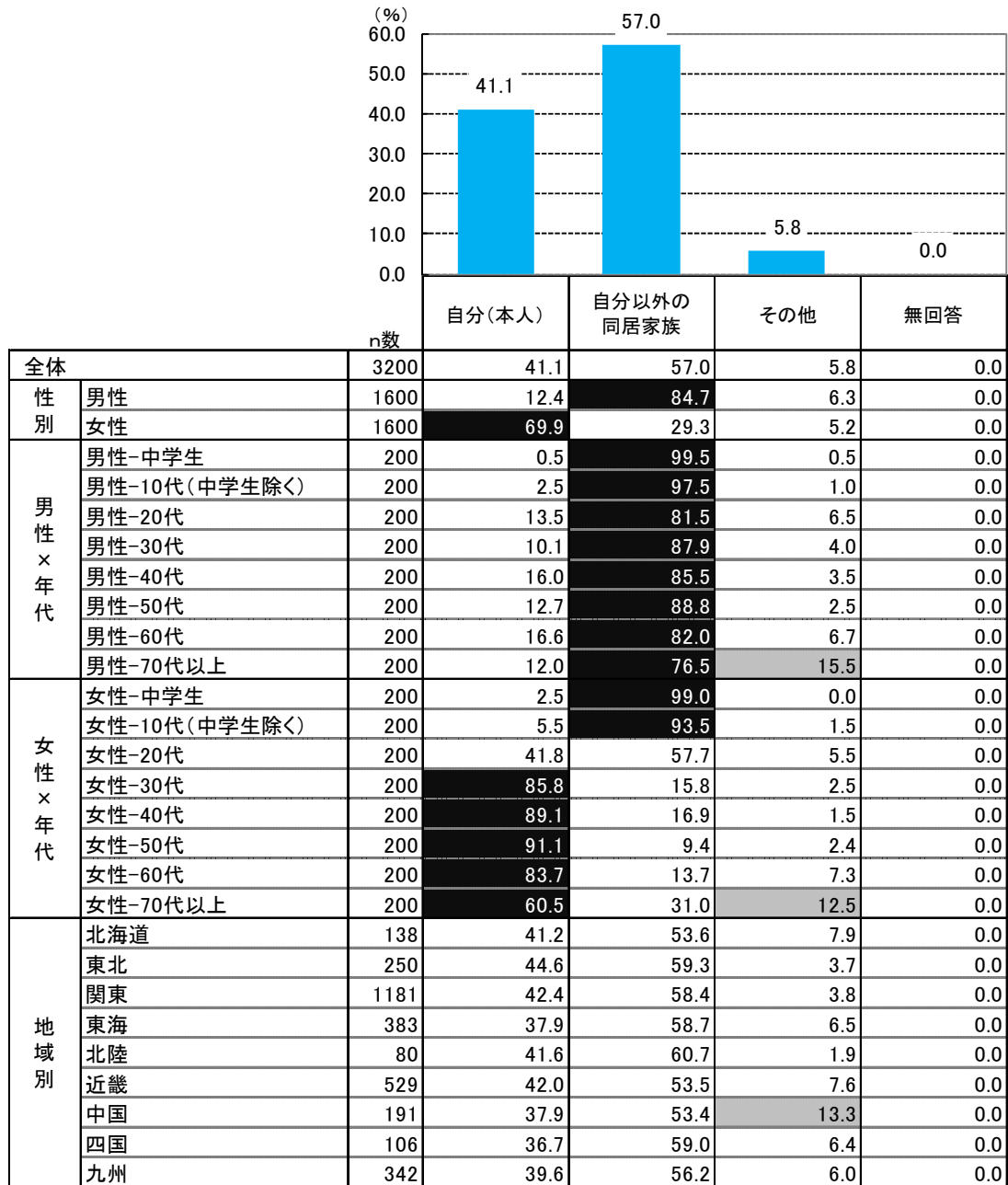
※ = 全体より、10%以上高い
 = 全体より、5%以上高い



(4) チーズを購入する人

■世帯の中でチーズを購入する人がだれか、複数回答で質問した。

■全体では、「自分(本人)」が41%、「自分以外の同居家族」が57%となっている(白もの牛乳の購入者とほぼ同じ割合となっている)。

【図表VI-2-6】性・年代別 問25 チーズを購入する人(MA)

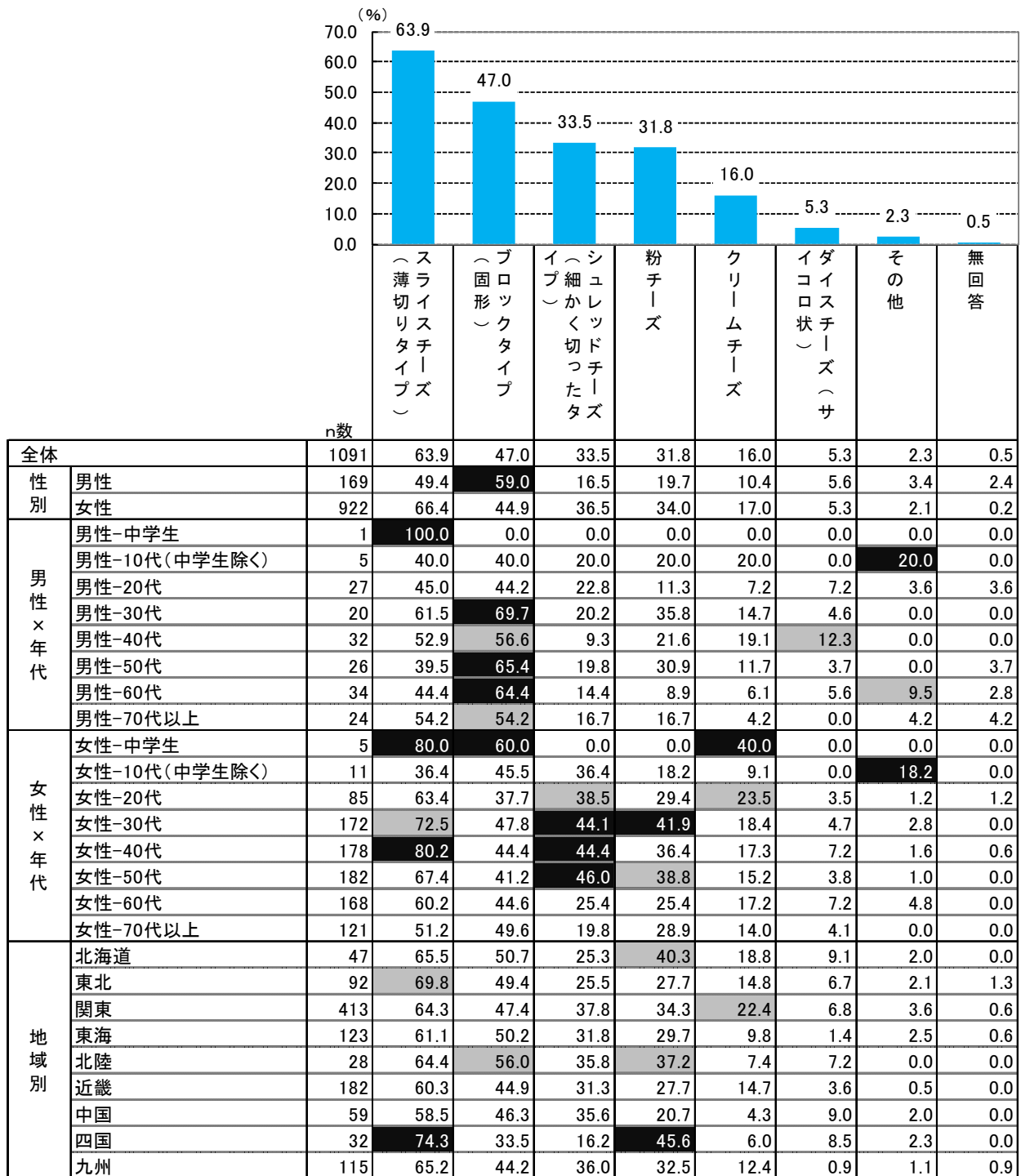


※  = 全体より、10%以上高い
 = 全体より、5%以上高い

(5) 購入するチーズのタイプ

- 自分でチーズを購入する人に、どのようなタイプのチーズを購入することが多いか質問した。
- 形状は、「スライスチーズ」が64%で最も高く、次いで「ブロックタイプ」が47%、「シュレッドチーズ」が34%、「粉チーズ」が32%となっている。
- 性別では、男性は「ブロックタイプ (59%)」、女性は「スライスチーズ (66%)」がそれぞれ最も多くなっている。

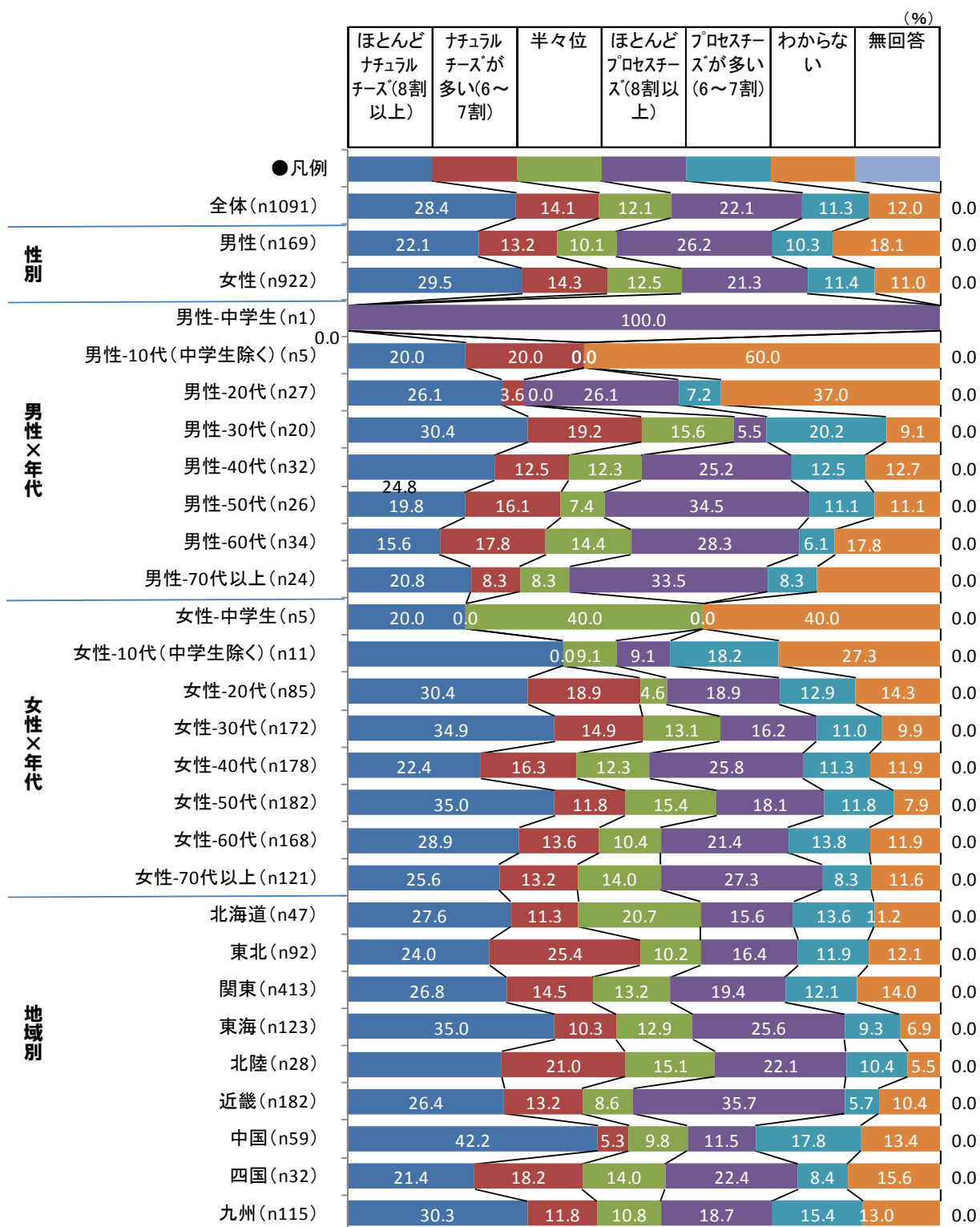
【図表VI-2-7】性・年代別 問26 購入するチーズのタイプ (MA) <チーズ購入者ベース>



※ ■ = 全体より、10%以上高い
■ = 全体より、5%以上高い

- 自分で購入するチーズはナチュラルチーズかプロセスチーズかを質問したところ、「ほとんどナチュラルチーズ(8割以上)」という人が28%と最も多く、「ナチュラルチーズが多い(6~7割)」を合わせたナチュラル派は43%を占めた。一方、プロセス派は33%、「半々くらい」「わからない」がそれぞれ12%となっている。
- 性別では、ナチュラル派が女性は44%、男性は35%。プロセス派が女性は33%、男性は37%。女性はナチュラル派という傾向が読み取れる。

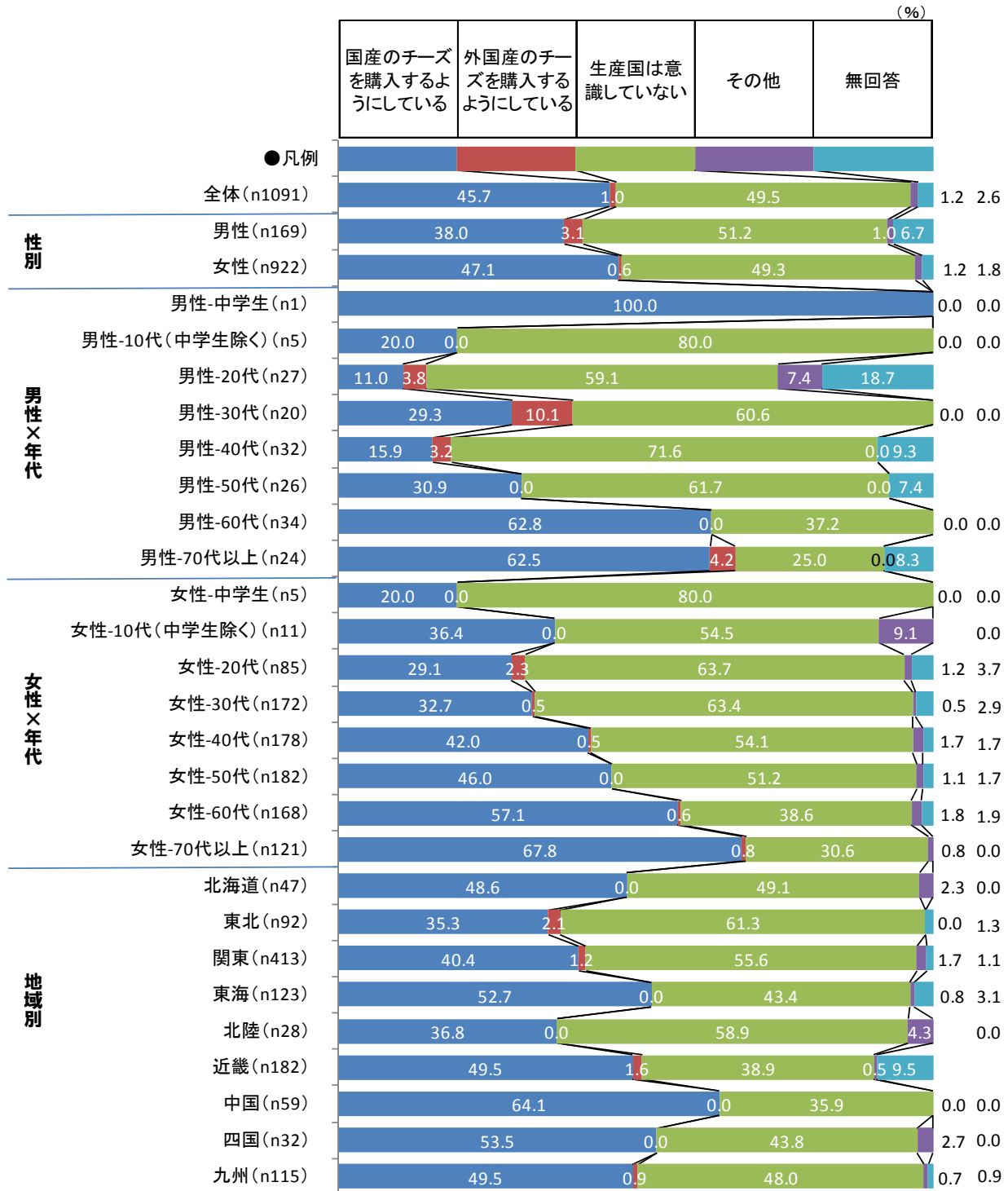
【図表VI-2-8】性・年代別 問27 購入するチーズの割合(ナチュラルかプロセス・SA) <チーズ購入者ベース>



(6) 普段チーズを購入する時に意識すること

- 普段チーズ購入時に意識することを質問したところ、全体では「国産のチーズを購入するようにしている」が46%、「生産国は意識していない」が50%、「外国産のチーズを購入するようにしている」が1%となった。
- 性別では、女性は「国産のチーズを購入するようにしている」割合が高く、47%を占める。
- 性年代別で見ると、男女ともに年代の上昇に比例して、国産を選ぶ割合が高くなる（若い世代は「産地を気にしない」）。

【図表VI-2-9】 性・年代別 問28 チーズ購入時の意識する事（SA）＜チーズ購入者ベース＞



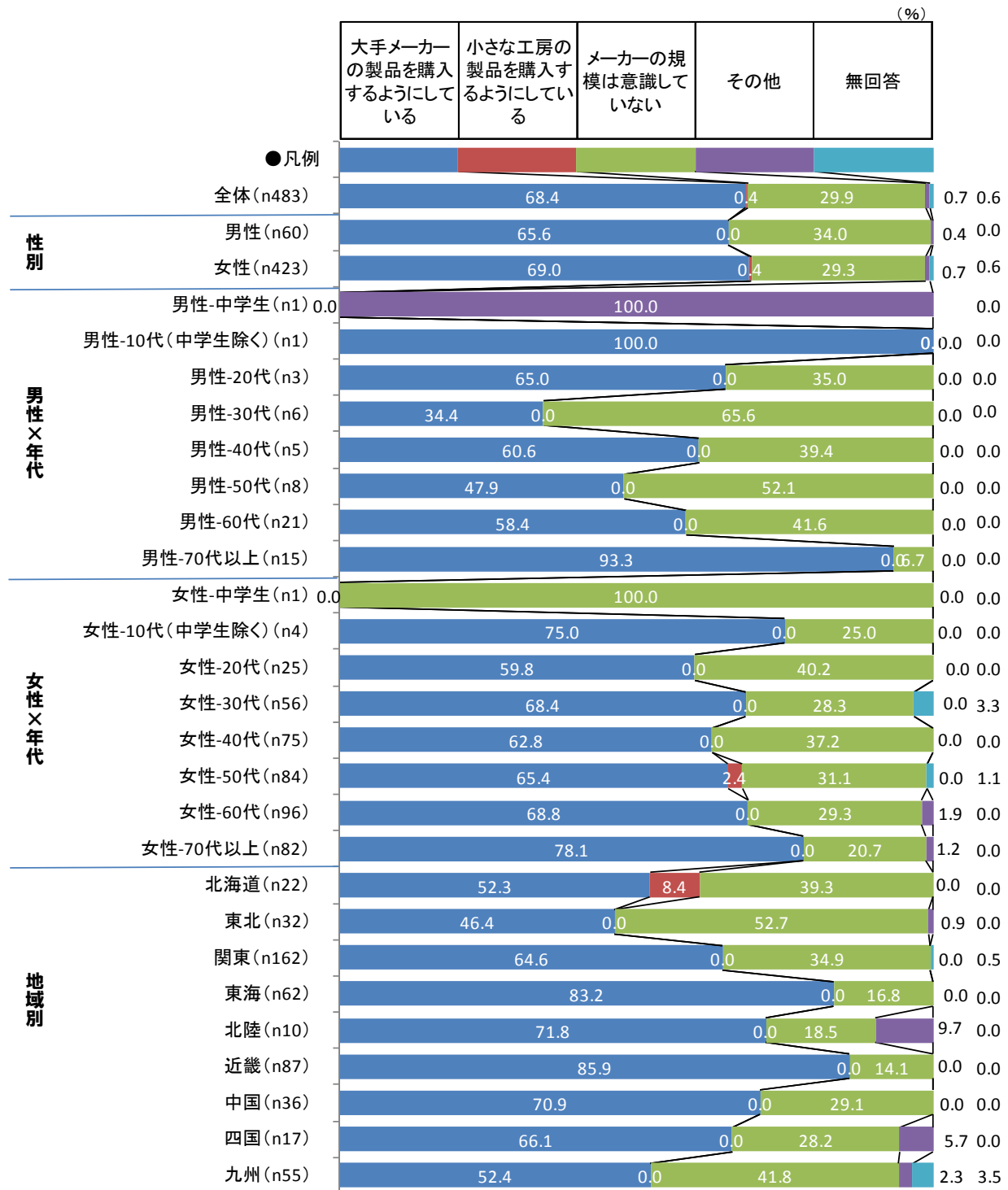
- 普段チーズ購入時に意識することの質問の中で、意識する理由を自由回答でたずねたところ、近年の食の安全性が意識されることを反映してか、「安全・安心感で選ぶ(国産は安全・安心)」が324件となった。
- 次いで、「特に理由はない・こだわりはない」が198件、「値段の安さや特売品、手頃な価格を選ぶ」が157件、「美味しさ」が107件などの意見が寄せられた。

【図表VI-2-10】 性・年代別 問28 チーズ購入時の意識する事・その理由(自由回答)

No.	問28 チーズ購入時の意識する事・その理由(自由回答)	件
1	安全・安心感で選ぶ(国産は安全・安心)	324
2	特に理由はない・こだわりはない	198
3	値段の安さや特売品、手頃な価格を選ぶ	157
4	美味しさ	107
5	産地まで気にしない	85
6	国産が好き	54
7	自分の好みに合っている	51
8	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ	48
9	味に親しみがある	44
10	メーカー・商品を決めている	43
11	国産・外国産で味が変わらない	37
12	味にクセがない	32
13	パッケージや見た目の良さ	22
14	色々な種類を食べたい	14
15	料理や用途に合わせて	12
16	知名度のあるメーカー	12
17	外国産はわからない	11
18	外国産が好き	10
19	素材や添加剤の使用を気にする	9
20	外国産は高そう	5
20	どこでも売っているものを買う	5
22	料理の目的や用途で選ぶ	4
22	店に外国産がない	4
22	本物を食べたい	4
25	量で選ぶ	3
26	外国産は種類が多い	2
26	テレビ等で見たものを買う	2
28	保存しやすい	1

- 国産チーズ購入で意識する事を質問したところ、全体では「大手メーカーの製品を購入するようにしている」が半数以上の68%を占めた。
- 「小さな工場の製品を購入するようにしている」はわずかに0.4%にとどまるが、「メーカーの規模は意識していない」が30%を占める。

【図表VI-2-11】性・年代別 問28-1 国産チーズ購入で意識する事 (SA) <国産チーズ購入者ベース>



- 国産チーズ購入で意識する事を自由回答でたずねたところ、「安全・安心感がある」が 191 件と最も多く、「大手メーカーは安全・安心感がある」も 48 件となった。ここでも消費者の食品への安全・安心意識の高さがうかがえる結果となった。
- その他、「メーカー・商品を決めている(いつも買っている)」が 61 件、「値段が安い・手頃な価格」が 42 件、「特に理由はない・こだわりはない」が 40 件などの意見が寄せられた。

【図表VI-2-12】性・年代別 問28-1 国産チーズ購入で意識する事・その理由(自由回答)

	問28-1 国産チーズ購入で意識する事	件
1	安全・安心感がある	191
2	メーカー・商品を決めている(いつも買っている)	61
3	大手メーカーは安全・安心感がある	48
4	値段が安い・手頃な価格	42
5	特に理由はない・こだわりはない	40
6	国産ならばメーカーの規模は関係ない	37
7	好みに合っている	27
8	美味しい	24
9	スーパーやコンビニで売っているから	17
10	売られている物を選ぶ・店頭にある物から気分で選ぶ	15
11	品質の良さで決める	6
11	味にクセがない	6
13	種類の豊富さ	3
13	国産が好き	3
15	食べやすさ(個別包装、味)	2
16	こだわりがある	1
16	テレビ等で見たものを買う	1
16	パッケージや見た目の良さ	1
16	健康のため	1
16	熱を加えた際、溶けやすそうな物(メーカーの商品に対するパッケージの表記等)	1
16	酪農家の作るチーズを多く買っている	1

(7) チーズの購入場所

- 自分でチーズを購入する場所は、「スーパー」が全体94%で圧倒的に多い。
- 性別で見ても、男性は「スーパー」が88%、女性が95%となる。また、男性では「コンビニエンスストア」での購入が21%見られる。男性にとっては、「スーパー」以外では、「コンビニエンスストア」がもう一つの“買い場”となっている。

【図表VI-2-11】性・年代別 問29 チーズ購入場所 (MA) <チーズ購入者ベース>



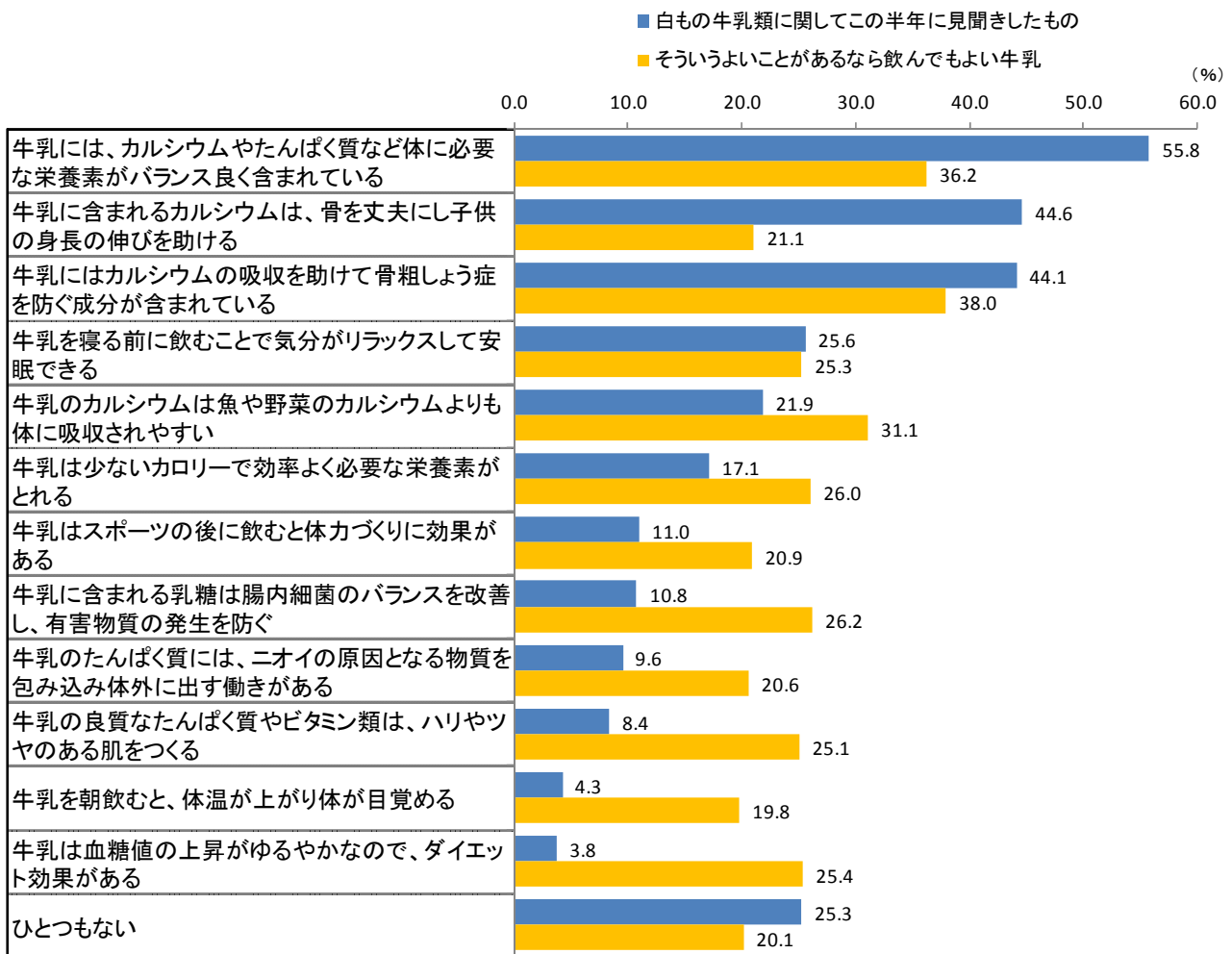
※ ■ = 全体より、10%以上高い
■ = 全体より、5%以上高い

Ⅶ. 白物の牛乳類のベネフィットについての認識

1. 白物の牛乳類のベネフィットについての認識

- 「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳」について質問した。
- 見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が56%で最も多く、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長を助ける」が45%、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が44%で続いている。
- 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が38%と最も多く、次いで「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が36%、「牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい」が31%で続いている。全般的に、カルシウムに関連するニーズが高い様子が見られる。
- また、見聞されていないが、ニーズの高さがうかがえるものは、「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」「牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める」「牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ」といったものがあげられる。これらのベネフィットは、今後の牛乳普及の広報活動における訴求ポイントとして考えられる。

【図表Ⅶ-1】 問30 見聞きしたことがある白物の牛乳類のベネフィットとニーズ (MA)

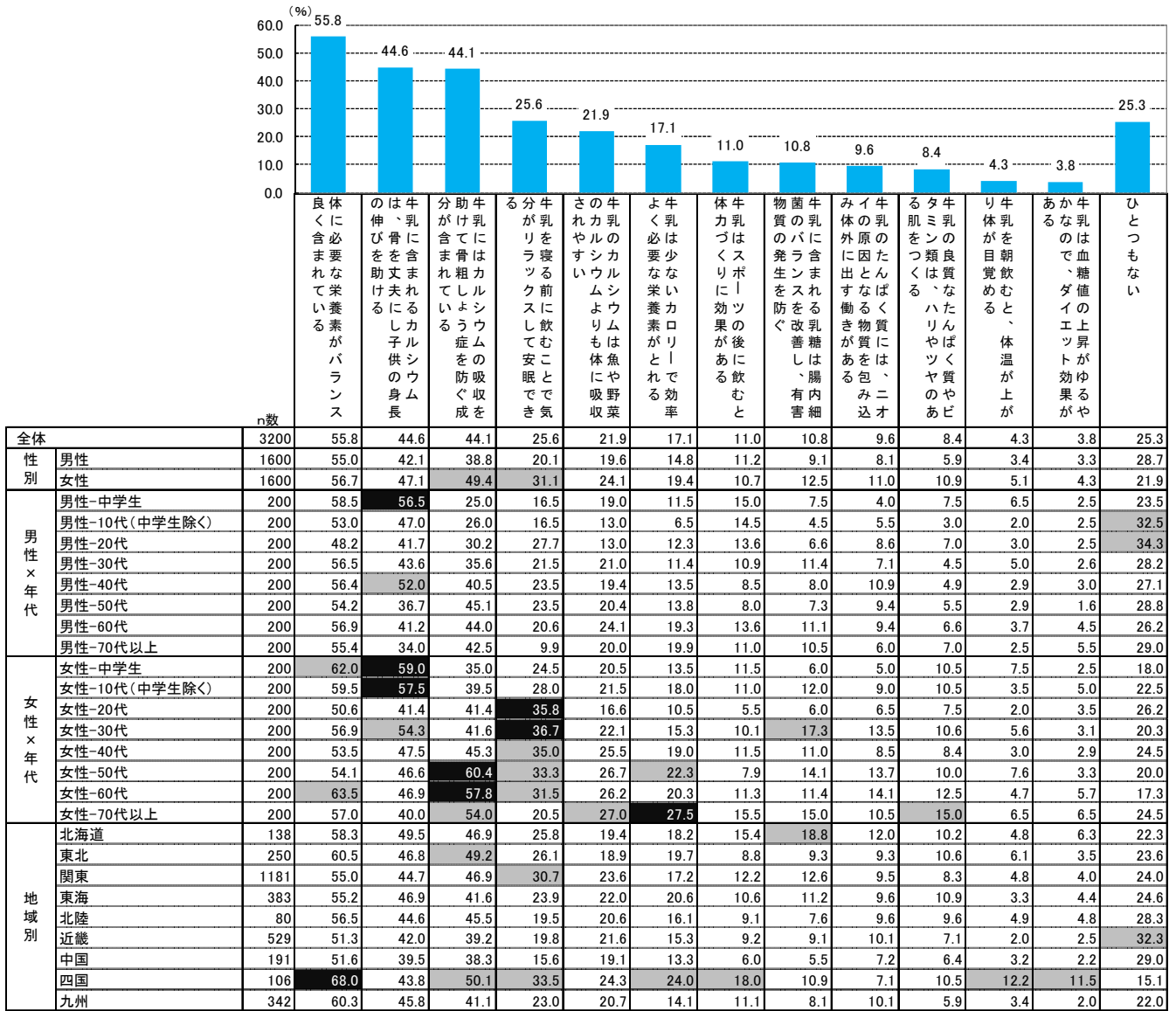


n3200

2. 見聞きしたことの白もの牛乳類のベネフィット

- 白もの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたものについて、性別で見ると、女性は男性に比べ、「カルシウム（骨を丈夫にする、骨粗しょう症防止等）」や「リラックス効果」について見聞きしている割合が高い。
- 性年代別では、男子中学生や女性10代以下は、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける」、女性20・30代は「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」、女性40・50代は「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」などが、それぞれ全体よりも10%以上ポイントを上回っている。

【図表VII-2】性・年代別 問30（1）白もの牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの（MA）

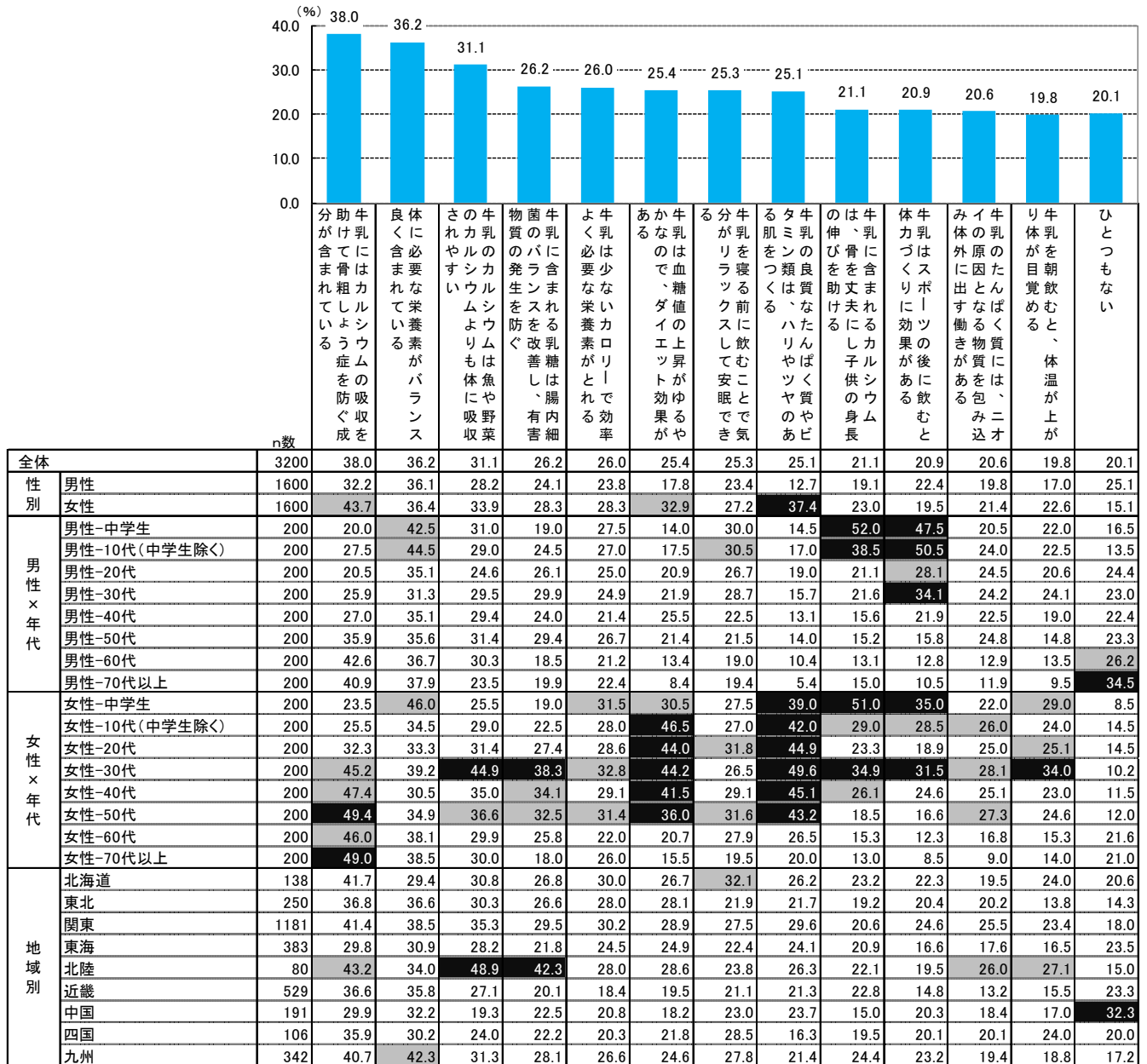


※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

3. 白もの牛乳類についてのニーズ

- 「そういうよいことがあるなら飲んでもよい」と思う牛乳について、性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性を上回っており、カルシウム以外では「美肌効果」や「ダイエット」へのニーズで男女差が大きい。
- 「美肌効果」や「ダイエット」は、女性40代以下のニーズの高さが目立っている。

【図表VII-3-1】性・年代別 問30 (2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳 (MA)

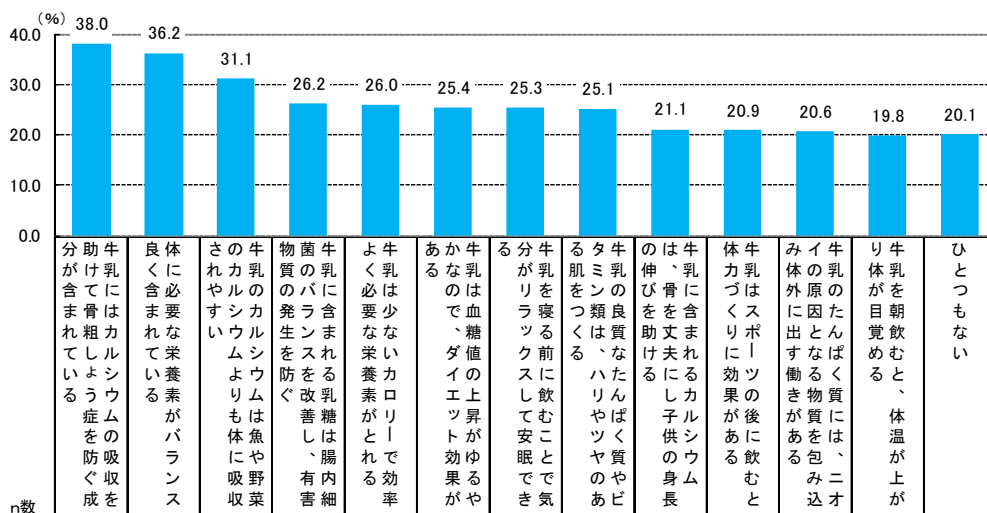


※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

■ 「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものについて、飲用行動別にみると、この1年間に白もの牛乳類の飲用量が増えた人は、飲んでもよいと思うものが多い傾向がうかがえる。「牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる」「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」などのベネフィットは、飲用量増加者のニーズが高い。

■ 一方、非飲用者の63%が「ひとつもない」と答えている。

【図表VII-3-2】 飲用行動別 問30(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)



n数		38.0	36.2	31.1	26.2	26.0	25.4	25.3	25.1	21.1	20.9	20.6	19.8	20.1	
全体	3200	38.0	36.2	31.1	26.2	26.0	25.4	25.3	25.1	21.1	20.9	20.6	19.8	20.1	
飲用頻度	飲用者・計	2733	41.7	40.7	35.3	29.7	29.6	28.5	28.5	28.5	23.6	23.9	23.7	22.6	12.0
	毎日飲用	1143	42.7	43.4	38.2	29.9	31.1	28.4	30.4	29.9	24.6	24.3	24.1	24.1	10.7
	週1~6日飲用	1171	41.9	40.4	34.0	31.1	30.2	30.7	28.2	28.4	24.5	25.2	24.1	23.1	9.7
	月に2~3日以下飲用	419	38.5	34.3	30.9	25.6	24.1	23.3	24.2	25.0	18.2	19.5	21.5	17.8	21.1
	非飲用者	457	17.9	12.3	8.8	7.6	7.6	9.3	8.3	6.7	7.9	5.4	3.8	4.6	63.1
1年間の飲用量	この1年間に飲用量増加計	221	38.8	44.9	39.9	34.4	39.0	36.5	37.7	34.7	33.1	28.2	27.6	32.4	11.3
	この1年間に飲用量変化なし	2190	41.9	40.6	33.7	27.9	27.8	27.4	27.1	27.4	22.3	23.1	22.8	21.6	12.2
	この1年間に飲用量減少計	391	38.0	34.6	35.6	33.2	30.3	27.0	27.1	27.4	23.0	23.3	23.5	19.8	19.4

※ ■ = 全体より、10%以上高い ■ = 全体より、5%以上高い

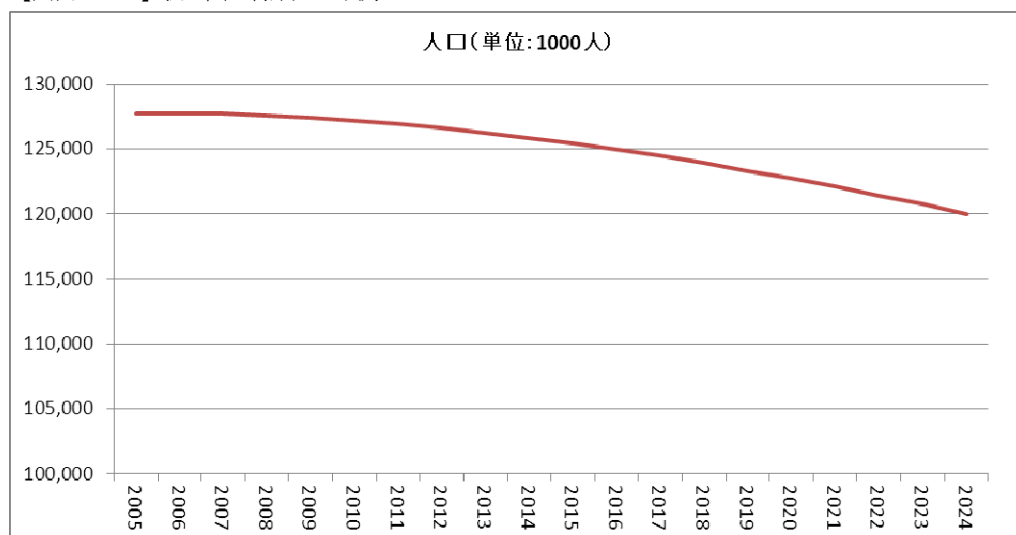
Ⅷ. 我が国の人口動向、諸外国の消費動向

1. 我が国の人口動向

■我が国の人口は2010年時点で約1億2700万人である。しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所によると、今後の我が国は人口減少が予測され、2020年には約1億2270万人、2010年との比較では▲3.5%となることと考えられる。牛乳・乳製品も人口減少の影響から、消費市場の縮小が懸念される。

■一方、世帯数に関しては、核家族化や晩婚化、高齢者単独世帯の増加などの背景があると考えられ、世帯数は緩やかに増加していき、2018年まで対前年比はプラスとなることが予測される。このことから牛乳・乳製品に関しては、容量の少量化や多品種少量生産などの少人数家族への対応が求められることが考えられる。

【図表Ⅷ-1-1】我が国の将来人口予測



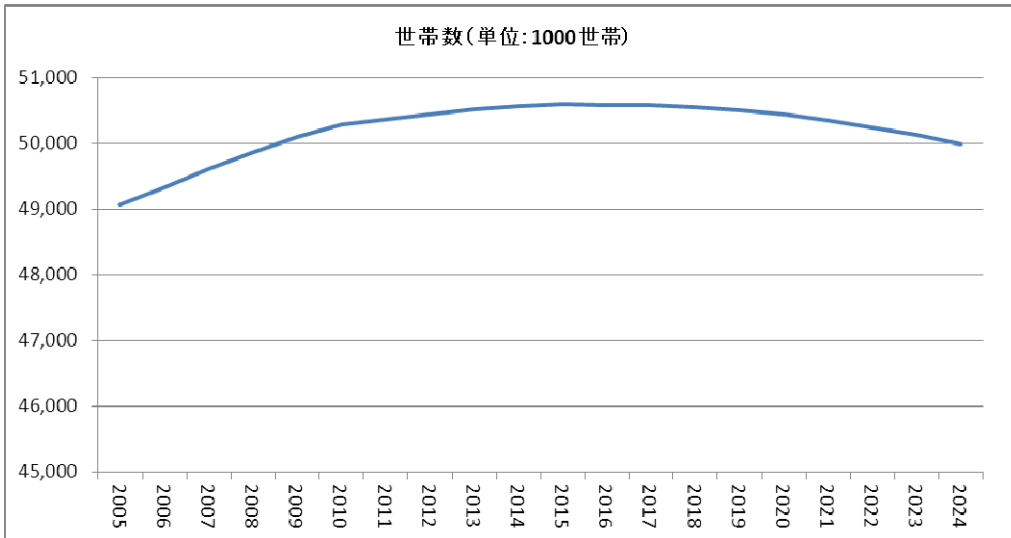
※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

【図表Ⅷ-1-2】我が国の将来人口予測(詳細)

年次	人口(1,000人)				割合(%)		
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
平成 17 (2005)	127,768	17,585	84,422	25,761	13.8	66.1	20.2
18 (2006)	127,762	17,436	83,729	26,597	13.6	65.5	20.8
19 (2007)	127,694	17,238	83,010	27,446	13.5	65.0	21.5
20 (2008)	127,568	17,023	82,334	28,211	13.3	64.5	22.1
21 (2009)	127,395	16,763	81,644	28,987	13.2	64.1	22.8
22 (2010)	127,176	16,479	81,285	29,412	13.0	63.9	23.1
23 (2011)	126,913	16,193	81,015	29,704	12.8	63.8	23.4
24 (2012)	126,605	15,880	79,980	30,745	12.5	63.2	24.3
25 (2013)	126,254	15,542	78,859	31,852	12.3	62.5	25.2
26 (2014)	125,862	15,201	77,727	32,934	12.1	61.8	26.2
27 (2015)	125,430	14,841	76,807	33,781	11.8	61.2	26.9
28 (2016)	124,961	14,486	76,025	34,450	11.6	60.8	27.6
29 (2017)	124,456	14,133	75,346	34,977	11.4	60.5	28.1
30 (2018)	123,915	13,803	74,732	35,380	11.1	60.3	28.6
31 (2019)	123,341	13,488	74,199	35,655	10.9	60.2	28.9
32 (2020)	122,735	13,201	73,635	35,899	10.8	60.0	29.2
33 (2021)	122,097	12,892	73,141	36,064	10.6	59.9	29.5
34 (2022)	121,430	12,622	72,678	36,131	10.4	59.9	29.8
35 (2023)	120,735	12,381	72,144	36,210	10.3	59.8	30.0
36 (2024)	120,015	12,159	71,549	36,307	10.1	59.6	30.3

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」

【図表Ⅷ-1-3】我が国の将来世帯数予測



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2008年3月推計)

【図表Ⅷ-1-4】我が国の将来世帯数予測(詳細)

年次	一般世帯数(1,000世帯)							一般世帯人員 (1,000人)	平均世帯人員 (人)
	総数	単独	核家族世帯				その他		
			総数	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子			
平成 17 (2005)	49,063	14,457	28,394	9,637	14,646	4,112	6,212	125,448	2.56
18 (2006)	49,335	14,713	28,461	9,722	14,550	4,189	6,161	125,369	2.54
19 (2007)	49,611	14,978	28,525	9,831	14,423	4,271	6,108	125,223	2.52
20 (2008)	49,865	15,230	28,579	9,933	14,294	4,353	6,056	125,018	2.51
21 (2009)	50,093	15,475	28,615	10,023	14,159	4,434	6,002	124,765	2.49
22 (2010)	50,287	15,707	28,629	10,085	14,030	4,514	5,951	124,460	2.47
23 (2011)	50,363	15,866	28,582	10,102	13,902	4,577	5,916	124,100	2.46
24 (2012)	50,449	16,046	28,523	10,135	13,744	4,644	5,880	123,693	2.45
25 (2013)	50,517	16,221	28,453	10,161	13,584	4,708	5,843	123,244	2.44
26 (2014)	50,570	16,395	28,369	10,182	13,419	4,768	5,806	122,757	2.43
27 (2015)	50,600	16,563	28,266	10,186	13,256	4,824	5,771	122,231	2.42
28 (2016)	50,586	16,711	28,125	10,153	13,106	4,866	5,750	121,660	2.40
29 (2017)	50,576	16,876	27,972	10,130	12,933	4,909	5,728	121,046	2.39
30 (2018)	50,551	17,038	27,808	10,104	12,755	4,948	5,705	120,404	2.38
31 (2019)	50,509	17,193	27,636	10,078	12,575	4,983	5,680	119,738	2.37
32 (2020)	50,441	17,334	27,452	10,045	12,394	5,013	5,655	119,039	2.36
33 (2021)	50,342	17,458	27,246	9,979	12,236	5,031	5,639	118,305	2.35
34 (2022)	50,242	17,590	27,030	9,922	12,061	5,048	5,622	117,532	2.34
35 (2023)	50,127	17,714	26,809	9,867	11,882	5,060	5,603	116,743	2.33
36 (2024)	49,997	17,829	26,586	9,815	11,703	5,068	5,582	115,942	2.32

※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)」(2008年3月推計)

2. 諸外国の消費動向

■世界の牛乳・乳製品の消費動向を見てみる。米国農務省によると、北米・南米・EU・アジア等の諸外国の牛乳の消費量は2011年1億7146万トンとなり、2006年から4.7%増となっている。同様にチーズの消費量は2006年⇒2011年で7.8%増、2011年は1464.7万トン。バターは2006年⇒2011年で19.2%増、2011年は794万トンとなっている。世界的な視点で見ると、牛乳・乳製品の消費量は増加傾向にある。

【図表Ⅷ-2-1】世界の牛乳の消費量

※単位:千トン

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
North America						
Canada	3,058	3,086	3,145	3,103	3,184	3,180
Mexico	4,305	4,275	4,263	5,206	5,167	5,100
United States	27,705	27,710	28,096	28,223	28,253	28,277
Sub-total	35,068	35,071	35,504	36,532	36,604	36,557
South America						
Argentina	1,900	1,900	1,975	2,100	2,130	2,160
Brazil	13,755	10,170	10,684	10,895	11,234	11,503
Sub-total	15,655	12,070	12,659	12,995	13,364	13,663
European Union						
	34,084	33,334	33,744	33,700	33,950	34,000
Former Soviet Union						
Russia	12,000	12,000	12,100	12,114	11,800	11,700
Ukraine	6,086	3,641	3,520	3,483	3,290	3,170
Sub-total	18,086	15,641	15,620	15,597	15,090	14,870
South Asia						
India	39,920	42,680	44,520	48,160	49,140	53,240
Asia						
China	13,809	14,820	14,581	11,791	12,010	12,500
Japan	4,648	4,521	4,442	4,264	4,150	4,030
Sub-total	18,457	19,341	19,023	16,055	16,160	16,530
Oceania						
Australia	2,127	2,162	2,205	2,272	2,284	2,300
New Zealand	360	360	345	300	300	300
Sub-total	2,487	2,522	2,550	2,572	2,584	2,600
TOTAL SELECTED COUNTRIES	163,757	160,659	163,620	165,611	166,892	171,460

※米国農務省「World Markets and Trade」

【図表Ⅷ-2-2】世界のチーズの消費量

※単位:千トン

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
North America						
Canada	307	319	310	318	317	318
Mexico	229	266	251	311	338	350
United States	4,392	4,505	4,478	4,540	4,634	4,796
Sub-total	4,928	5,090	5,039	5,169	5,289	5,464
South America						
Argentina	424	473	488	495	500	505
Brazil	529	576	605	624	660	686
Sub-total	953	1,049	1,093	1,119	1,160	1,191
European Union						
	6,339	6,309	6,393	6,381	6,445	6,510
Former Soviet Union						
Russia	625	675	750	690	720	767
Ukraine	170	194	185	160	145	125
Sub-total	795	869	935	850	865	892
Asia						
Japan	247	268	234	229	247	250
Korea	72	74	72	72	80	86
Sub-total	319	342	306	301	327	336
Oceania						
Australia	225	215	215	220	225	230
New Zealand	28	28	22	24	24	24
Sub-total	253	243	237	244	249	254
TOTAL SELECTED COUNTRIES	13,587	13,902	14,003	14,064	14,335	14,647

※米国農務省「World Markets and Trade」

【図表VIII-2-3】世界のバター消費量

※単位：千トン

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
North America						
Canada	79	78	88	97	90	88
Mexico	158	284	229	224	231	222
United States	642	651	690	694	683	726
Sub-total	879	1,013	1,007	1,015	1,004	1,036
South America						
Argentina	36	34	36	33	34	32
Brazil	79	80	81	81	82	84
Sub-total	115	114	117	114	116	116
European Union						
1,934 2,006 1,946 1,874 1,967 1,887						
Former Soviet Union						
Russia	400	420	453	349	317	323
Ukraine	92	97	82	90	78	76
Sub-total	492	517	535	439	395	399
Asia						
India	3,055	3,360	3,680	3,910	4,170	4,320
Japan	89	92	83	74	85	83
Taiwan	11	14	9	14	15	16
Sub-total	3,155	3,466	3,772	3,998	4,270	4,419
Oceania						
Australia	62	55	64	60	61	63
New Zealand	26	26	23	18	20	20
Sub-total	88	81	87	78	81	83
TOTAL SELECTED COUNTRIES	6,663	7,197	7,464	7,518	7,833	7,940

※米国農務省「World Markets and Trade」

■1人あたりの牛乳・乳製品の消費量を見ると（国際連合のデータベース「FAOSTAT」）、全世界では増加の傾向だが、地域別には、アジアや途上国では増加しているのに対し、日本と同様少子高齢化が進むヨーロッパでは、減少傾向にある。

【図表VIII-2-4】世界の牛乳・チーズ・バター、1人1日あたりの消費量

牛乳

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	日本を100とした場合(%)
Japan	136.32	136.60	136.22	138.15	136.39	133.14	131.04	132.57	100.0
World + (Total)	122.79	124.26	121.48	124.14	127.99	130.13	131.99	137.29	103.6
Europe + (Total)	260.18	258.05	256.62	254.25	256.76	260.98	247.71	254.62	192.1
European Union + (Total)	228.05	223.71	232.75	224.09	225.35	221.60	212.02	213.83	161.3
Americas + (Total)	265.75	276.97	259.89	259.49	269.30	262.84	262.49	280.04	211.2
Asia + (Total)	74.31	74.46	74.23	79.14	83.36	87.97	93.06	96.49	72.8
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	89.46	90.81	92.55	94.45	93.71	93.42	99.29	101.93	76.9

チーズ

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	日本を100とした場合(%)
Japan	7.13	6.99	7.00	6.80	7.34	7.14	7.09	7.49	100.0
World + (Total)	7.32	7.47	7.54	7.56	7.61	7.70	7.69	7.77	103.7
Europe + (Total)	30.47	32.05	32.73	33.16	33.62	34.58	35.24	36.16	482.8
European Union + (Total)	41.40	42.75	43.14	43.05	43.39	44.11	44.90	45.85	612.1
Americas + (Total)	18.55	18.57	18.55	18.40	18.45	18.50	18.25	18.43	246.1
Asia + (Total)	1.08	1.07	1.07	1.07	1.19	1.21	1.19	1.22	16.3
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.40	2.37	2.49	2.74	2.58	2.54	2.53	2.64	35.2

バター

※単位：グラム

地域	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	日本を100とした場合(%)
Japan	1.90	1.73	1.88	2.00	1.86	1.93	1.83	1.92	100.0
World + (Total)	3.28	3.36	3.45	3.50	3.52	3.55	3.61	3.60	187.5
Europe + (Total)	9.65	9.71	9.75	9.91	9.44	9.35	9.76	9.41	490.1
European Union + (Total)	11.46	11.21	11.14	11.18	10.93	10.88	11.23	10.81	563.0
Americas + (Total)	3.04	3.03	3.08	3.08	3.20	3.07	3.01	3.00	156.3
Asia + (Total)	2.50	2.66	2.81	2.86	3.00	3.09	3.16	3.25	169.3
Net Food Importing Developing Countries + (Total)	2.18	2.13	2.18	2.22	2.18	2.23	2.17	2.17	113.0

※項目：Food supply quantity(単位：grams/capita/day)

※出典：FAOSTAT | C FAO Statistics Division

調査票

牛乳・乳製品の消費に関するアンケート

■ ■ ■ ご記入にあたって ■ ■ ■

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に（1つだけ○印）とあれば「1つだけ」、（いくつでも○印）とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印（→）や【 】の指示に従ってお進みください。

■ ■ ■ 白もの牛乳類（注）についてお聞きします。 ■ ■ ■

（注）ここでいう白もの牛乳類とは、生乳100%の普通の牛乳や、成分調整牛乳、低脂肪牛乳、機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒーマイルやフルーツ牛乳などは含まれません。

【全ての方に】

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒーマイル、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル（オートミール、コーンフレーク等）にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。

ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。（1つだけ○印）

- | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 毎日飲む | 2. 週に5～6日飲む | 3. 週に3～4日飲む | 4. 週に1～2日飲む | 5. 月に2～3日飲む |
| 6. それ以下しか飲まない | 7. 全く飲まない | | | |

■ ■ ■ 白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします。 ■ ■ ■

【全ての方に】

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーマイルなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。

ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

	そのまま飲む						
	毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全く 飲ま ない
(それぞれ1つずつ○印) →							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

【全ての方に】

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒーマイル、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

	他のものと混ぜて飲む						
	毎日飲む	5週 以内に 6日 飲む	3週 以内に 4日 飲む	1週 以内に 2日 飲む	2月 以内に 3日 飲む	飲ま れな い下 しか	全く 飲ま ない
(それぞれ1つずつ○印) →							
ア) 夏場は	1	2	3	4	5	6	7
イ) 冬場は	1	2	3	4	5	6	7
ウ) 年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7

白もの牛乳類を全く飲まない方（問1で「7」とお答えの方）は、問7にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。夏場、冬場、年間平均でお知らせください。コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

		1日に白もの牛乳類を飲む量							
		50 ml 未 満	50 ml く ら い	100 ml (牛 乳 ビ ン 半 分)	200 ml (牛 乳 ビ ン 1 本)	400 ml (牛 乳 ビ ン 2 本)	600 ml (牛 乳 ビ ン 3 本)	800 ml (牛 乳 ビ ン 4 本)	1 ℓ (牛 乳 ビ ン 5 本) 以 上
ア)	夏場は	1	2	3	4	5	6	7	8
イ)	冬場は	1	2	3	4	5	6	7	8
ウ)	年間平均すると	1	2	3	4	5	6	7	8

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問5 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。(いくつでも○印)

1. 朝、起きぬげに	7. おやつや、間食時	13. 勉強や仕事をしながら
2. 朝食をとりながら	8. 夜食時	14. レジャーやスポーツ時
3. 朝食後	9. 風呂上り	15. くつろいでいる時
4. 朝食代わりに	10. 夜寝る前	16. 乗り物での移動中
5. 昼食時	11. のどが渇いた時	17. 来客時
6. 夕食時	12. ちょっとおながすいた時	18. その他()

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】

問6 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1. おいしいから	12. 良質のタンパク質があるから
2. 好きだから	13. 美容によいから
3. 栄養があるから	14. 便秘に効果があるから
4. カルシウムがあるから	15. 健康によいから
5. 朝食など食事代わりに	16. ぐっすり眠るために
6. 水などの代わりに	17. 気持ちをリラックスさせるために
7. 他のものと混ぜたり、他のものにかけてりするため	18. 背が高くなりたいから
8. 習慣で	19. 医師など医療関係者がすすめるから
9. いつも家にあるから	20. 他の飲み物に比べて安いから
10. 家族がすすめるから	21. その他()
11. 骨粗しょう症が心配だから	

■■■この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問7 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(ア)そのまま飲む場合、(イ)混ぜて飲む場合、(ウ)全体では、それぞれについてお知らせください。

		非飲 常に 量 増 え た	や飲 やむ 増 え が た	変 わ ら な い	や飲 やむ 減 つ が た	非飲 常に 量 減 が つ た	飲こ まの な1 く年 な位 つで た全 く	飲牛 ま乳 ない も と も と
		ア)	そのまま飲む場合	1	2	3	4	5
イ)	混ぜて飲む場合	1	2	3	4	5	6	7
ウ)	全体では	1	2	3	4	5	6	7

問7の(ウ)で「1」「2」「3」とお答えの方
全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方
⇒問9へ

問7の(ウ)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方
全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方
⇒問8へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方（問7の(ウ)で4、5、6、7」とお答えの方)に】

問8 次のア)～ソ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらとも	あてはまらない	あてはまらない
ア)	牛乳は味にクセがあるから	1	2	3	4	5
イ)	牛乳のニオイが嫌いだから	1	2	3	4	5
ウ)	牛乳は飲んだあと口に残るから	1	2	3	4	5
エ)	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから	1	2	3	4	5
オ)	牛乳を飲むと太ると思うから	1	2	3	4	5
カ)	牛乳はコレステロールが気になるから	1	2	3	4	5
キ)	牛乳は日持ちしないから	1	2	3	4	5
ク)	牛乳は持ち歩けないから	1	2	3	4	5
ケ)	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから	1	2	3	4	5
コ)	飲みたい牛乳がないから	1	2	3	4	5
サ)	牛乳が体によくないという情報を本などで得たから	1	2	3	4	5
シ)	医者に言われたから	1	2	3	4	5
ス)	牛乳アレルギーがあるから	1	2	3	4	5
セ)	不景気の影響で牛乳を買い控えるようになったから	1	2	3	4	5
ソ)	いつもの年より夏が暑かったから	1	2	3	4	5

【全ての方に】

問9 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選び下さい。（1つだけ○印）

1. とても飲みたい	2. まあ飲みたい	3. どちらともいえない	4. あまり飲みたいくない	5. 全く飲みたいくない
------------	-----------	--------------	---------------	--------------

■■■白もの牛乳類の購入についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問10 お宅では、ふだん白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。（1つだけ○印）

1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回位	3. 週に1回位	4. 2週間に1回位	5. 月に1回位
6. ほとんど買わない	7. わからない			

【全ての方に】

問11 お宅では、平均すると1週間に白もの牛乳類をどのくらい購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。
下記の記入例に従い、リットルを単位として小数点以下1位までお答えください。なお、白もの牛乳類を全く買わない場合は「0」とお書きください。わからない場合は、「*わからない」をお選びください。

<記入例>

1週間に1リットルパックを2本と200ml瓶を3本買っている場合(100mlは0.1リットルです)

約 リットル

1週間に購入する量の合計 → 約 リットル

*わからない

【全ての方に】

問12 お宅では、ふだんあなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。
(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他()
-----------	------------------	-----------

⇒ 「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒ 「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問16へ

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問13 では、この1年くらいの間に、あなたの白もの牛乳の「買い方」は変わりましたか。(1つだけ○印)

1. 購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	4. 牛乳以外の飲み物を購入し、代用するようになった
2. 牛乳を購入する頻度を減らした	5. これまでと変わらない
3. 1回に購入する牛乳の量を減らした	6. いずれもあてはまらない

【ご自分で白もの牛乳を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問14 あなたがふだん主に購入している白もの牛乳は、次のどれですか。(1つだけ○印)

1. 生乳100%の普通の牛乳	⇒問16へ	2. 成分調整牛乳	⇒問15へ
3. 低脂肪牛乳	⇒問15へ	4. その他の白もの牛乳	⇒問16へ

【問14で「2 成分調整牛乳」または「3 低脂肪牛乳」とお答えの方に】

問15 あなたはどのような理由で成分調整牛乳または低脂肪牛乳を購入していますか。
次のア～エ)のそれぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字をお選びください。

(それぞれ1つずつ○印) →		あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あてはまらない	あてはまらない
		1	2	3	4	5
ア)	普通牛乳よりも価格が安いので	1	2	3	4	5
イ)	味が普通牛乳よりも好みなので	1	2	3	4	5
ウ)	普通牛乳より脂肪分が少なく体に良さそうなので	1	2	3	4	5
エ)	値段の割には普通牛乳と変わらないので	1	2	3	4	5

■■■ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問16 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問17 では、あなたは、問16でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

		↓	問16 ふだんよく飲む (いくつでも○印)	問17 最もよく飲む (1つだけ○印)
ア)	白もの牛乳類		1	1
イ)	色もの乳飲料(いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)		2	2
ウ)	ドリンクヨーグルト		3	3
エ)	乳酸菌飲料(ヤクルトなど)		4	4
オ)	果汁飲料		5	5
カ)	野菜ジュース		6	6
キ)	豆乳		7	7
ク)	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)		8	8
ケ)	コーヒー(コーヒー飲料も含む)		9	9
コ)	紅茶(紅茶飲料も含む)		10	10
サ)	無糖のお茶飲料(緑茶、麦茶、ウーロン茶など)		11	11
シ)	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)		12	12
ス)	栄養・機能性飲料(アミノ式・アミノサプリなど)		13	13
セ)	ミネラルウォーター		14	14
ソ)	この中にはない		15	-

■■■牛乳を使った料理（デザートやお菓子を含む）についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問18 あなたは、この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理(デザートやお菓子を含む)をしましたか。(1つだけ○印)

1. した ⇒問18-1へ 2. しなかった ⇒問19へ

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間に白もの牛乳類を使った料理の回数 → 回

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|------------|
| 1. シチュー | 5. オムレツ、オムライス | 9. ケーキ | 13. プリン |
| 2. スープ、ポタージュ | 6. ハンバーグ | 10. パン | 14. ゼリー |
| 3. グラタン | 7. フレンチトースト | 11. 手作りヨーグルト | 15. 杏仁豆腐 |
| 4. カレー | 8. ホットケーキ | 12. 牛乳寒天 | 16. その他() |

【この1ヶ月間に白もの牛乳類を使って料理をした方に】

問18-3 この1ヶ月間にあなたが料理(デザートやお菓子を含む)に使った白もの牛乳類の量にいちばん近いものを、次の中からお知らせください。お答えいただきたいのは、1人分の量ではなく、料理に使った量全体です。(1つだけ○印)

- | | | | |
|------------------|----------------|------------------|-------------------|
| 1. 小さじ1杯くらい(5ml) | 2. 大さじ1杯(15ml) | 3. 4分の1カップ(50ml) | 4. 2分の1カップ(100ml) |
| 5. 1カップ(200ml) | 6. 2カップ(400ml) | 7. 500ml | 8. 1ℓ以上 |

■■■ヨーグルトについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問19 あなたは、日頃どの程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| 1. 毎日食べる/飲む | 2. 週に5~6日食べる/飲む | 3. 週に3~4日食べる/飲む |
| 4. 週に1~2日食べる/飲む | 5. 月に2~3日食べる/飲む | 6. それ以下しか食べない/飲まない |
| 7. 全く食べない/飲まない | ⇒問22へ | |

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問19で「1~6」とお答えの方)に】

問20 あなたが、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。(1つだけ○印)

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 50g未満 | 2. 50gくらい | 3. 100gくらい | 4. 150gくらい | 5. 200gくらい |
| 6. 250gくらい | 7. 300gくらい | 8. 400g以上 | | |

【ヨーグルトを食べる/飲む方(問19で「1~6」とお答えの方)に】

問21 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

- | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------|
| 1. プレーンヨーグルト(無糖) | 4. ドリンクヨーグルト(飲むタイプ) | 7. その他() |
| 2. 加糖のヨーグルト | 5. 手作りヨーグルト(カスピ海ヨーグルト等) | |
| 3. 果肉フルーツ入りのヨーグルト | 6. フローズンヨーグルト | |

■■■チーズについてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問22 あなたは、日頃どの程度チーズを食べていますか。(1つだけ○印)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 週に5~6日食べる | 3. 週に3~4日食べる |
| 4. 週に1~2日食べる | 5. 月に2~3日食べる | 6. それ以下しか食べない/飲まない |
| 7. 全く食べない | ⇒問24へ | |

【チーズを食べる方(問22で「1~6」とお答えの方)に】

問23 あなたは、チーズを食べるときは、1日に合計でどのくらいの量になりますか。市販のスライスチーズ1枚が約20gです。(1つだけ○印)

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10g未満 | 2. 10gくらい | 3. 20gくらい | 4. 30gくらい | 5. 40gくらい |
| 6. 50gくらい | 7. 60gくらい | 8. 70g以上 | | |

【全ての方に】

問24 あなたは、この1ヶ月間にチーズ料理を食べましたか。(1つだけ○印)

1. 食べた ⇒問24-1へ	2. 食べなかった ⇒問25へ
----------------	-----------------

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-1 その回数をお知らせください。

この1ヶ月間にチーズ料理を食べた回数	→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
--------------------	---	----------------------	----------------------	---

【この1ヶ月間にチーズ料理を食べた方に】

問24-2 それはどんな料理でしたか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. ピザ	4. ハンバーグ	7. サラダ	10. ケーキ
2. グラタン	5. シチュー	8. サンドウィッチ	11. その他()
3. パスタ	6. カレー	9. パン	

【全ての方に】

問25 お宅では、ふだんあなたがチーズを購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1. 自分(本人)	2. 自分以外の同居している家族	3. その他()
-----------	------------------	-----------

⇒「1 自分(本人)」を選んだ方は問26へ

⇒「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問29へ

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問26 あなたは、どのようなタイプのチーズを購入しますか。(いくつでも○印)

1. ブロックタイプ(固形)	4. ダイスチーズ(サイコロ状)	7. その他()
2. スライスチーズ(薄切りタイプ)	5. 粉チーズ	
3. シュレッドチーズ(細かく切ったタイプ)	6. クリームチーズ	

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問27 あなたが購入するチーズは、ナチュラルチーズですか、プロセスチーズですか。(1つだけ○印)

1. ほとんどナチュラルチーズ(8割以上)	4. ほとんどプロセスチーズ(8割以上)
2. ナチュラルチーズが多い(6~7割)	5. プロセスチーズが多い(6~7割)
3. 半々くらい	6. わからない

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問28 あなたは、普段チーズを購入する時にどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

1. 国産のチーズを購入するようにしている ⇒問28-1へ	3. 生産国は意識していない
2. 外国産のチーズを購入するようにしている	4. その他
*その理由 ()	

【問28で「1. 国産のチーズを購入するようにしている」とお答えの方)に】

問28-1 あなたは、国産のチーズを購入するときどのようなことを意識していますか。また、それはどのような理由ですか。(1つだけ○印)

1. 大手メーカーの製品を購入するようにしている	3. メーカーの規模は意識していない
2. 小さな工場の製品を購入するようにしている	4. その他
*その理由 ()	

【ご自分でチーズを購入する方(問25で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】

問29 あなたは、ふだんチーズをどこで購入していますか。(いくつでも○印)

1. スーパー	3. デパート	5. 宅配・通信販売・ネットスーパー
2. コンビニエンスストア	4. ディスカウントストアなどの店	6. その他()

■■■健康や食生活についてお聞きします。■■■

【全ての方に】

問30 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)
 (2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

		(1) この半年位の間に 見たり、聞いたり したもの (いくつでも○印)	(2) 「そういうよいことがあ るなら飲んでもよい」と 思うもの (いくつでも○印)
	↓		
ア)	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	1	1
イ)	牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	2	2
ウ)	牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	3	3
エ)	牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	4	4
オ)	牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長の伸びを助ける	5	5
カ)	牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	6	6
キ)	牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	7	7
ク)	牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	8	8
ケ)	牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し、有害物質の発生を防ぐ	9	9
コ)	牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	10	10
サ)	牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	11	11
シ)	牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	12	12
ス)	ひとつもない	13	13

■■■あなたご自身についてお知らせください。統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。■■■

【全ての方に】

F 1 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 年齢

	才
--	---

F 3 あなたは結婚されていますか。(1つだけ○印)

1. 未婚	2. 既婚	3. その他
-------	-------	--------

F 4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

自営・家族従業	1. 農林漁業	2. 商工サービス業	3. 自由業	4. 内職		
勤め	5. 管理職	6. 専門・技術職	7. 事務職	8. 労務職	9. 販売・サービス職	
無職	10. パート・アルバイト	11. 専業主婦	12. 中学生	13. 高校生	14. 中高生以外の学生	15. 無職

【学生および有職の方（F 5で「1～3、5～10、12～14」とお答えの方）へ】

F 5-1 あなたの学校や職場では、給食や食堂がありますか。(1つだけ○印)

1. 給食がある	2. 給食はないが学校や職場の食堂を利用している	3. どちらもない
----------	--------------------------	-----------

【全ての方に】

F 6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1. 1人(ひとり暮らし)	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人	7. 7人以上
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	---------

↓
【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1. 料理をする	2. 食料品の買物をする	3. どちらもしていない
----------	--------------	--------------

【同居している家族人数が2人以上の方（F 6で「2～7」とお答えの方）に】

F 8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。(1つだけ○印)

1. 夫婦2人	2. 二世帯世帯(親と子)	3. 三世帯世帯(親、子、孫)	4. その他()
---------	---------------	-----------------	-----------

↓
【F 8で「2、3、4」とお答えの方に】

F 9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1. 乳児・幼児	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生	5. 大学・短大・専門学校生
6. この中にはいない				

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。